

# ISHA 8DVA : AURA + VIRUS + DNA

## ISHA 8DVA オーラ + ウィルス + DNA



**8D LIFE RESONANCE INFORMATION SYSTEM**  
**AURA EXPERT PRO PHYSIO<sup>®</sup>**



ログイン

設定

終了

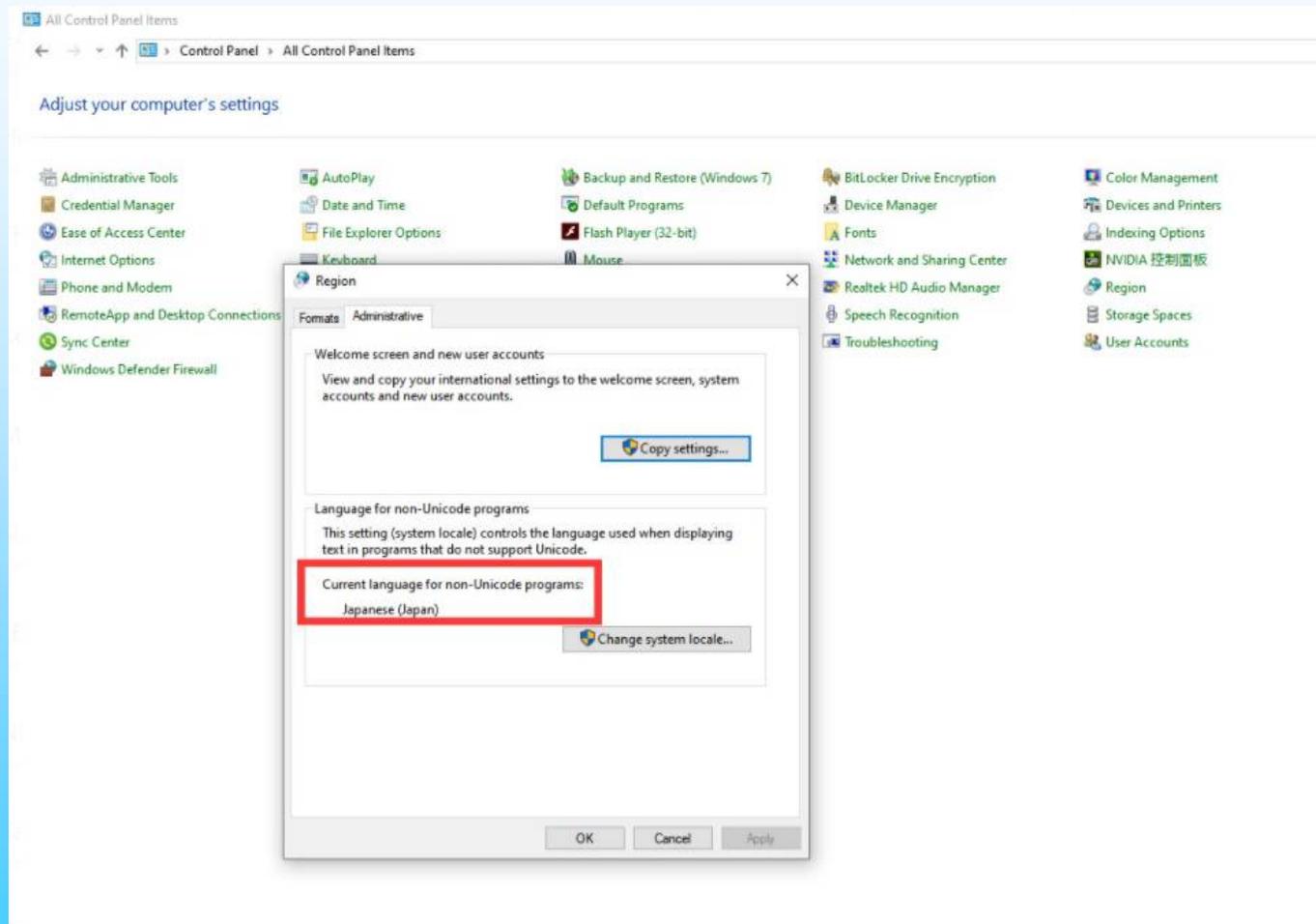
## Notes differences

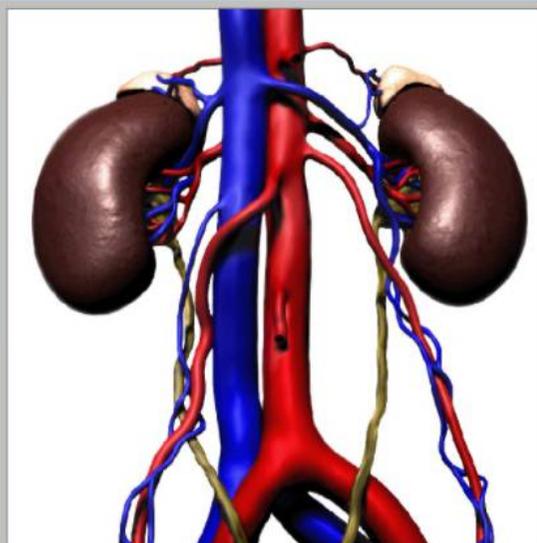
- The ISHA Virus + DNA do have already 45 languages inside. You can choose from the start and settings. The first time it can take up to 30 minutes to translate.

**The ISHA Aura needs the Japanese language pack to be installed in windows.**

ISHA Virus + DNA には、すでに 45 の言語が含まれています。起動と設定から選択できます。初めての場、翻訳に最大 30 分かかる場合があります。ISHA Aura を使用するには、日本語の言語パックを Windows にインストールする必要があります。

- ISHA u~irusu + dīenuē ni wa, sudeni 45 no gengo ga fukuma rete imasu. Kidō to settei kara sentaku dekimasu. Hajimete no baai, hon'yaku ni saidai 30-bu kakaru baai ga arimasu. ISHA aura o shiyō suru ni wa, nihongo no gengo pakku o u~indōzu ni insutōru suru hitsuyō ga arimasu





調査のスキーム

カードインデックス

現在の分析    インタラクティブ既往症    調査

アイコン    自動セラピー    マニュアル選択

調査タイプ    アルファベット順     照らされた    11:118

後腹膜腔の器官 Organs of retroperitoneal space

- スケルトン: 正面 Skeleton:front view
- 頭部の前頭断面 Frontal cross-section of head
- ヘッドの縦断面: 右のビュー Longitudinal cross-section of head:right view
- ヘッドの縦断面: 左のビュー Longitudinal cross-section of head:left view
- 大脳の水道橋のレベルで頭部の水平断面 Horizontal cross-section of head at the level of aqueduct
- 矢状開胸 Sagittal thoracotomy
- 第四頸椎のレベルで胸の水平断面 Horizontal cross-section of chest at the level of T4
- 大動脈の一部を昇順のレベルで冠状開胸: 正面図 Coronal thoracotomy at the level of ascending aorta: front view
- ダイアフラム Diaphragm
- 男性の小骨盤の臓器: 左ビュー Organs of male small pelvis:left view
- 男性の小骨盤の臓器: 右のビュー Organs of male small pelvis:right view
- 食道: 正面図 Esophagus:front view
- 胃の前壁 Anterior wall of stomach
- 胃の後部壁 Posterior wall of stomach
- 膵ゾーン: 正面図 Pancreoduodenal zone:front view
- 腸 Intestine
- 直腸 Rectum
- 肝臓: 正面図 Liver:front view
- 肝臓: 背面図 Liver:back view
- 胆嚢 Gall bladder
- 副鼻腔: 右側ビュー Paranasal sinuses:right view
- 副鼻腔: 左側ビュー Paranasal sinuses:left view
- 右肺: 内側ビュー Right lung:Medial view
- 左肺: 内側ビュー Left lung:Medial view
- 左の腎臓の縦断面 Longitudinal section of left kidney
- 右腎臓の縦断面 Longitudinal section of right kidney

既往症

診断

## FOREWORD 2 .... The Real Inventors .... ?

- NLS can not to be patented because it was developed by many people, scientists, organisations and companies.
- The hardware, the software, the etalons \ libraries, the in between layers of different software versions from many different healing origins, open source software packages like Borland, Delphi, and others.
- Just as we did with help of worldwide teams from Europe, Russia, China, Czech Republic, Japan, Joegoslavia, USA and man countries.

The foundation was created by many originators of NLS, Bioresonance and Quantum Metaphysics like, Nicola Tesla, Dr. Royce Rife, Dr Hulda Clark, Voll, Niels Bohr, Einstein, Podolsky, Rosen, Gustav Kirchhoff, Ludwia Boltzmann, Michael Faraday, Hein Max Planck, Max Born, Werner Heisenberg, and Wolfgang Pauli, Emil Müller, Louis de Broglie, Pascual Jordan, Erwin Schrödinger, Paul Dirac, John von Neumann, Politzer, Gross and Wilczek, Schwinger, Higgs and Goldstone, the physicists Glashow, Weinberg, Salam (and many Nobel Prize winners, not all mentioned here). And MetaGrandmaster of ISHA .... Who did the past 40 years

- **\*A special honor is for a man and a company called .....[www.nonlinearsystems.com](http://www.nonlinearsystems.com)**

Non Linear Systems is an electronical manufacturing company based in San Diego, California.

- Non Linear Systems was founded in 1952, by Andrew Kay!
- He is the true inventor of Non Linear Systems and it all started with a simple voltmeter ..... ☺
- Yes, now these days YOU do already have many nonlinearsystems in and around your house ...

This company is still very well alive [www.nonlinearsystems.com](http://www.nonlinearsystems.com)

- In fact **Non Linear Systems was already created NLS in 1952**, as mentioned .... So not by Russians, Czech's or any other !!
- But by sir **Andrew Kay**

All NLS software started with the use of Borland and Delphi programming. These are **open source softwares**, to be used by companies. And many applications are build. Later Our factory, ISHA and others used other programming software, besides B Delphi. The software and many Etalons were created with the help of many individual companies, therapists, doctors, research

## Catalogue カタログ

1.前書き .....	3-9
2.カスタマイズ .....	10-19
3.NLSの診断と治療 .....	20-120
4.レポートを印刷する .....	121-123
5.バックアップ .....	124-129
6.通知 .....	129
7.終わり .....	130

## Introduction 序章

これは、非線形診断システムISHA 8DVAで使用するためのトレーニングプログラムです。

ISHA 8DVAは、「脳」と呼ばれるまったく新しいクラスのデバイスを指します。マシン」。

彼らは何ですか？ 現在、科学と社会は一般的に情報に直面しています過負荷。毎日、大小の発見があり、毎年あります何十もの新しいマシンとデバイスが開発されました。これは確かに良いです。しかしながら、人はこの情報の海に溺れ始め、全体像を失います。

1世紀前、正しい診断のための医師は、何千年もの医学的観察の経験を必要としていました。今日、これには多くの費用のかかる研究と分析が必要です。医師が正しい診断を下すのに何が役立ちましたか？ 答えは基本的に直感と呼ばれる不可解な感覚です。

## Introduction 序章

しかし、現代科学は直観の現象、さらには透視のさらに神秘的な現象を解明することに非常に近づいています。ここでのポイントは、彼が奇跡や神の恵みではなく、通常感覚を迂回して人間の脳に情報を伝達できる非常に低い周波数の電磁振動であるということです。1000万単位の情報のうち、1つだけが認識され、他は潜在意識に固定されています。潜在意識の領域からの情報は、自発的に、または異常な、変化した意識状態のレベルで抽出されます：催眠、夢、瞑想、または向精神薬の投与中。

人類を含む全世界は、さまざまな情報信号を通じて深く相互に関連しています。そのため、潜在意識の領域から情報を取得する手法は、控えめながら、次の世紀の科学と社会の発展における優先事項として認識されています。

## Introduction 序章

エネルギー情報学の分野での数々の研究は、意識と潜在意識の間の障壁を破壊することができる根本的に新しい機器の作成につながりました。このプロセス（制御された研究）は、周囲の世界に関する膨大な量の新しい情報を提供することができます。

特別な関心領域-医学。これらは、従来の超音波やコンピューター断層撮影とは異なり、診断の新しい機会です。人口の集団予防検査に不可欠な手段。

ISHA 8DVA製品の開発を可能にした理論的および実験的研究は、エレクトロニクスの天才ニコラ・テスラによって1世紀後半に開始されました。その後、動物の健康と植物の状態に対する電波の影響を研究した科学者、ジョージ・ラホフスキーがこれを続けました。ラジオだけでなく、電気周波数への影響を調査したアメリカの研究者 R.Rife。

## Introduction

1950年、ロシアのR. Vollは、人体の経穴を電氣的にテストするシステムを発見し、開発しました。Vollの方法は、生物のエネルギー状態を研究する最初のハードウェア方法でした。これは、特別なプローブを使用して、人の鍼経絡の終点での電磁伝導率をテストすることによって行われます。研究の結果（デジタルまたはグラフィックインジケータの形式で）は、炎症性、ジストロフィー、または萎縮性の病理の存在のアイデアを与える可能性があります子午線と対応する器官を研究しました。人のエネルギーの状態を診断するためのもう1つのよく知られた方法は、キルリアンのオーラ診断です。これは、一般的に人間の電磁界の状態を判断するために使用されます。個々の臓器の状態は、それらのバイオフィールドの構成によって決定されます。NLS診断法により、各臓器の生体エネルギーの状態を個別に評価することができます。結果は、患部のトポグラフィーを含む視覚的画像の形で取得できます。また、体組織への損傷を分析できるグラフィック機能もあります。怪我の種類（炎症や破壊）をより正確に判断できるだけでなく、診断を明確にすることもできます。

# Introduction

研究は、研究対象の臓器への放射線の共鳴増幅と、トリガーセンサーを使用した非接触法による証拠の回収によって行われます。

非線形解析装置の最初のバージョンは、情報を手動で入力するだけでした。つまり、脳のシータリズムに近い低周波振動を使用することで、医師が患者の診断に積極的に関与しました。患者の体内の放射線に敏感です。結果は、フランダースの特別なスケールで医師とオペレーターが保持するL字型フレームの偏差を使用して記録されました（このスケールはプログラムの診断モジュールに表示されます）。しかし、この研究方法は主観的すぎて、医師の健康にとって安全ではありません。これは、コンピューターに患者の健康に関する情報を自動的に入力する、いわゆるトリガーセンサーの開発と作成につながりました。トリガーセンサーの効果は何ですか？

# Introduction

生物と無生物の性質の物体との相互作用の遠い効果、つまり人間から機械へのデータパルスの転送がV.N.の実験で初めて記録されました。私たちの世紀の20-iesのKravkov。に教授V.Togatovaの指導の下、バイオオペレーター（超能力者）の影響に対するさまざまな半導体構造の反応が研究されました。ワイヤーを使わない人間の脳は、高感度センサーデバイスに影響を与える可能性があることが実験的に証明されています。

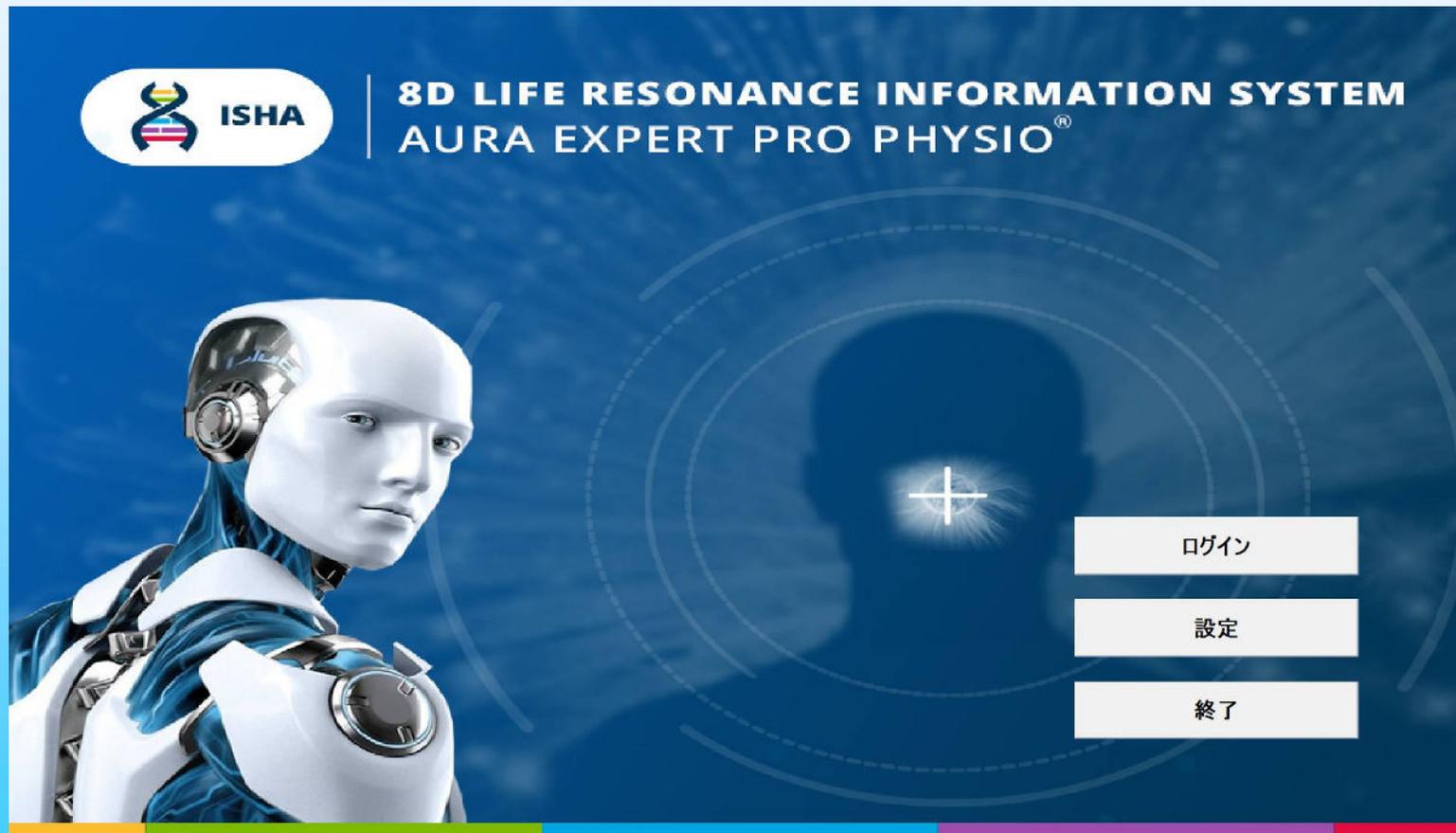
ソフトウェア開発者は、遠隔測定コンプレックスとリモートバイオフィードバックを使用した医師オペレーターとの間の対話モードで、オペレーターまたは患者の脳活動を知覚するように設計されていますが、研究の目的とコンプレックスの構成に応じて、この情報を次のように変換します。特別なトリガーセンサーを備えた一連のパルス。これは、人間の脳がこの器官またはその器官を検証（テスト）する必要性についての信号を受信するという事実に反映されています。信号はモニター画面に送られ、健康な人体に特有の一連の電磁波のヘッドヘッドホンと同様に。これが可能なのは、人体のすべての臓器とすべての細胞が独自の電磁波スペクトルを持っているからです。したがって、私たちは質問をしたいと思います-標的器官で何が起きているのですか？ 質問に答えて、被験者の脳はトリガーセンサーによって知覚される答えを出します。

## Introduction 序章

このモデルでは、「ISHA 8DVA」デバイスがデジタルトリガーセンサーを提供し、コンピュータソフトウェアとメインリサーチユニットのアナログトリガーセンサーを介してメインユニットのマイクロプロセッサで直接シミュレートされます。pn接合トランジスタにより、研究。このトレーニングプログラムの目的は、「ISHA 8DVA」デバイスの原理を詳細に物理的に正当化することではありません。デバイスごとに設計が異なるためです。現在、この機器のメーカーはいくつかあり、元の研究グループから「スピノフ」されています。特に、ロシア語の元のバージョンでは、ヘッドフォンは、脳のシータリズムに近い振動周波数の磁気インダクタとして使用されていましたが、デバイスの新しいバージョンでは、電磁波の導体として使用されていました。脳のアルファリズムに近いです。健康な体を研究するためのトリガーマカニズムとして電磁波を使用することで良い効果が得られます。また、他の多くのバージョンのデバイスでは、レーザーエミッターを使用して患者の脳に影響を与えます。レーザーを使用すると、共振応答の増加。ただし、このような暴露による悪影響のリスクがあるため、ISHA 8DVA機器のすべてのモデルでレーザーエミッターが使用されているわけではありません。

## Customize カスタマイズ

「カスタマイズ」ボタンをクリックします:(Fig.2).



# Customize カスタマイズ

設定メニュー (Fig.3).

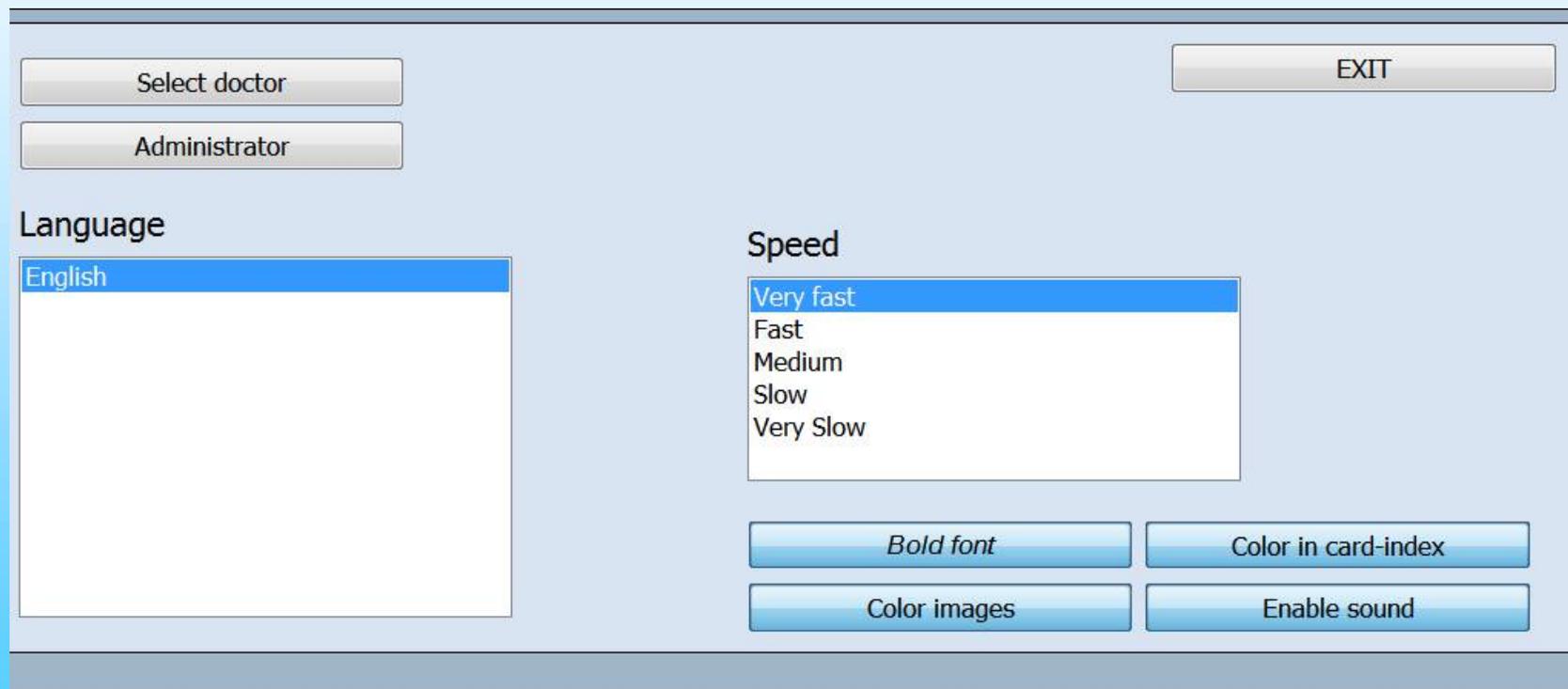


Fig.3.

## Customize カスタマイズ

**医師の選択:** デバイスを使用している医師のリストから医師を選択できます。各医師は自分の患者しか見ることができず、他の医師の患者を見ることができません。

**管理者:** 管理者パネルを開きます。

**言語:** プログラムの言語を変更します。プログラムの基本バージョンは英語で提供されます。

**終了:** メインメニューに戻ることができます。

**速度:** 別のモデルに変更します。

## Customize カスタマイズ

**太字:** すべてのテキストを太字で表示します。

**カラー画像:** 研究スキームの臓器のカラー画像を見ることができます。このボタンをクリックすると、写真は白黒になります。

**カードインデックスの色:** 調査後、カードファイル内のさまざまな機能ステータスを持つ臓器のさまざまな色で自動的に強調表示できるようにします。

緑は、表現された機能的変化のない臓器を示します。

赤は、機能の変化がわずかな器官を示しています。

ブラウンは、機能が大幅に変化した臓器用です。

**サウンドを有効にする:** デバイスが動作しているときにサウンド信号をオンにします。

## Customize カスタマイズ

[**管理者**]ボタンを使用すると、所有者は管理者モデルに入ることができます。(Fig.4.)

The screenshot shows a software interface titled "Doctor". At the top, there are two buttons: "Delete research" and "Exit". Below these is a table with two columns: "Date" and "Title Research". The table is currently empty. To the right of this table is a vertical stack of buttons: "Record fees", "Patient exchange", "Doctor selection", "Report", "Delete by date", and "Delete card file". Below these buttons is a "Search" label and an empty input field. At the bottom of the interface is a larger table with the following columns: "Last name", "First name", "Middle name", "Age", "Sex", "Address", and "Phone". This table is also empty.

Fig.4.

## Customize

**リサーチの削除:** ウィンドウの上部にあるボタンを使用して、個別のリサーチを削除できます。

**患者交換:** このリストの他の医師に患者を転送できます。この瞬間から、新しい医師だけが患者に関する情報を見ることができます。

**医師の選択:** 新しい医師を追加したり、リストから医師を削除したりできます。

注意! 医師のリストから医師を削除すると、この医師によって治療された患者のすべてのデータも削除されます。したがって、削除する前に、その削除された医師のすべての患者を他の医師に渡します。指定されたボタンを使用すると、現在の作業のリストから医師を選択することもできます。

**レポート:** 各医師またはすべての医師が一緒に行った多くの研究を示しています。

# Customize

**日付による削除**-指定した日付のすべての調査を削除できます。

たとえば、現在の日付から1年後、この日付より前に行われた以前の調査はすべて削除されます。

**カードファイルの削除**-カードファイルから患者を削除できます。

# Customize

## 患者交換

プログラムの各医師は自分の患者のみを見ることができ、他の医師の患者を見ることができません。管理者がリストから1人または複数の医師を削除する必要がある場合、それらの医師の削除とともに、患者とすべてのデータが削除されます。これらの患者のデータを保存する必要がある場合は、ベースから医師を削除する前に、削除しない他の医師にデータを転送してください(Fig.5).

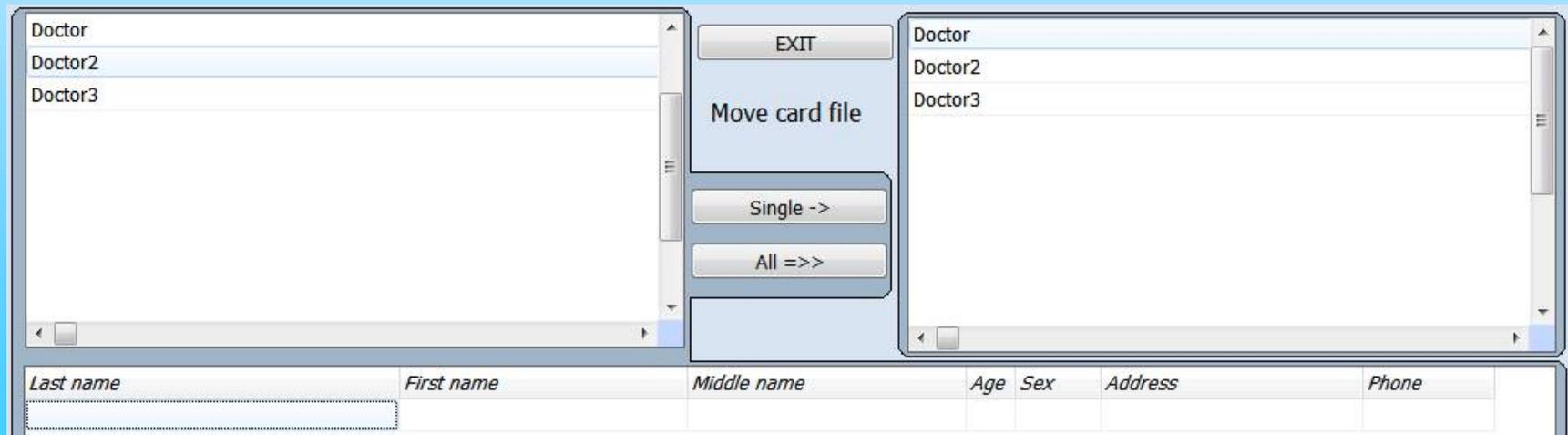


Fig.5.

## Customize カスタマイズ

画面の左上隅にある医師を選択します。その医師の患者は他の医師に転送する必要があります。画面の右上隅で、患者を受け入れる医師を選択します。

次に、データを転送する患者を選択し、「**Single**」または「**All**」をクリックします。別の患者を選択して、その患者のデータをさらに転送することもできます（Fig.6）。データはコピーされずに転送されるので注意してください！

その後、「**Exit**」ボタンを使用して管理者パネルに戻ることができます。

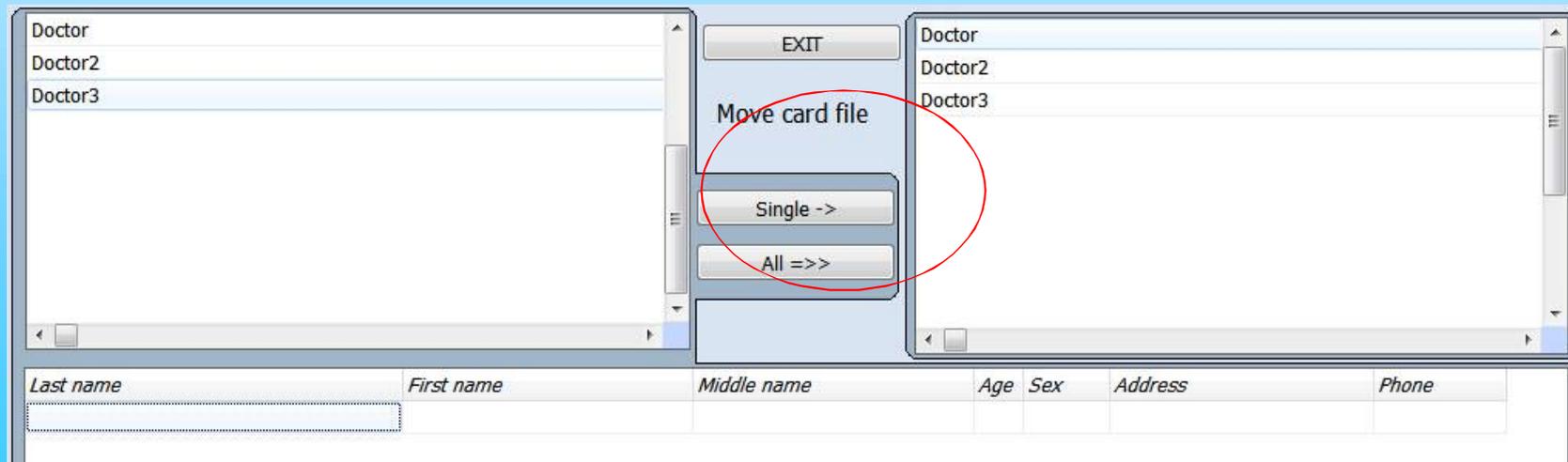


Fig.6.

# NLS diagnostic and therapy

「**LOGIN**」をクリックすると、ユーザーにカードインデックスが表示されます (Fig.7)

The screenshot displays a software interface for NLS diagnostic and therapy. It features a user profile form on the left with fields for Last name, Name, Middle name, Age, Sex, Blood group, Address, and Phone. Below this are 'New card' and 'Select card' buttons. To the right is a search section with a 'Search' input field, an 'EXIT' button, and three 'Delete' buttons: 'Delete by date', 'Delete research', and 'Delete file card'. A 'Reception by Doctor' section is also present. At the bottom left, there are 'Print epicrisis', 'Save to disk', and 'Print researches' buttons. A table with columns 'Date' and 'Name of research' is shown, with a '0/0' indicator at the bottom left. On the right side, there are 'RESEARCH', 'View result', and 'Comparative analysis' buttons.

Date	Name of research
------	------------------

Fig.7.

## NLS diagnostic and therapy NLSの診断と治療

**新しいカード:** 新しい患者を入力できます。

**カードの選択:** リストからクライアントのカードを選択できます。このボタンをクリックすると、特定の医師によって治療されたクライアントのリストが表示されます。各クライアントについて、次の情報にアクセスできます: 名、ミドルネーム、姓、年齢、性別、住所、電話番号。

**叙事詩の印刷:** 医師が選択したすべてのデータ（調査結果、医師のコメント）を印刷できます。

**ディスクに保存:** クライアントのデータをCDまたはハードディスクに保存し、必要に応じて他のコンピューターに転送できます。

**研究の印刷:** 患者の最新の研究を印刷できます。このプログラムでは、100 \* 100mmサイズの4枚の写真をA4用紙に印刷できます。

## NLS diagnostic and therapy NLSの診断と治療

**研究:** 研究スキーム（または、新しい患者のためにこのボタンを初めてクリックした場合はインタラクティブな既往歴）を示します。

**結果の表示**（ヘッドホンがオフの場合）**または現在の分析**（ヘッドホンがクライアントの頭にある場合）により、調査結果を表示できます。

**比較分析:** 同じ患者に対してさまざまな時間またはさまざまな条件下で実施された研究を比較して、仮想テスト標準のダイナミクスまたはメタ療法の影響を研究することができます。

**グラフィック:** 検査された臓器またはシステムの写真の下に、エタロンプロセスのスペクトル類似性の図が表示されます。

## NLS diagnostic and therapy NLSの診断と治療

**日付による削除**-この日付より前に行われたすべての調査は削除されます。

**リサーチの削除**-選択したリサーチを削除します。

**ファイルカードの削除**-現在、患者カードを削除します。.

**テキストの検索**-患者のすべての研究記録を検索します。たとえば、患者の名前を入力します: **Ken**、画面の下部に「**Ken**」のすべての研究記録が表示されます。

# NLS diagnostic and therapy

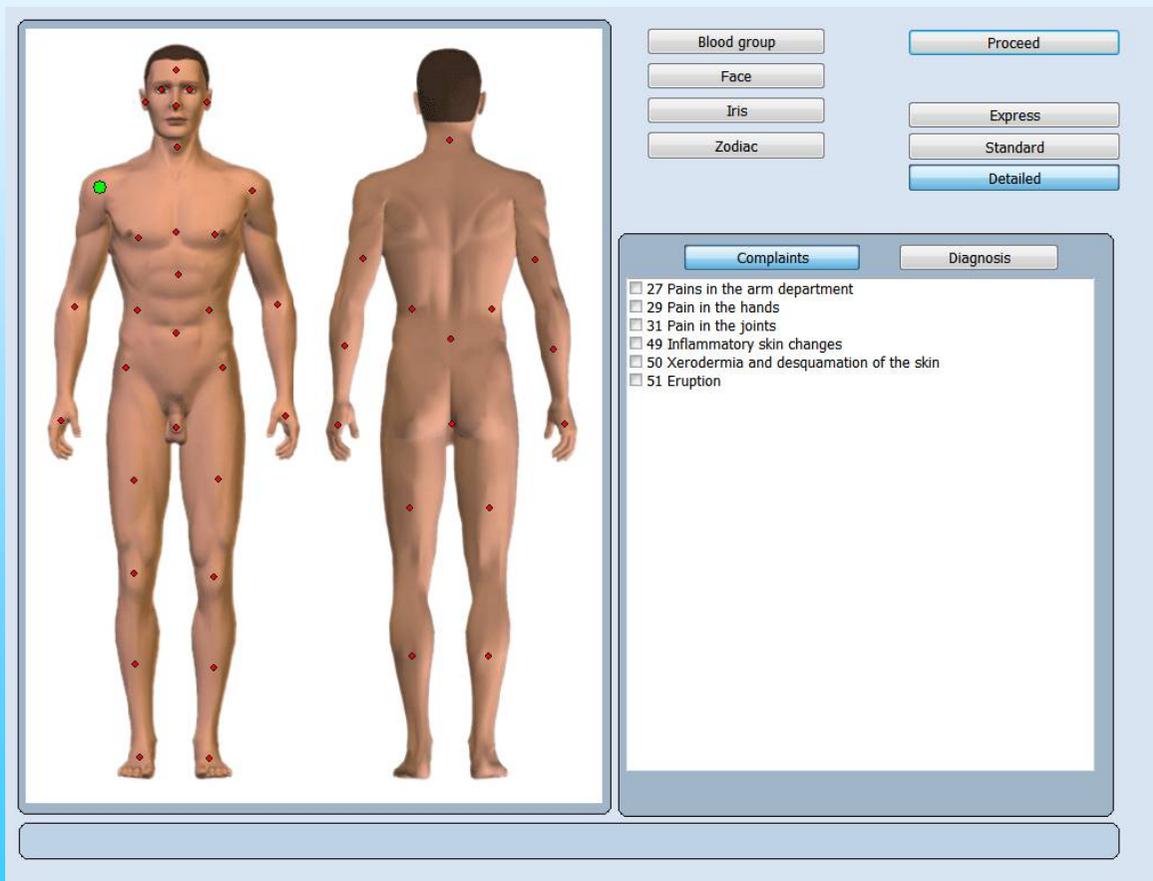
「**新しいカード**」をクリックし、すべての空白を埋めると、次のページに移動します。(Fig.8)

The screenshot displays a web application interface for NLS diagnostic and therapy. The main form contains the following fields: Last name, Name, Middle name, Age, Sex, Blood group: 0, Address, and Phone. A 'New card' button is located below these fields. To the right, there is a 'Search' bar, an 'EXIT' button, and three buttons: 'Delete by date', 'Delete research', and 'Delete file card'. Below the search bar is the text 'Reception by Doctor'. A modal dialog box is open, showing a detailed form for entering patient data, including Last Name, First name, Middle name, Birthday (1900/ 1/ 1), Age, Sex, Group of blood, Resus Phactor, Address, Phone, Handy, and E-mail. The modal has 'OK' and 'Cancel' buttons. Below the main form, there is a 'Print epicrisis' button and a table with columns 'Date' and 'Name of research'. At the bottom right, there are buttons for 'RESEARCH', 'View result', and 'Comparative analysis'.

Fig.8.

## NLS diagnostic and therapy

これは、医師の病歴を指摘する場所であり、患者がセラピストにより多くの相互作用を提供できるようにする場所であり、したがって、技術者に知ってもらいたい懸念事項を表現することができます。(Fig.9.)



右肩に緑色の点が表示されていることに気付くでしょう。必要な領域をクリックすると、適切な右側のリストをいくつかでもクリックすると、選択するとドットが緑から赤に変わります。この後、体の別の領域をクリックできます。

Fig.9.

## NLS diagnostic and therapy

このモードは、新しい患者の登録後に一度だけアクセスできます。インタラクティブな既往歴は、医師によるデータ収集の過程でクライアントが積極的に参加し、対話中に患者の苦情や診断に関する広範な情報を受け取れることを目的としています。それは、より友好的な接触をすることを可能にしますそれはどんな医者にとっても非常に重要なので、検査。

医師は動的ポイントを使用して、患者が知っている診断や病気に関するデータを入力できます。後で、検査結果の統合された信頼性の高い分析を行うのに役立ちます。

### 調査スキーム

このメニューにより、医師は、種類、速度、必要な臓器、その他の重要なパラメータを選択して、調査（調査）を実行するためのデバイスを準備できます。

# NLS diagnostic and therapy NLSの診断と治療

**苦情:** 患者の問題による選択肢を提供します。(Fig.10)

**診断:** 事前に決定された医学的診断の苦情によるリストを提供します。(Fig.11)

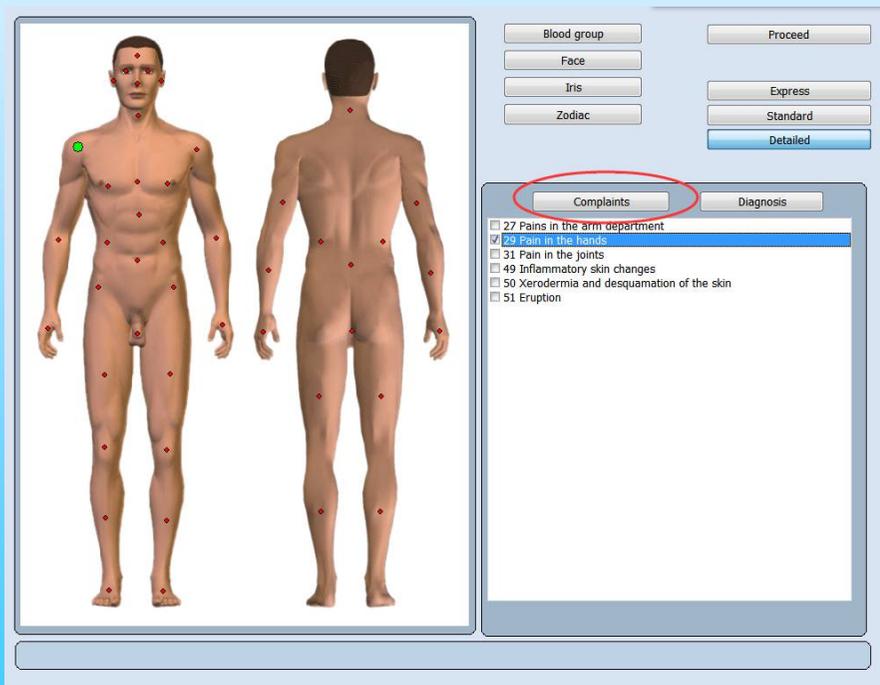


Fig.10.

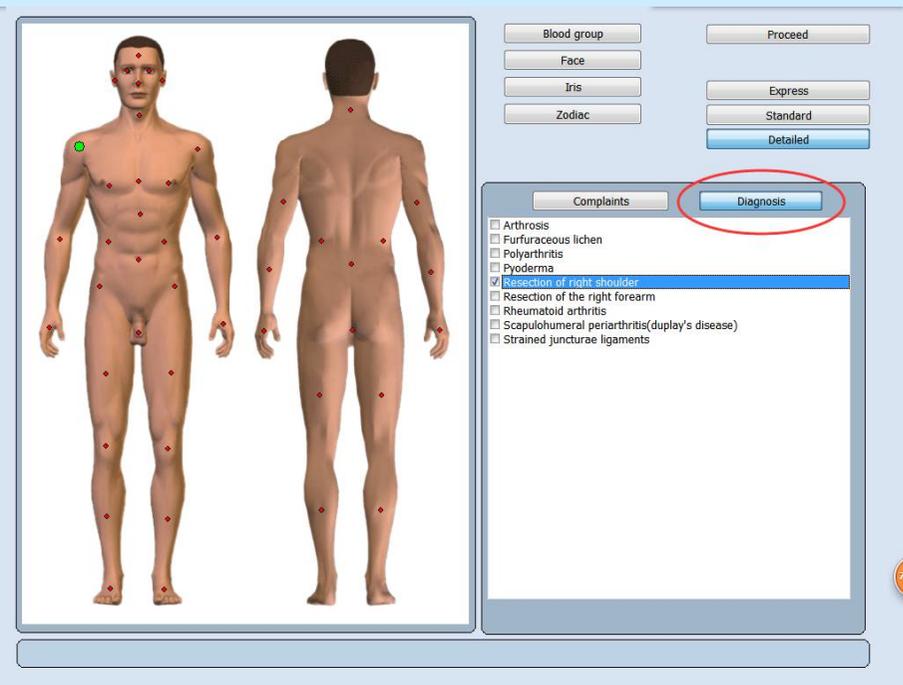


Fig.11.

# NLS diagnostic and therapy

**速達:** 詳細な調査せずに一般的な分析を実行することができます。

**通常:** 詳細な調査を行わずに一般的な分析を行うことができますが、機能の変化が表現された生物学的構造をより詳細に調べることができます。

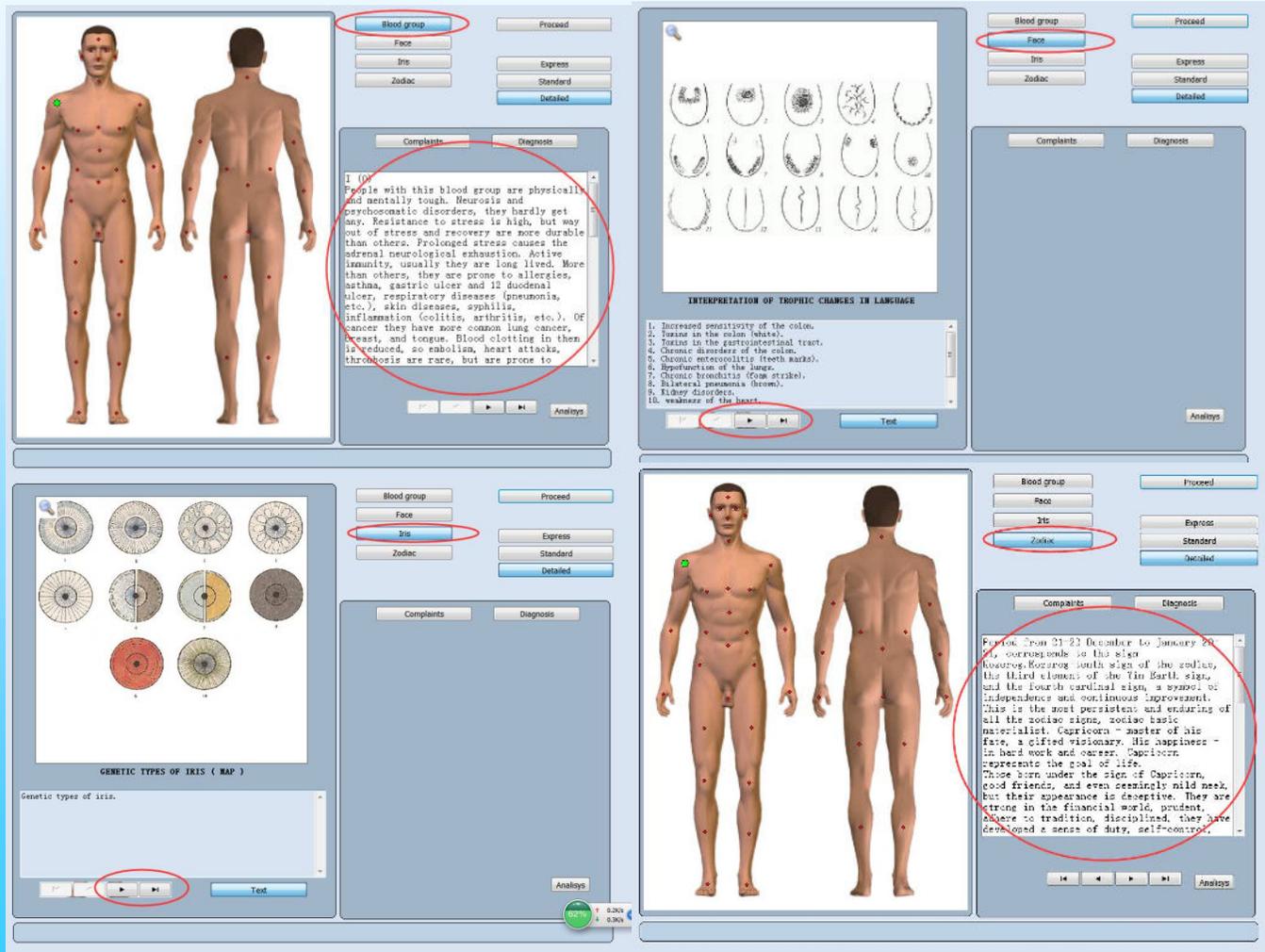
**詳細:** リストから各生物学的構造を詳細に推定することができ、調査にはかなり長い時間がかかります。

**続行:** 次のステップに進むことができます。

# NLS diagnostic and therapy

血液型、顔、アイリス、干支、あなたにいくつかの参照を示しています。(Fig.12)

血液型



面

Fig.12

虹彩

干支

# NLS diagnostic and therapy NLSの診断と治療

[**続行**]をクリックすると、このページの調査スキームが表示されます。  
(Fig.13)

The screenshot displays the 'Scheme of investigation' window. On the left is a 3D anatomical model of the human head and neck in a sagittal view. Below the model are two buttons: 'Anamnesis' and 'Diagnosis'. The 'Anamnesis' button is active, and a text box below it contains the entry '29 Pain in the hands.'.

The 'Scheme of investigation' window has a title bar with 'Scheme of investigation' and a 'Card-Index' button. Below the title bar is a 'Detailed' section with several buttons: 'Interactive anemnesis', 'Auto-Therapy', 'RESEARCH', 'Icons', 'Current analysis', 'Research type', and 'Manual choice'. Below these buttons is a list of investigation schemes with checkboxes. The 'Longitudinal cross-section of head:left view' is selected and highlighted in light blue. The list includes:

- Organs of retroperitoneal space
- Skeleton:front view
- Frontal cross-section of head
- Longitudinal cross-section of head:right view
- Longitudinal cross-section of head:left view
- Horizontal cross-section of head at the level of aqueduct of cerebrum
- Sagittal thoracotomy
- Horizontal cross-section of chest at the level of 4th cervical vertebra
- Coronal thoracotomy at the level of ascending part of aorta:front view
- Diaphragm
- Organs of male small pelvis:left view
- Organs of male small pelvis:right view
- Esophagus:front view
- Anterior wall of stomach
- Posterior wall of stomach
- Pancreoduodenal zone:front view
- Intestine
- Rectum
- Liver:front view
- Liver:back view
- Gall bladder

At the bottom of the list is a 'MultiLine' checkbox, the page number '11:131', and a 'By alphabet' button.

Fig.13

## NLS diagnostic and therapy NLSの診断と治療

**カード インデックス:** 調査のスキームを終了し、カード ファイルに戻ることができます。

**既往歴:** 患者の不満を示します。

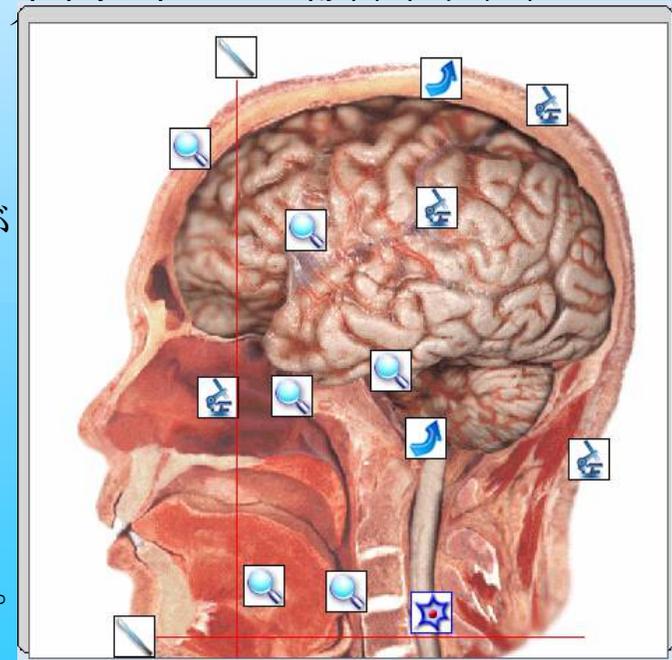
**診断:** 医師の診断を表示します。

**インタラクティブな既往歴:** インタラクティブな既往歴のリストから選択した臓器の写真を表示することができます (Fig.13)

**自動治療:** 選択する必要があります調査があります  
器官または組織または細胞。窓の下にあなたが見ることができます  
リストから選択した臓器の写真が表示された  
ウィンドウ  
臓器、組織、細胞の (Fig.13).

**アイコン:** 臓器のより詳細な検査を表示します  
(Fig.14).臓器の写真に一連のアイコンが表示され、  
それに関連する他の臓器システムと組織が表示されます。

Fig.14.



## NLS diagnostic and therapy

アイコンはいくつかのタイプに分けられます:

細胞の画像が付いたアイコンは、この臓器の細胞の検査を行うことができます。 

顕微鏡または拡大鏡の画像が付いたアイコンは、組織、細胞のグループ、プロフィール、および選択した臓器またはシステムの一部を表します。 

矢印の画像が付いたアイコンは、特定の臓器や他の臓器に接続されているシステムを示しています。 

拡大鏡の画像が付いたアイコンを使用すると、この領域のより詳細な調査を行うことができます。 

仮想メスは、異なるプロフィールで特定の臓器またはシステムを調査することを可能にします。 

# NLS diagnostic and therapy

## 研究タイプ

**速達**: 詳細な調査なしで一般的な分析を実行できます。

**正常**: 詳細な調査なしで一般的な分析を行うことができますが、発現された機能変化を伴う生物学的構造のより詳細な検査が可能です。

**詳細**: リストから各生物学的構造を詳細に推定することができ、調査にはかなり長い時間がかかります。

**科学**: すべての臓器リストを表示できます。

**研究**: で調査を開始することができます  
臓器のリストからの調査のセットアップスキームの下でのセットアップパラメータ。

**現在の分析**: さらに説明されている現在の分析のメニューを開きます。

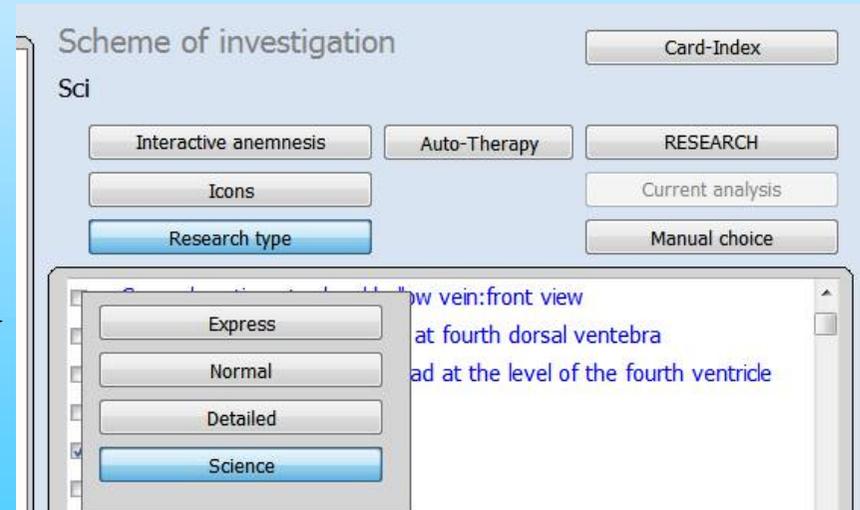


Fig.15.

# NLS diagnostic and therapy NLSの診断と治療

[手動選択]をクリックすると、いくつかの選択肢が表示されます。(Fig.16.)

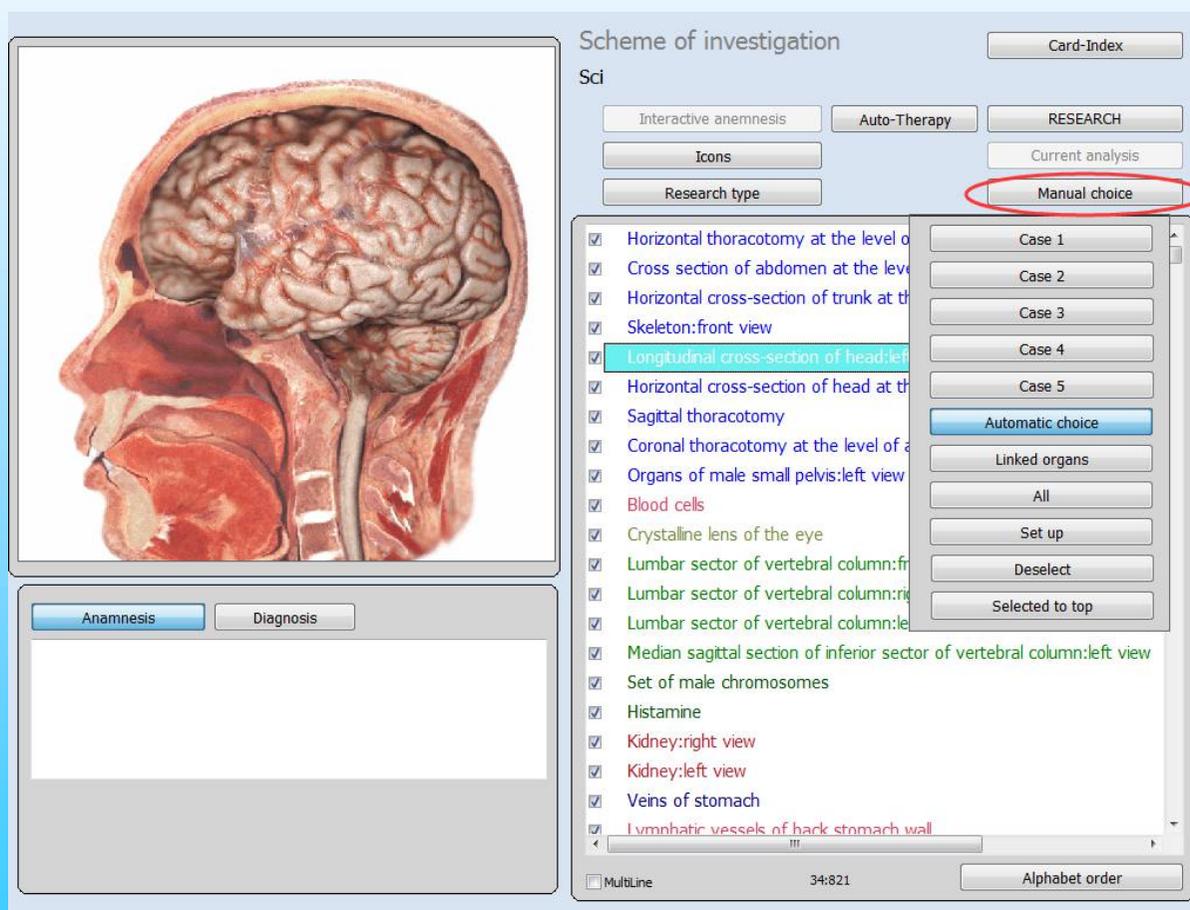


Fig.16.

# NLS diagnostic and therapy

**手動選択:** リストから臓器の左側にある小さな四角をクリックすると、自動的に調査スキームに追加されます。調査リストから臓器を削除するには、もう一度クリックします。(Fig.18.)

**自動選択:** コンピューターは、すべての調査のリストから、身体のいくつかの基本的なシステムと器官を提供します。各新規患者の一次検査には、このモードを使用することをお勧めします。

**ケース1、ケース2、ケース3、ケース4ケース5:** これはカスタム調査スキームです。

**リンクされた臓器:** 自動的に研究するためにいくつかのリンクされた器官を選択してください。

**すべて:** 調査リストからすべての臓器が選択されます。

**セットアップ:** ケース1、ケース2、ケース3、ケース4、ケース5の調査スキームが習慣です。事前に病気の新しい選択肢を作成できます。

**選択を解除:** 選択したすべての臓器を調査リストから削除します。

**トップに選ばれました:** すべての臓器が一番上に選ばれるようにします。システムの順序とアルファベット順の臓器は、システムごとに分類できます。

**マルチライン:** 臓器の写真を表示します。(Fig.17.)

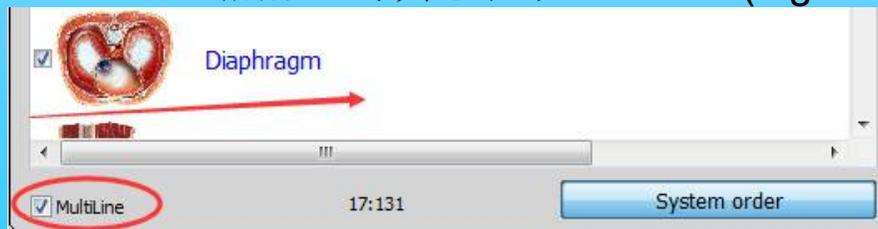


Fig.17.

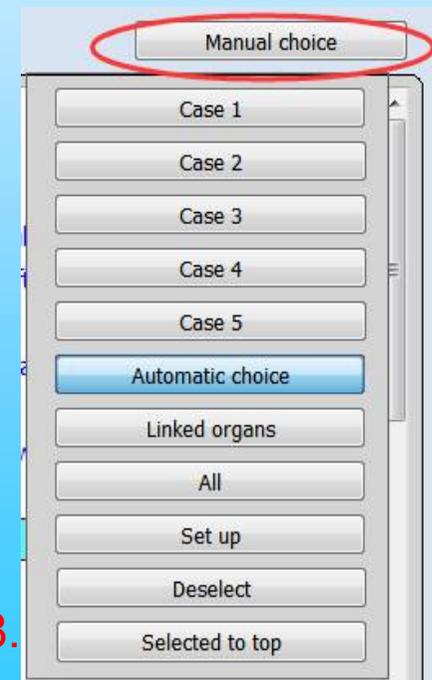


Fig.18.

## NLS diagnostic and therapy NLSの診断と治療

- ❑ TRANSVERSAL SECTION OF RACHIS in cervical zone
- ❑ TRANSVERSAL SECTION OF RACHIS in thoracic zone
- ❑ TRANSVERSAL SECTION OF RACHIS in lumbar zone
- ❑ MIDSAGITTAL CROSS-SECTION OF BODIES OF VERT
- ❑ LONGITUDINAL SECTION OF RIGHT KIDNEY
- ❑ LONGITUDINAL SECTION OF LEFT KIDNEY
- ❑ KIDNEY; right V
- ❑ KIDNEY; left V
- ❑ NEPHRON #
- ❑ GLOMERULES AND INCOMING ARTERIES
- ❑ ARTERIES OF HEAD AND NECK; right side
- ❑ ARTERIES OF HEAD AND NECK; left side
- ❑ On the right of the heart
- ❑ On the left of the heart
- ❑ MUCOSA OF NASAL CAVITY # MK
- ❑ TRACHEA AND BRONCHI
- ❑ CORONAL CROSS-SECTION OF LARYNX AND TRACHEA
- ❑ TRANSVERSAL SECTION OF LARYNX # MK
- ❑ CROSS - SECTION OF NECK

調査スキームでは、すべての臓器、細胞、組織がシステムに従って分類されます (Fig.19.)。たとえば、臓器の青色のカラーマークシステムと人体内部のセクション、緑色は骨システムなどです。リスト内器官を系統別に分類すると、その系統に属する細胞名が異なる色で表示されていることがわかります。

インタラクティブな病歴 患者の最初の検査の前にインタラクティブな既往歴のメニューに入り、苦情や病気を特定することができます。

Fig.19.

# NLS diagnostic and therapy NLSの診断と治療

「リサーチ」をクリックすると、自動的に機能します。(Fig.20.)

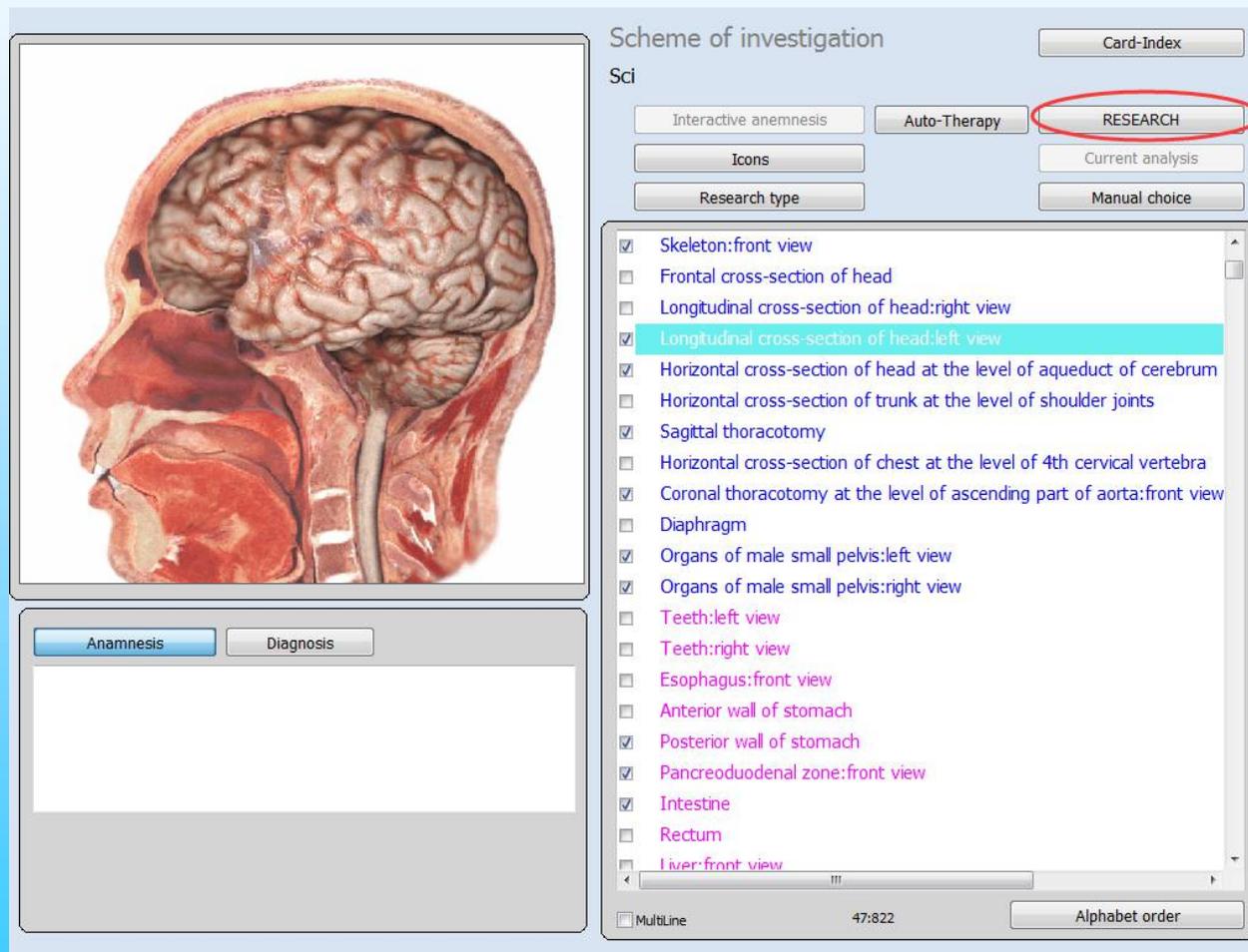


Fig.20.

# NLS diagnostic and therapy

## 調査手順

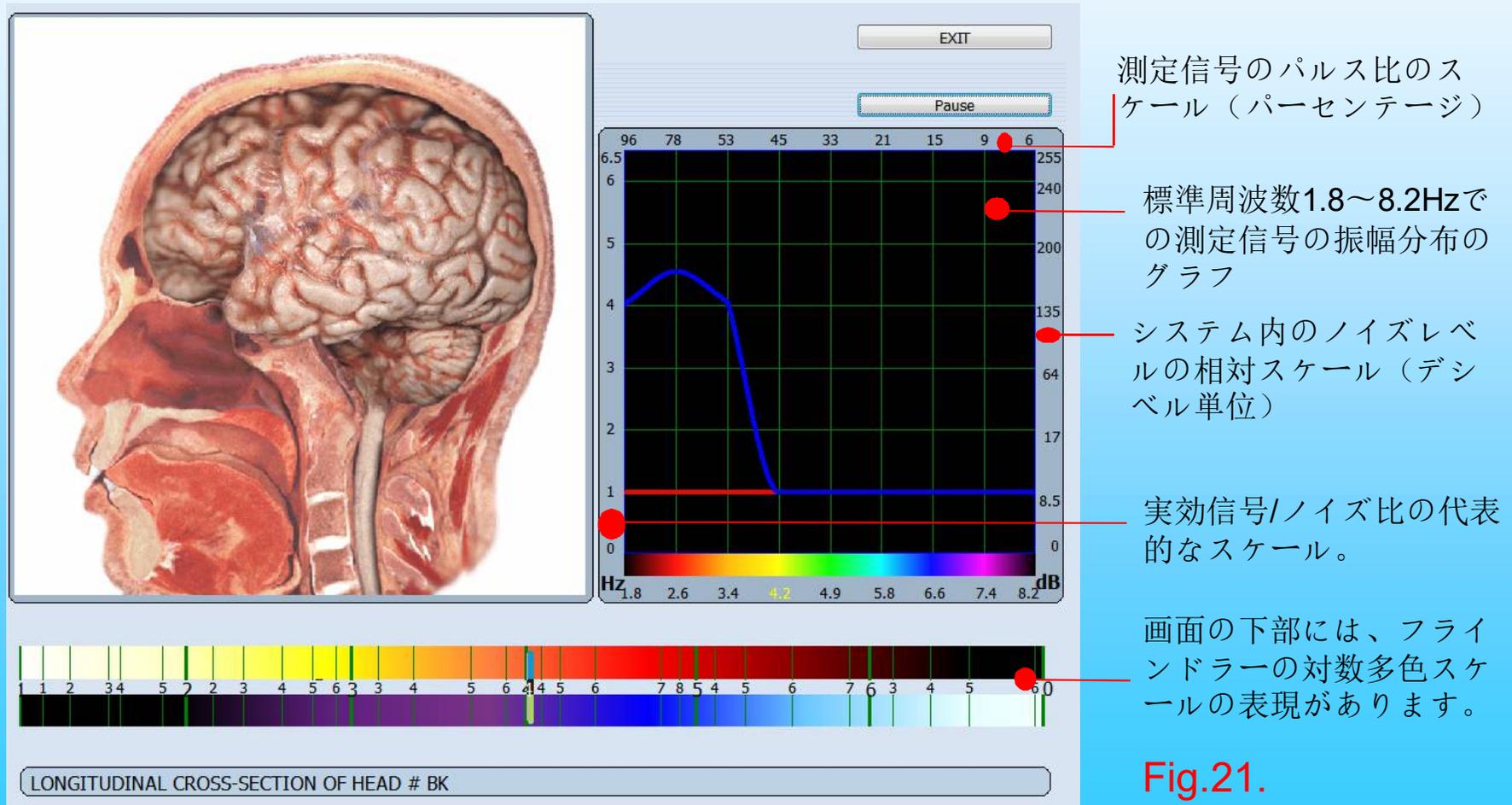


Fig.21.

## NLS diagnostic and therapy

**一時停止/再開:** 必要に応じて調査を一時停止できます。研究中にヘッドホンを取り外すこともでき、再び装着するまで自動的に停止します。

**終了:** カードファイルに戻ることができます。

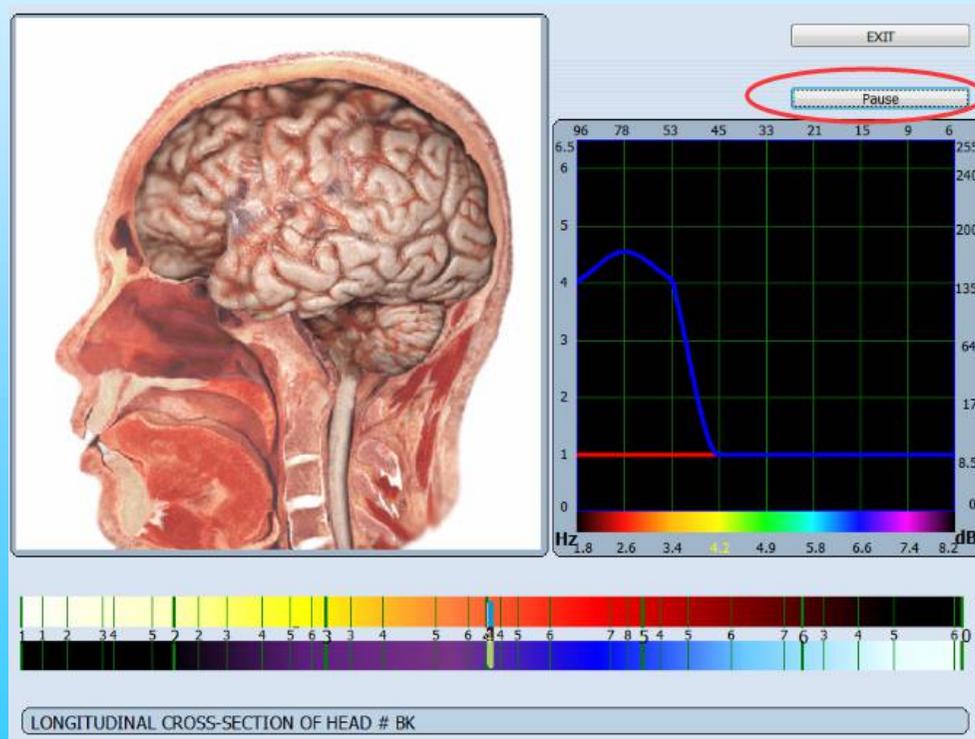


Fig.22.

# NLS diagnostic and therapy

# NLSの診断と治療

コントロールポイント、レベル、カーブ

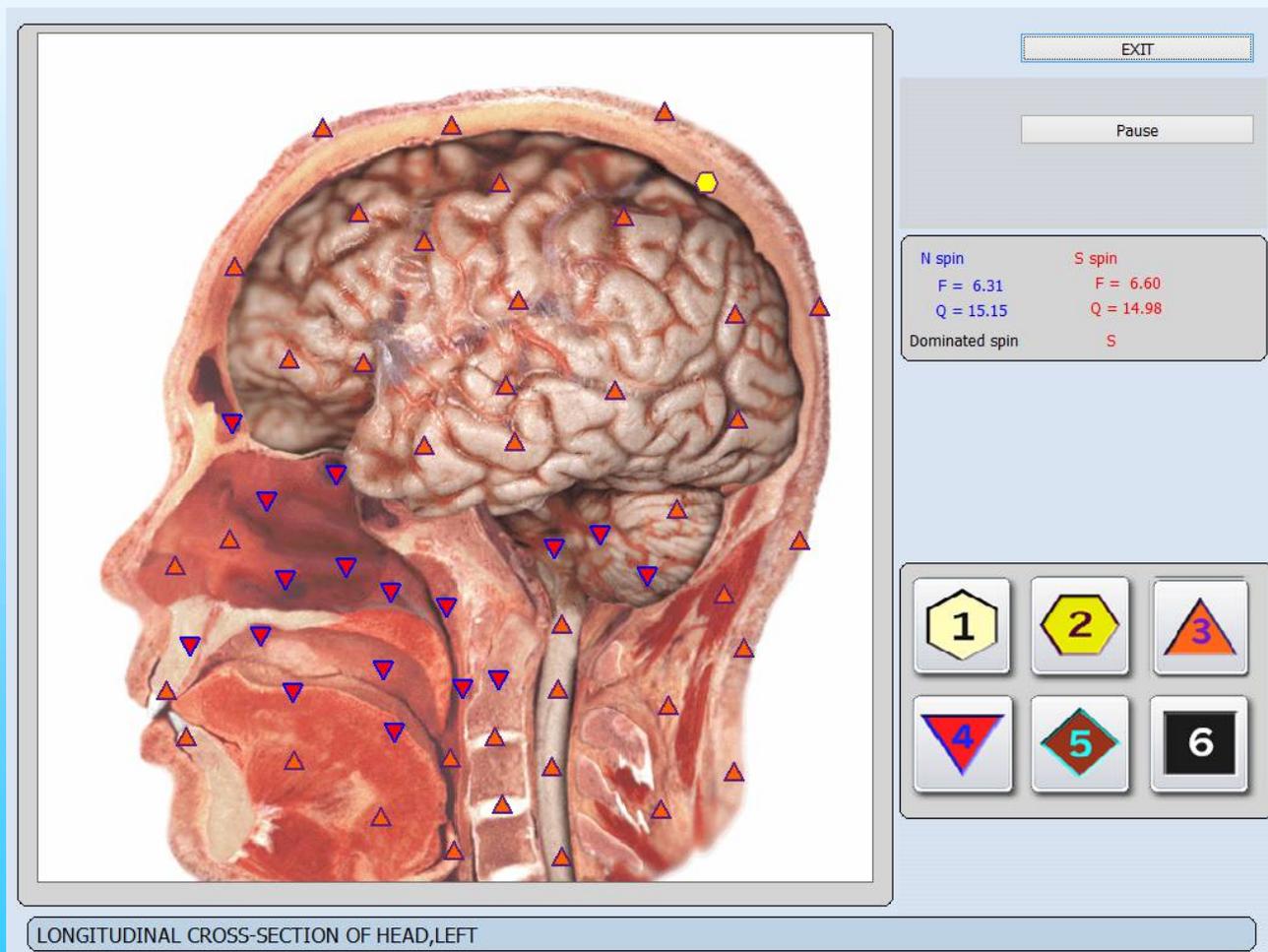


Fig.23.

# NLS diagnostic and therapy

「リサーチ」モードでは、ヘッドホンから受信した信号をエタロンと比較できます。結果はフレンドリーのスケールで表示されます。次のレベルを示す6つのさまざまなアイコン(Fig.23):



通常の下限



軽度の変化（前臨床段階の疾患）



標準



平均度の変化（病期）



通常の上限（遷移状態、機能変更）



顕著な変化

## NLS diagnostic and therapy

それは非常に重要です! 非線形解析の方法はエネルギー技術を参照しているため、身体への損傷の視覚的評価は彼のエネルギーの状態に属します!

ほとんどの場合、体性エネルギーの損傷に対応しますが、体性障害の発症に先立って停電が発生する場合があります。これらの場合、州の機関は黒い四角で観察されることがあります。このような状況の分析では、最小のQRSは、ほとんどの場合、有機製剤（つまり、健康な体）です。

現在のモデルは、複数のデータチャネルの同時分析の可能性を考慮して設計されました。これにより、制御点の信号の分析を非常に高速に実行できます。

与えられたレベルのスケールは概算であり、主に生物の適応能力（強化、弱体化）の評価に役立つことを覚えておくことが重要です。強く顕著な発散でさえ、予備的な推定と比較なしに病気として明確に解釈することはできません。

検査中に、特定の時点でのクライアントの生物の状態と埋蔵量を評価できます。

## NLS diagnostic and therapy

たとえば、患者に深刻な病気はないが、現時点で深刻なうつ病がある場合、定期的でない食事、睡眠、コンピューターでの作業が多い場合、コントロールポイントで**4,5,6**レベルが多く見られます。検査。したがって、病気の存在について結論を出すことはできません。

別のケース: あなたの患者は悪化期以外にも多くの慢性疾患を抱えているため、基本的にレベル**1、2、3**が表示されます。

別のケース: クライアントの虫垂炎または他の臓器が切り取られます。この臓器を調べると、コンピューターは主にレベル**1、2**またはレベル**5、6**を出します。これは、臓器がまだ存在せず、脳が信号を送信し続けるため、この場合、デバイスが調査の実行方法を知らないことを意味します。この器官（ファントム効果）。

# NLS diagnostic and therapy

## 調査後のクライアントのカードファイル

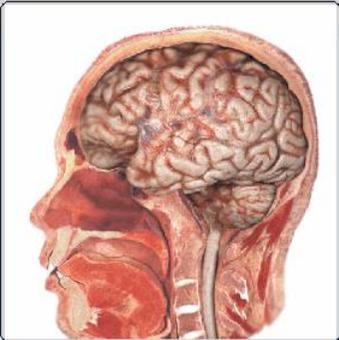
Last name Tom  
Name R  
Middle name  
Age 38 Sex Male  
Blood group: 0 0  
Address  
Phone

Search  EXIT  
Delete by date Delete research Delete file card  
**15:52:02**  
Reception by Doctor  
Time 15:52/0:00

New Card Select Card

Print epicrisis Save to disk Print research

Date	Name of research
03.06.2014	LONGITUDINAL CROSS-SECTION OF HEAD # BK
03.06.2014	HORIZONTAL CROSS-SECTION OF HEAD at the level of aqueduct of cerebrum
03.06.2014	HORIZONTAL CROSS-SECTION OF HEAD at the level of the fourth ventricle
03.06.2014	CORONAL THORACOTOMY at the level of ascending part of aorta, front view
03.06.2014	CORONAL THORACOTOMY at the level of venae cava, front view



Graphic

RESEARCH  
Current analysis  
Comparative analysis

Fig.24.

## NLS diagnostic and therapy

研究が終了したら、患者カードファイルに戻ることができます。(Fig. 30) 画面の下部にある検査済み臓器のリストを確認します。比較分析やさらなる研究のために、リストから任意の臓器を選択できます。

日付または研究名の見出しをマウスで2回クリックすると、研究を日付で並べ替えたり、アルファベット順に並べ替えたりできます。

### 結果の現在の分析/表示

調査が終了したら、[結果の表示/現在の分析]ボタンをクリックすると、次のメニュー (Fig.31) を開くことができます。

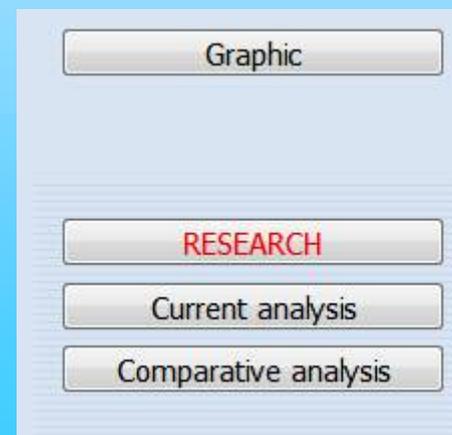
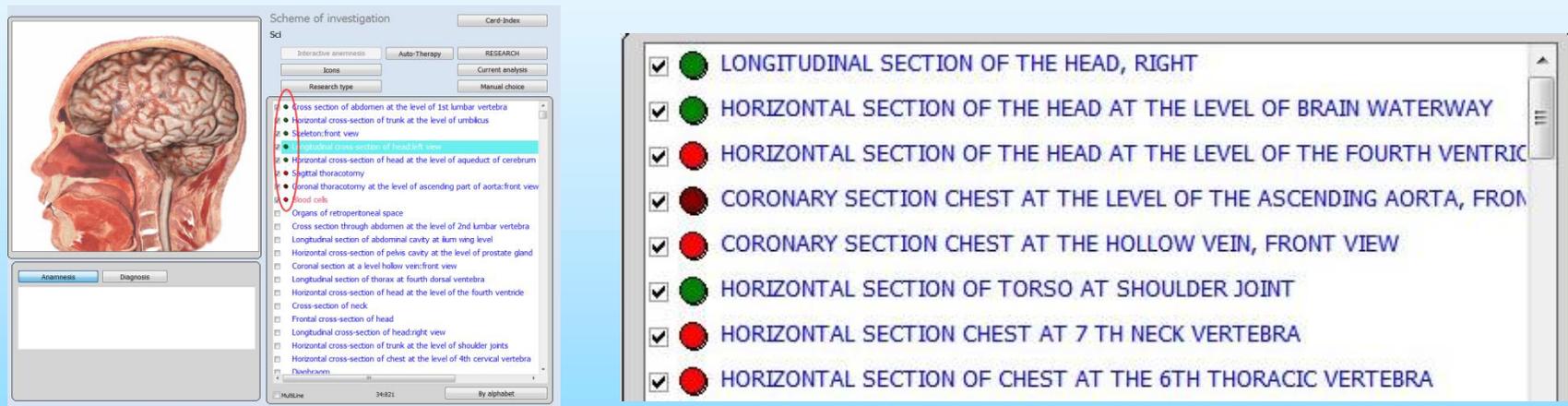


Fig.25.

# NLS diagnostic and therapy

## 調査アイコン

調査リストでは、調査機関の記録が表示され、調査アイコンは次の意味を表します(Fig.26):



 臓器が一般的に良いことを意味します

 臓器がわずかに機能不全であることを意味します

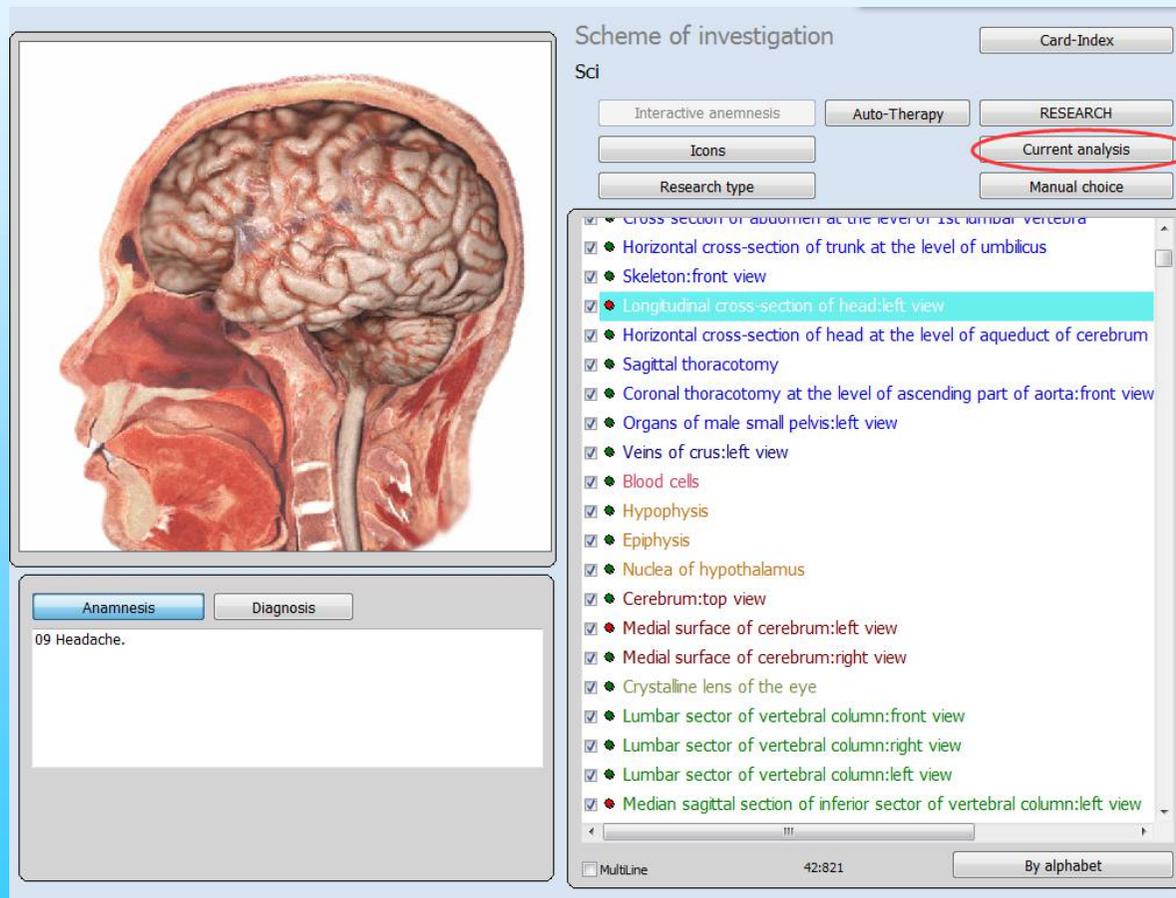
 劣後部分の下の器官

Fig.26.

これは、病気の発症傾向の予備的な分析にすぎません。エントロピー分析とNLS分析で確認する必要があります。

# NLS diagnostic and therapy

「調査完了」後, [現在の分析]をクリックします



分析するこれらの  
2つのカラードッ  
トを選択してくだ  
さい

Fig.27.

# NLS diagnostic and therapy

このページが表示されます。これらのボタンが最初に機能することを  
知ってください。

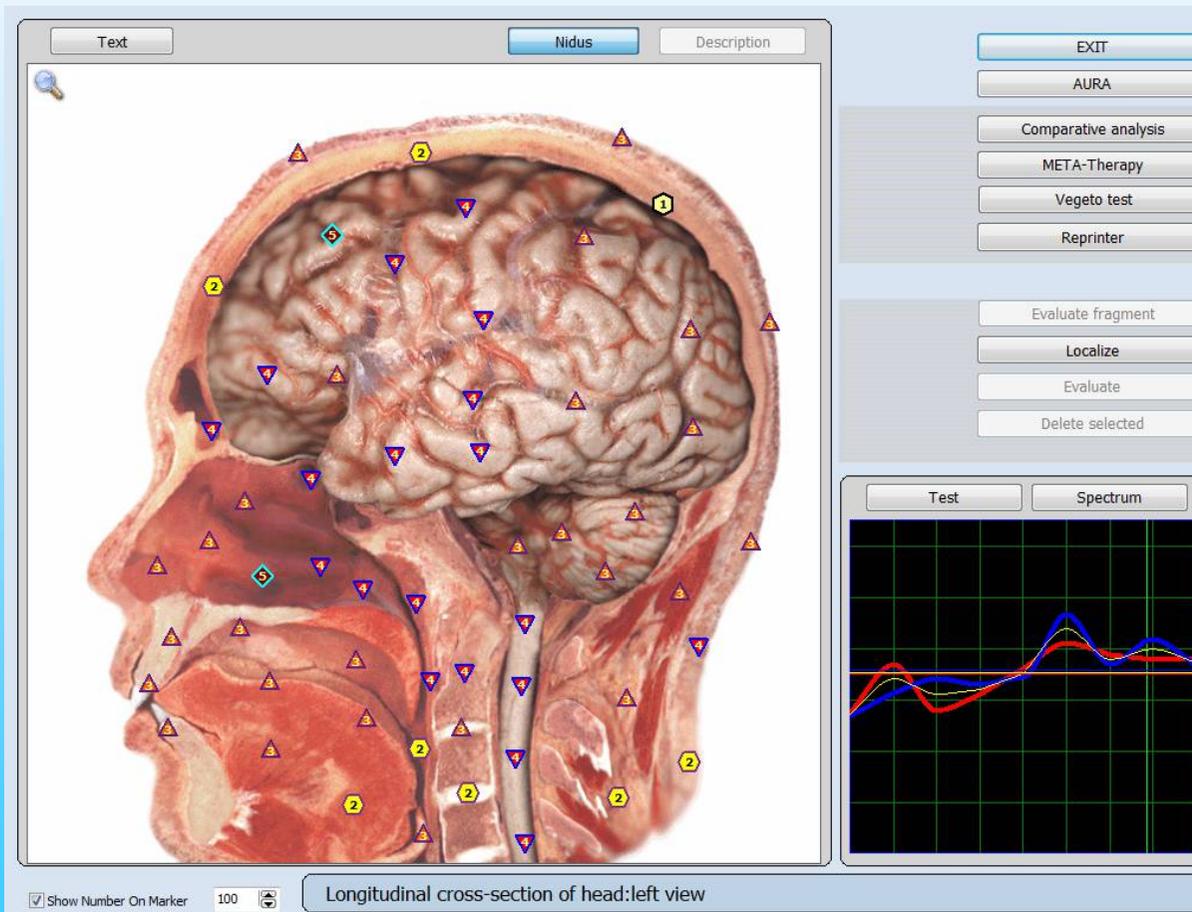


Fig.28.

# NLS diagnostic and therapy

**終了:** 調査のスキームに戻ることを許可する（前のページ）。

**AURA:** すべての生物を取り巻く電磁界は、身体を取り巻くさまざまな色として自分自身を表す帯電した物体によって物理的な場に現れます。この電磁界は、人の感情状態、意識の質に関する情報を提供し、個々の臓器および臓器系に関する健康レベル。

**比較解析:** さまざまな時期またはさまざまな条件下で行われた1つの臓器の研究の比較分析を行うこと。

**メタ療法:** （古典的な生体共鳴療法）、次の章を参照してください。

**ベジットテスト:** （外部）、参照データを評価するには、次の章を参照してください。

**リプリンター:** 参照データ（エタロン）に関する情報をマトリックスに入れるには：水、アルコール、砂糖、パラフィン。

## NLS diagnostic and therapy

**ローカライズと評価:** 面積を割り当てて推定するために、臓器の一部を割り当てて評価することができます。割り当てられた面積が少なく、割り当ての境界の形が難しいほど、分析の結果が正確でなくなることに注意する必要があります。関心のある領域に対応する臓器または細胞を選択することをお勧めします臓器のリスト、または隣接する臓器やシステムの検査結果の比較分析を実行して、患者からより多くの情報を収集します。

**フラグメントを評価する:** スケーリングモードで臓器投影のマークされた領域をより徹底的に評価できるようにします。

**選択を削除します:** 割り当て領域を削除します。

**テスト:** 参照データメニューに入ります。

**スペクトル:** より大きなサイズの信号の曲線を表示します。

## NLS diagnostic and therapy

**テキスト:** オルガンの写真に緑色の十字架を表示します。カーソルで十字のいずれかを選択すると、ポップアップメニューに、指定された緑色の十字を指定する臓器の名前の形式のヘルプ情報が表示されます。(Fig.29)

**すべてのテキスト:** すべてのヘルプ情報を表示します(Fig.30).

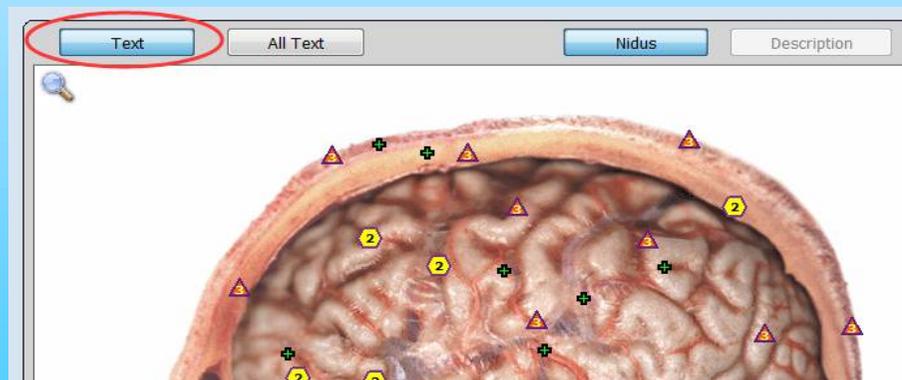


Fig.29.

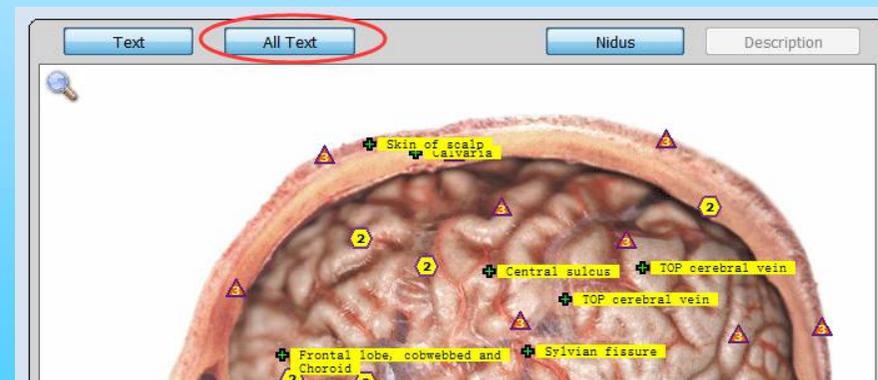


Fig.30.

## NLS diagnostic and therapy

**説明:** 写真に示されている生物学的オブジェクトの説明を与えることができます。

**ニダス:** 医師が指定した特定の臓器の位置を表示/非表示にすることができます。マウスの左ボタンをクリックして、それらを表示/非表示にすることもできます。

アイコンをクリックすると  画面の左上隅にある拡大鏡では、マウスをクリックするだけで選択した画像を拡大することができます。クリックすると  画像を初期サイズに戻します。

# NLS diagnostic and therapy

## メタセラピーによる治療

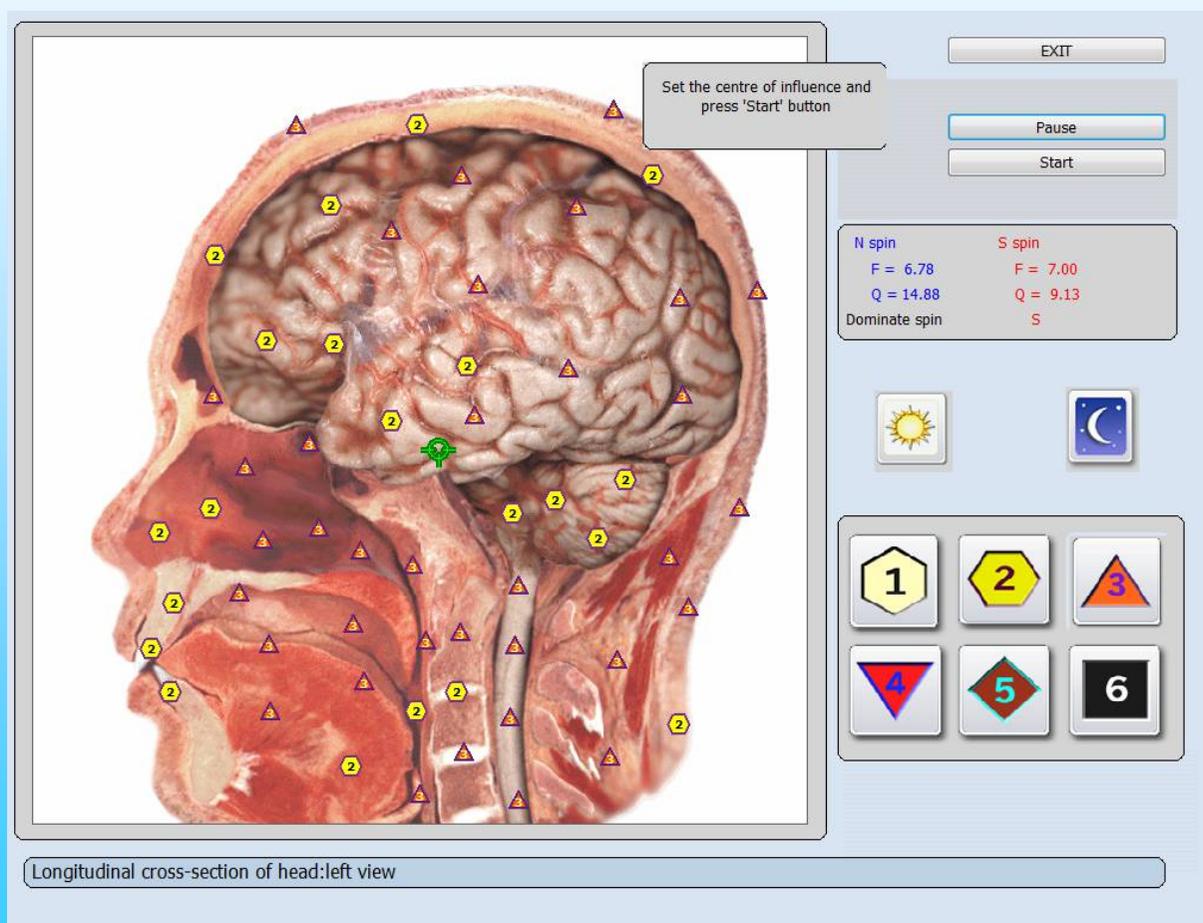


Fig.31.

# NLS diagnostic and therapy

**Einstein** 言: 「人生のすべては振です。」

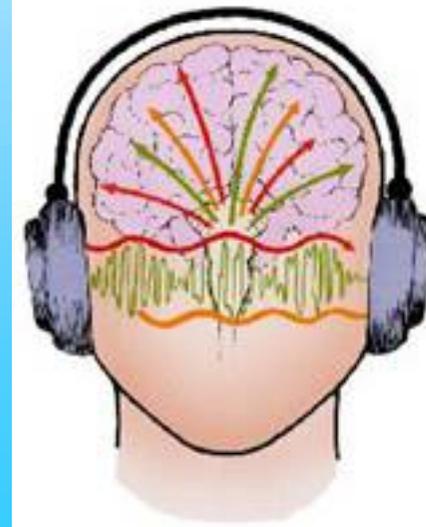
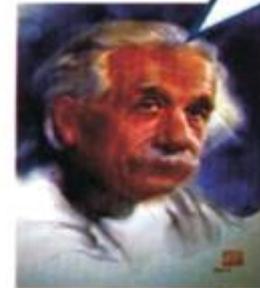
天と地の間には、大学や物理学では説明できないことがたくさんありますが、確かに存在します。

バイオレゾナンスフィードバック療法 (**META-療法**) は、量子物理学に基づくフロンティアテクノロジーです。バイオレゾナンスは、共鳴する、または調和し、同期し、バランスをとるという言葉から来ています。ストレスはエネルギーの流れを遮断し、それが病気を引き起こし、病気。

**META-セラピー**はこれらのブロックを取り除くのを助け、体がそれ自身を癒すことを可能にします。

**META-治療**は非侵襲的で痛みがなく、免疫力を強化しますシステム。妊娠中の女性や子供にとっても安全です。

爱因斯坦曾说，  
生命一切皆震荡！  
(Everything in  
life is vibration.)



# NLS diagnostic and therapy

## 生体共鳴療法のしくみ

生体共鳴療法ISHA 8DVAは、頭の表面に磁気インダクタを戦略的に配置することを使用します。電磁信号は、身体の自然なエネルギーの流れの妨害を取り除くために、ヘッドホンを通じて送信されます。いくつかのセッションが必要です。最初の数回のセッションは、患者の病気に関連する閉塞の程度の診断を作成するために使用されるため、複数のセッションが使用されます。電極が治療を行うときに、コンピューターの接続部がデータを記録します。

何世紀にもわたって、鍼治療、ホメオパシー、植物による治療などの証明された自然治療法は、この原理を使用して大きな成功を収めてきました。**META**療法はこの基盤の上に構築されていますが、最新のコンピューター技術と電子機器を利用したまったく新しい統合です。これにより、患者に合わせて特別に調整され、治療に最も効果的な適切な周波数を常に見つけることができます。治療システムは、この情報をコンピューターから身体に正確に送信します。決定された量と自己治療と毒素の除去を活性化します。

# NLS diagnostic and therapy

ISHA 8DVAの**META療法**の主な機能は、アクティビティが自動的に調整されることです。生理学的変動を個別に強化したり、デバイスがすべてを自動的に実行できるように病状を反転させたりする必要はありません。必要なのは、「**開始**」をクリックし、必要なセクションを選択するだけで、治療が実行されます。

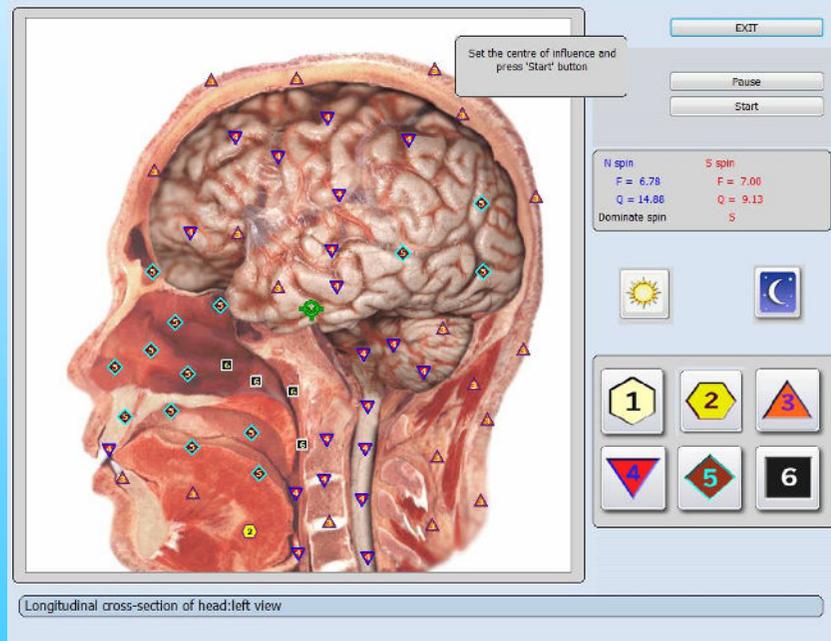


Fig.32.

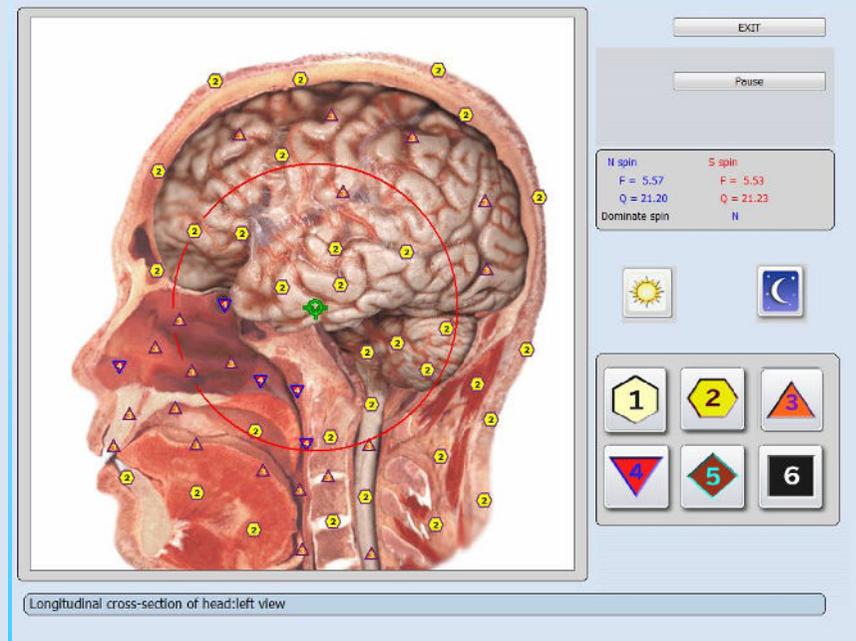


Fig.33.

## NLS diagnostic and therapy

セラピーセッションは**2つのステップ**で構成されています：

**A:** コンピュータシステム **ISHA 8DVA** を利用する診断セラピストは、あなたの体の問題、ストレスの原因、そしてあなたのエネルギーシステムの閉塞を決定します。

**B:** 治療のために、あなたはあなたの癒しのための正確な量の頻度情報を受け取ります。

体内のすべての生物学的プロセスは、子午線と中枢神経系のより高いエネルギーによって支配されています。私たちの現代の生活様式のために、これらのプロセスは、内적および外的ストレス、過度の需要、不自然な食品、電気スモッグ、環境毒素、および地質学的ストレスの両方のためにひどく乱される可能性があります。体は慢性的な永続的なストレスに反応します。このストレスは、免疫システムの機能不全を引き起こす可能性があります。結果：さまざまな症状、倦怠感、アレルギー、慢性疾患の全範囲。

このような状況では、個々の症状を治療することは無意味です。永続的な治癒は、ストレスの軽減と、経絡と中枢神経系を意味する調節システムの再活性化を伴う、体の完全な解毒によってのみ可能です。この時点で、**META**療法は非常に効果的です。

## NLS diagnostic and therapy

**META療法**は、体が発見された問題、毒素、アレルギーにうまく対処し、これらを排除するのに役立ちます。さらに、器質的障害のより高い原因因子である慢性ストレスと中枢神経系の反応障害は、治療によって中和されます。どちらも免疫系の活性化と自己治癒にとって重要な要素であり、非常に古い臓器疾患の治癒を可能にします。

治療コースは**1日おきに1回のセッション**が必要です。完全に**10セッション**が必要です。**1回のセッションで5～6臓器以下のメタセラピー**を行うことをお勧めします。

セラピーセッションは約**5～20分**続きます。治療を繰り返す必要がある期間は、病気の性質によって異なります。通常、**3～10セッション**が必要です。

予防ケアでは、**1日おきに1回のセッション**を行うことをお勧めします。合計で**10回のセッション**が必要です。

もう一度メタセラピーを作りたい場合は、**1ヶ月間リラックス**することをお勧めします。病気を治療するときは、**1日1回、5～6個の臓器を1回治療し、2～3週間リラックス**することをお勧めします。その後、もう一度治療することができます。

## NLS diagnostic and therapy

治療に加えて、施術者は多くの場合、微量元素、ホメオパシー療法、ハーブティーまたは他のサプリメントを処方します。これらは、有効性について個別にテストされ、治療の最適な延長を形成します。

**ISHA 8DVA**ヘッドホンの2つの磁気ヘッド間の治療は快適でリラックスできます。それは体のエネルギーシステムを最適化し、免疫システムと自己治癒能力を高めまます。多くの場合、最初の治療セッションの後でも、患者はより活力があり、より活発で、より多くのエネルギーを持っていると感じます。ストレスや日常生活の外的要求に耐える能力が向上します。多くの場合、最初のセッションの後でも痛みや症状は軽減します。

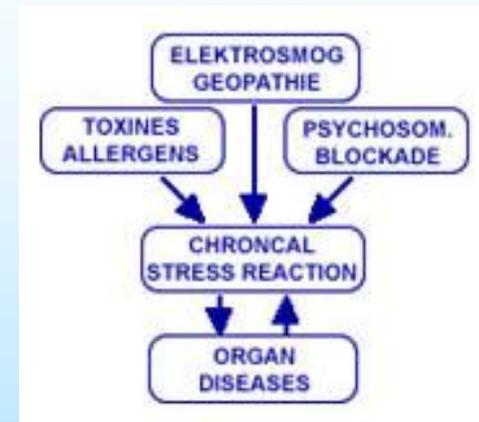
その効果にもかかわらず、**META**療法は非常に穏やかな治療法です。適用される電磁界は、人工電磁界の通常曝露と比較して比較的弱いです。副作用やリスクは不明ですので、**META**療法は子供にも最適です。

# NLS diagnostic and therapy

## ストレスの原因

身体の問題やストレスの次の原因はISHA 8DVAで特定でき、することができます。

**臓器:** 慢性感染症、変性または代謝障害はありますか？ 自己免疫不全？ 腫瘍のリスク？



**組織、骨格、筋肉、血液:** 環境毒素または代謝毒素は保存されていますか？ これらに対する個々の反応は何ですか？ 急性または慢性の感染症はありますか？ ストレス？

**中枢神経系:** 感情的な問題や外部からの過度の要求により、どのストレス反応が見られますか？ これらの結果としてどのデトックス反応がブロックされますか？ それは体にどのような影響を及ぼしますか？

**毒素+アレルギー:** 重金属（鉛、カドミウムなど）によるストレスはありますか？ 環境毒素または汚染物質（ホルムアルデヒド、溶剤、農薬など）によるストレス？ 食物アレルギー（牛乳、豚肉、小麦、酵母、添加物）はありますか？ その他のアレルギー：花粉、ペット、ほこり、真菌など。エレクトロスモッグまたはジオパシーストレス？

# NLS diagnostic and therapy

## 情報による癒し

鍼治療の経絡と、これらの経絡、神経、臓器、体組織から情報とエネルギーを受け取る体のすべてのシステムは、適切な情報信号によってプラスの影響を受ける可能性があります。そのような信号は、例えば、物質、微量ミネラル、ハーブ、またはホメオパシー療法からの周波数信号です。

バイオレゾナンス療法は、エネルギーの不均衡を評価して正常化することにより、病気や健康状態の悪化の隠れた原因に対処する痛みのない療法です。生きているか不活性かを問わず、すべての物質は人体を含む特定の電磁周波数で共振します。感染症、化学物質、重金属などの体内の有毒物質は、体の正常なパターンを変化させ、体は新しい周波数に適応し始め、病気やその他の障害を引き起こします。バイオレゾナンスを使用してエネルギーパターンを修正および修正することで、体は自然な健康状態に戻り、依存症、アレルギー、痛みから解放されます。

これは、生体共鳴が体自身の調節と解毒を強化するためです。栄養素が細胞レベルで供給されることを可能にするために、体は蓄積された老廃物を解毒する必要があります。バイオレゾナンスとともに健康的な食事が必要であり、セラピストは必要となる可能性のあるサプリメントと一緒にあなたに最適な食事を勧めます。

# NLS diagnostic and therapy

**ISHA 8DVA**療法は、情報の準備（後生動物）を介して、混乱した体内のバランスとそれに対応する電磁放射を修正することを目的としています。

**ISHA 8DVA**メタゾードは、現在の健康状態と共鳴することがわかっている周波数の特定の組み合わせで（病理学的波形は180°反転しています）。それらは、**ISHA 8DVA**自体を介してクライアントが受け取るか、治療の過程で経口送達するためにマトリックス（水、アルコール、砂糖、パラフィン）に転送することができます。この方法は、治療が**NES-Pro**治療プロトコルで使用されているものと類似しており、このタイプの製剤の幅広い影響と、従来の治療法が同時に処方された場合の有害な副作用や禁忌がないことを説明します。

ロシアで開発された**NLS**分析と**META**療法は、慢性疾患、痛み、一般的な病気の効果的な全体論的分析と治療のための最新の方法です。

エネルギー医学で初めて、**META**療法は臓器を治療するだけでなく、自律神経系と中枢神経系のエネルギーブロックも体系的かつ日常的に治療します。

体の自己調節が決定的に活性化され、体が自分自身を癒す能力を高めます。症状や個々の臓器ではなく、病気の原因が治療されます。

「**META**療法」という言葉は、その発明者であるロシアの医師、グリッグ・ブトフ博士によって最初に使用されました。それは、人全体を治療するという治療目標を表しています。

**META**療法は、エネルギー医学の新しい診断および治療装置であるデバイス「**ISHA 8DVA**」と連携します。これは、従来の補完医療システムと最新の研究結果を1つの統合でリンクします。**META**療法を使用すると、生物学的刺激は投薬なしで維持できます。

**META**療法は医療機器ですが、それだけでは深刻な病気を治すことはできません。投薬の削減または中止は、治療の結果によって異なります。治療の結果については、かかりつけの医師と話し合う必要があります。

## NLS diagnostic and therapy

メタセラピーボタンをクリックすると、臓器の生体共鳴療法を実行できるモードに入ります。必要な部分の緑色の円にマウスマウスカーソルを置いた特定の臓器の画像に対する影響の中心を選択します。



「プロテクター」です。（システムのデフォルト）



「デストラクタ」です。（使用をお勧めしません）

「プロテクター」ボタンと「デストラクタ」ボタンは、効果のキャラクターを変更するために使用されます。

健康な組織の「プロテクター」モードの波動機能が増加し、組織の代償反応が活性化されます。

病的因子の「デストラクタ」モードの波動関数が抑制され、適応反応レベルが低下します。

# NLS diagnostic and therapy

**ISHA 8DVAのMETAセラピーは、以下の分野で優れた結果を達成しています。**

- 1.慢性-あらゆる種類の変性疾患、自己免疫疾患、腫瘍の補助療法。
- 2.免疫力の低下、慢性感染症。
- 3.急性および慢性の痛みと炎症。
- 4.倦怠感、疲労感、睡眠障害、うつ病、片頭痛、心身症。
- 5.アレルギー、化学物質過敏症、電気過敏症、湿疹、神経皮膚炎、環境医学。
- 6.ホルモン障害、更年期障害、月経前症候群。
- 7.老年期の病気。
- 8.小児科：成長の問題、行動の困難。
- 9.脊椎の症状：背中の痛み、関節の痛み、緊張、関節炎。
- 10.怪我、骨折。
- 11.スポーツ医学、競技の準備。

**注意：**他のすべての医学療法と同様に、**META-療法**はすべての患者とすべての場合に常に成功するとは限りません。**META治療**で望ましい効果が得られない場合は、さらなる医学的診断と治療が必要になる可能性があります。

# NLS diagnostic and therapy

**比較解析**, (メタセラピーを行った後、この比較分析を行うことができます、それはあなたに異なることを示します)

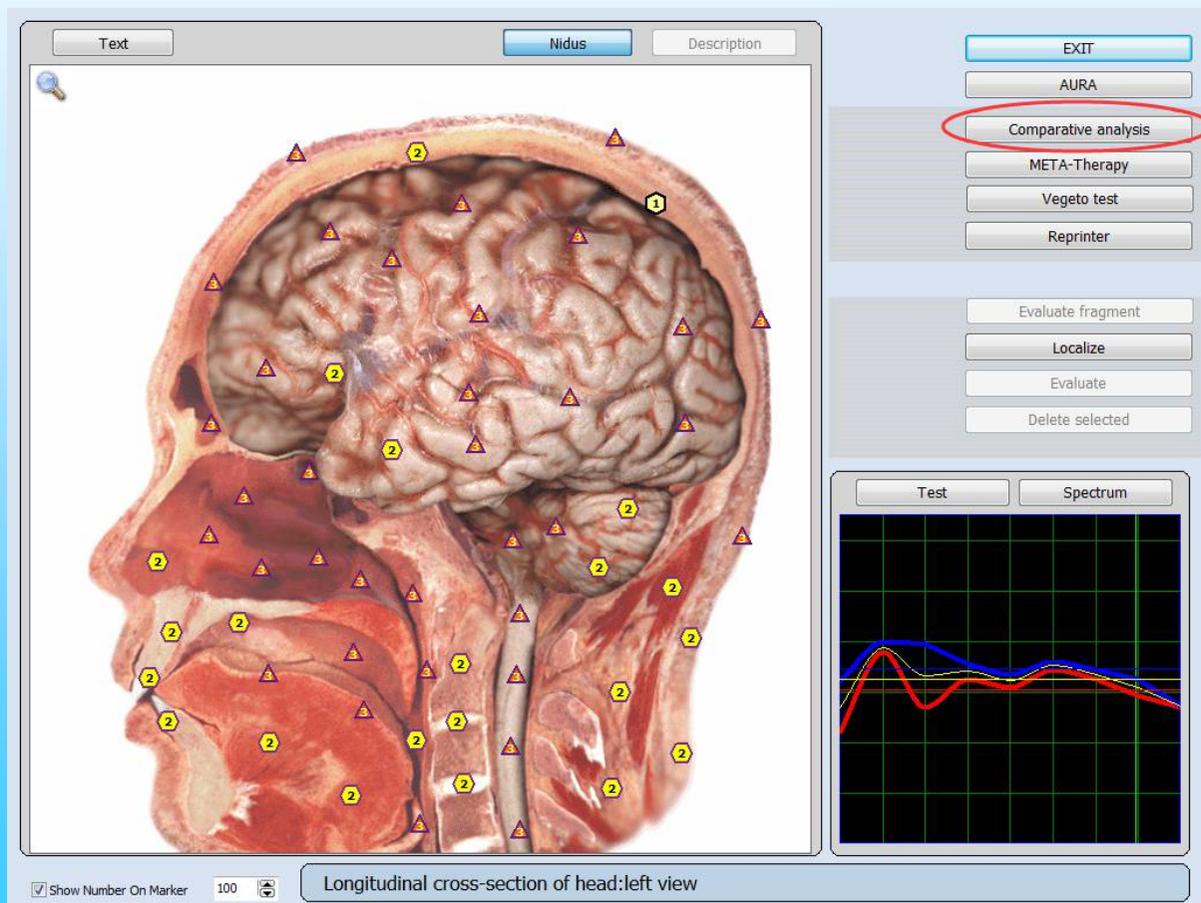


Fig.34.

# NLS diagnostic and therapy

調査した臓器の反対側にチェックマークを付けると、その画像が左側の下部ウィンドウに表示されます。次に、メタセラピーの後にマウスでこの臓器をクリックするだけで、右側のウィンドウに調査後に同じ臓器が表示されます。(Fig.35)

(詳細については、次の章で見つけることができます:現在の分析-比較分析)。

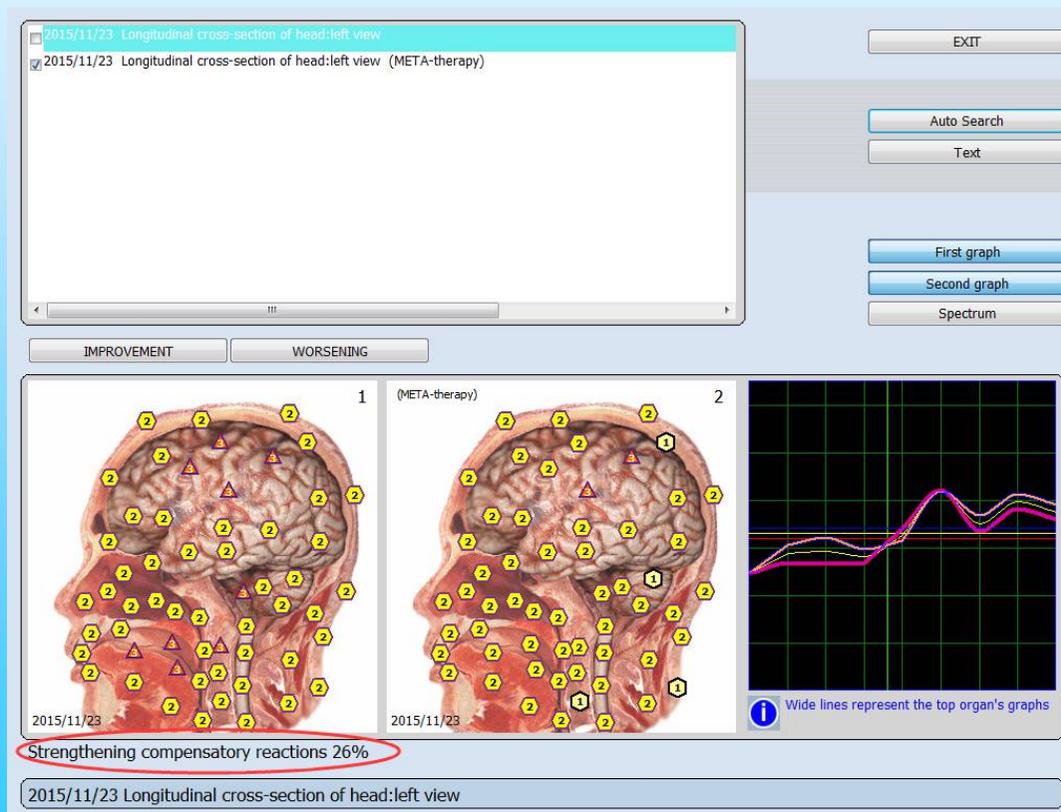


Fig.35.

## NLS diagnostic and therapy

比較分析 (Fig.35) により、臓器への影響の結果を推定することができます。画面の上部には、実行されたすべての研究のリストがあります。比較したい研究をダニで選択してください。左の写真に表示されます。次に、同じ臓器の別の研究を選択します。画面の中央には、2番目の研究での臓器の代償反応の増加または減少についての碑文があります。

特定のウィンドウでの調査の並べ替えは、カードファイルのウィンドウでの調査の並べ替えと同じです。カードファイルに戻って、研究を日付またはアルファベット順に並べ替えてから、指定されたウィンドウに戻ることができます「自動検索」では、選択した同じ臓器の研究結果を目盛りで自動検索できます。中央には比較分析の結果が表示されます。

(比較分析を行うたびに、自動検索をクリックする必要があります。異なる表示が表示されます)

# NLS diagnostic and therapy

「自動検索」(Fig.36)をクリックすると、画面の下部に、プログラムは、特定のエタロンの影響後の臓器の代償反応の増加(特定の場合は**26%**)または減少を示します。その上に。

このページを閉じて標準のページに戻るには、[終了]をクリックし、開いたページでグラフの左側にある[テスト]キーをクリックする必要があります。

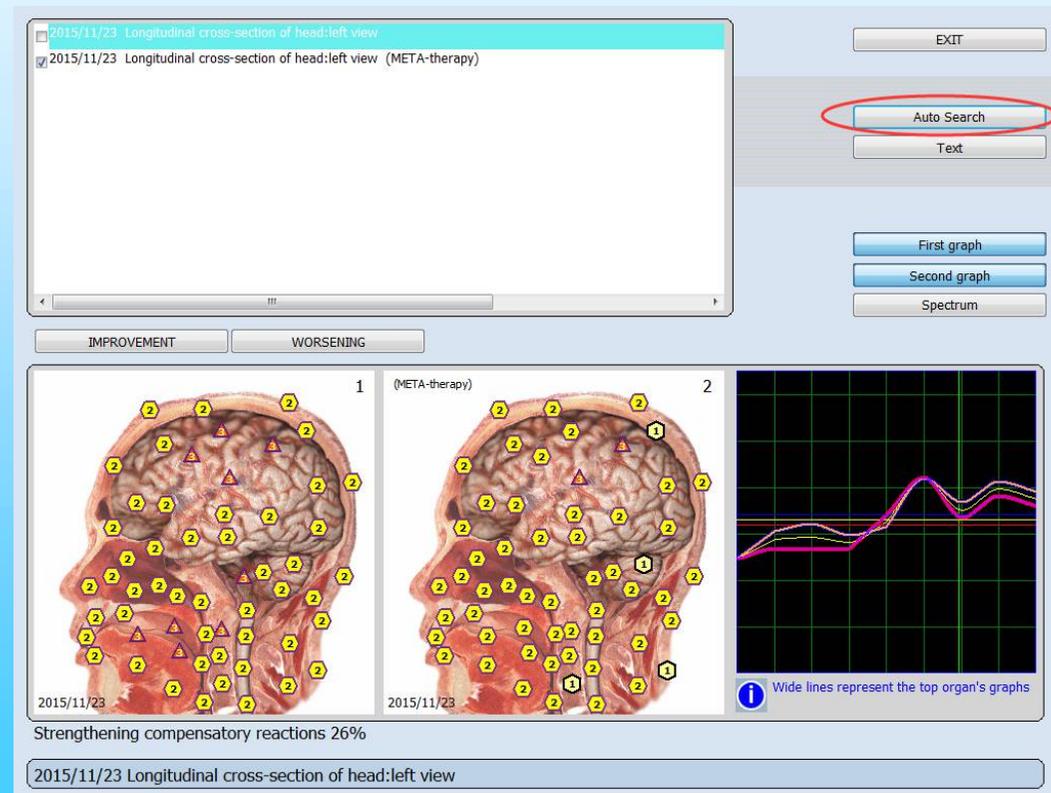


Fig.36.

## NLS diagnostic and therapy

**例：**代償反応を9%に強化。これは、最初のケースと比較して、2番目のケースの全体的な改善を意味します。写真の右側にある「改善」と「悪化」を押すと、その影響を詳細に見ることができます。

「改善」をクリックすると、標準に非常に近いパラメータを持つポイントが臓器の写真上で点滅し始めます。

「悪化」を押した後、標準から大幅に逸脱しているポイントが点滅します。

したがって、この薬の影響は、これらの部分の臓器の代償反応を弱めています。弱体化を補う他の基準を選択するために、追加の検査を実施する必要があります。

（抜本的な抗菌薬は消化器系や免疫系を弱めることを知っています。したがって、代償薬、プロバイオティクス、プレバイオティクスと一緒に処方されます）。

また、プロセスの曲線の助けを借りて、影響の結果を比較することも可能です。

**テスト：**臓器の部分の対応する説明とともに、臓器の写真に緑色の十字を表示します。画面の下部に、選択した臓器の名前が表示されます。

**終了：**比較分析メニューを使用して作業を終了します。

# NLS diagnostic and therapy

## ベジットテスト (外部)

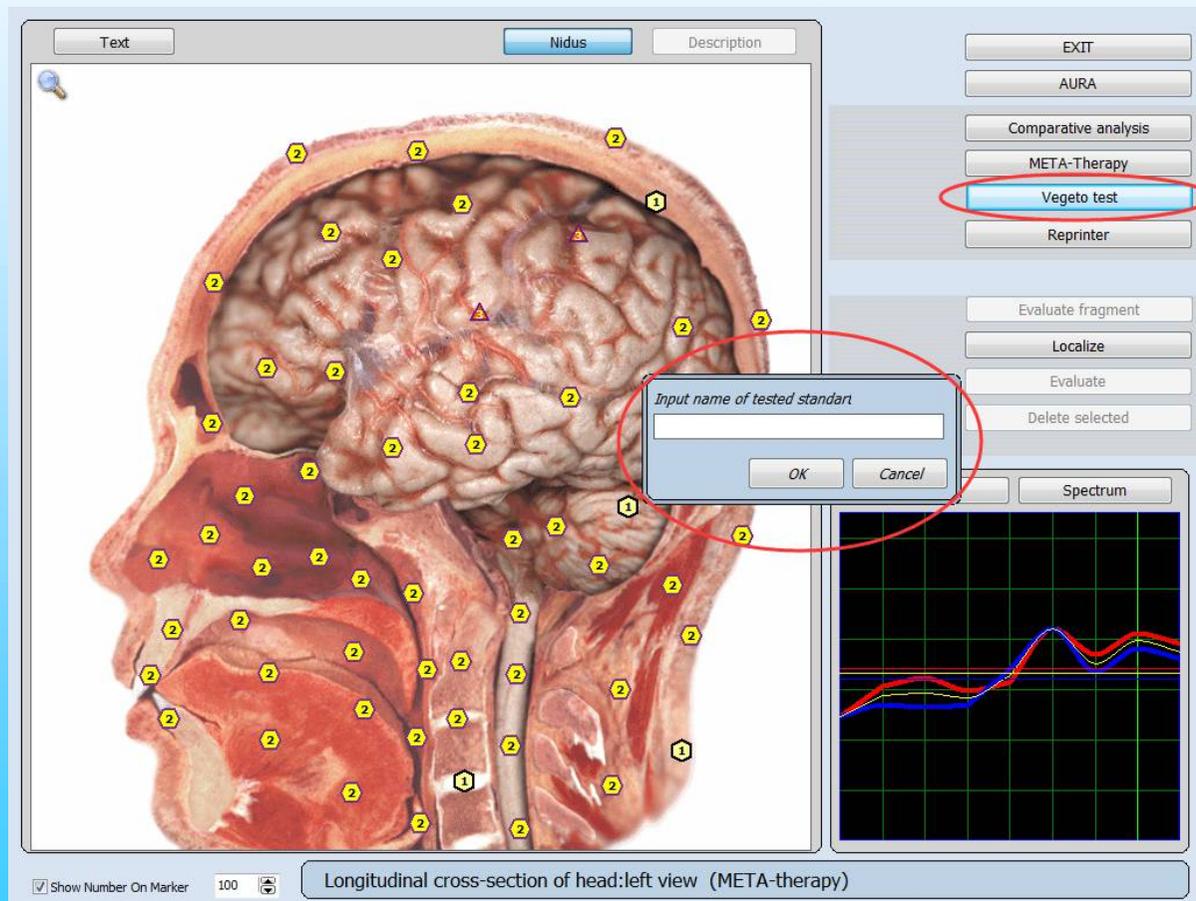


Fig.37.

## NLS diagnostic and therapy

与えられたボタンは、マトリックスに含まれていなかった標準の効率をチェックするために共鳴チャンバーを使用して外部ベジットテストを実行することを可能にします。デバイスデータベースにはかなりの量のエタロンが含まれており、デバイスはそれらのアプリケーションの結果と起こりうる悪影響をシミュレートできます。プログラムのカタログにない薬の効率をチェックするには、それを共鳴チャンバーに入れ、「ベジットテスト」をクリックします。次に、開いているウィンドウの入力行にエタロンの名前を入力するように提案されます。次に、「OK」をクリックすると、テストが自動的に開始されます。メニューを終了したい場合は「キャンセル」をクリックしてください(Fig.37).

さらに、比較分析を使用して、この臓器に対する特定の薬の効率を評価します。研究中の臓器の仮想モデルをエタロン使用後の臓器の仮想モデルと比較し、生物の強化/弱化補償反応を評価します。

プログラムのカタログからエタロンをテストする場合は、最初に「テスト」ウィンドウに入り、次にこのウィンドウで「ベジットテスト」を選択します。

## NLS diagnostic and therapy

ISHA 8DVAの最も一般的な使用法の1つは、「ベジットテスト」です。栄養共鳴の制御は、さまざまな薬が人体に影響を与える可能性がある方法についての理解できるアイデアとニュースをもたらします。私たちは、物質界が人体と同じように周波数を持っていることを知っています。これらの周波数には情報が含まれており、この情報はISHA 8DVAで読み取ることができます。

薬の頻度は、人と調和するかどうかに関係なくなります。この考えは、共鳴の原理に変換されます。投薬の頻度が私たちの頻度に近いほど、それはより効率的です。そのため、共鳴の原理に従って、栄養添加物、ホメオパシー処方、対症療法薬、ビタミン、植物（植物アロマ）を選択することが重要です。

ISHA 8DVAのベジットコントロールを使用して、人の問題のある臓器への薬剤の調整を確認できます。続行するには2つの方法があります。与えられたデータベースで見つかった既存の薬を比較するか、患者がすでに使用している薬の関連性を検証することによって。

## NLS diagnostic and therapy

最初のケースでは、スペクトルの類似性が低い薬剤を選択する必要があります。低いほど良いです（f.inst.0540または0350）。「ベジットテスト」ボタンをクリックして、選択した薬で臓器を治療します。次に、「比較分析」機能の助けを借りて、臓器の変化と、患者がこの薬を服用すべきかどうかを確認することができます。臓器は改善または退化するでしょう。したがって、すでに使用されている薬、またはISHA 8DVAによって提案された最も効率的な新しい薬を選択するだけです。

2番目のケースでは、患者がすでに使用している薬を確認します。この場合、この薬の共鳴の周波数をテストするために、容器とレーザーを使用する必要があります。「ベジットテスト」ボタンをクリックして、テストする医薬品の名前を記入します。次に、問題の臓器を一掃します。効果は、データベース内の医薬品と同じ方法で分析できます。

多くのセラピストは、ISHA 8DVAテクノロジーを独占的に使用して、クライアントにとって理想的な薬を決定し、その効果を評価しています。

# NLS diagnostic and therapy

「テスト」をクリックします。

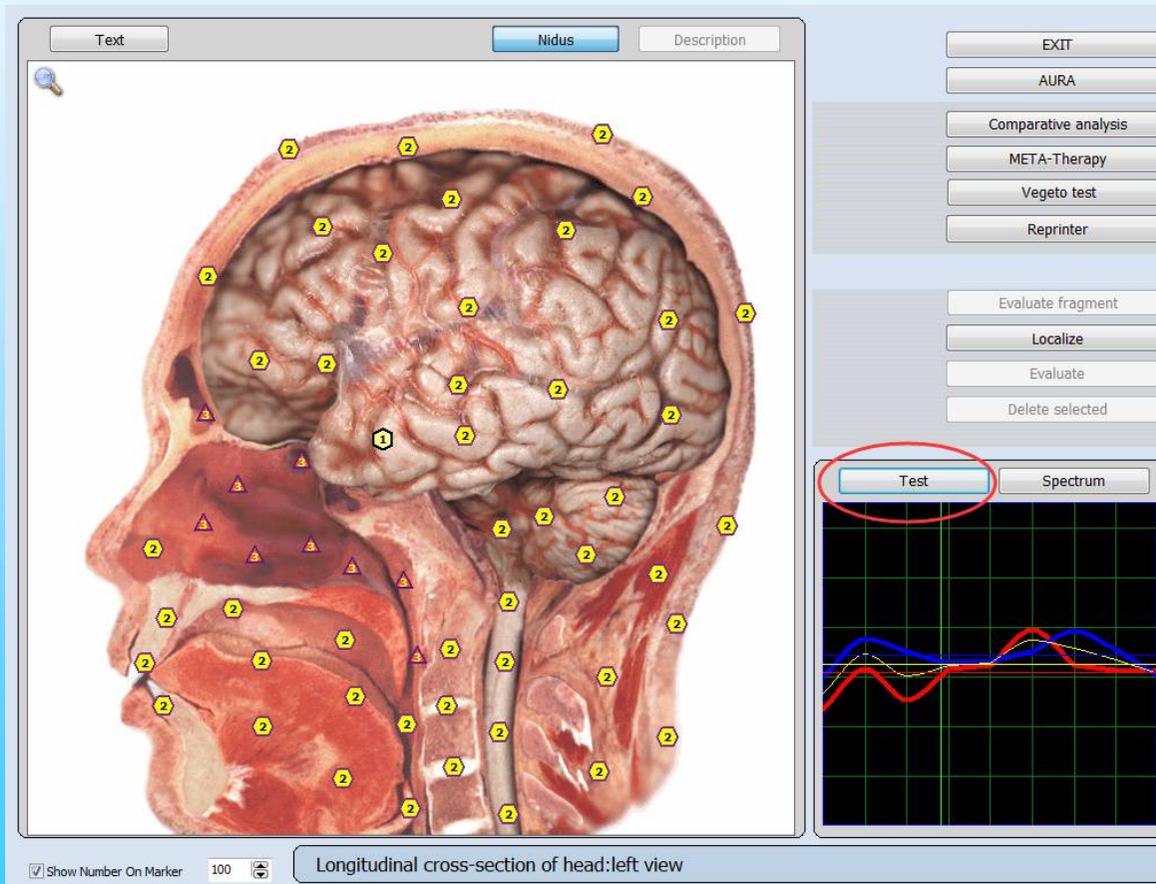


Fig.38.

## NLS diagnostic and therapy

プロセスのグラフの左側にある[テスト]ボタンから始めましょう。標準のウィンドウが表示されます（**Fig.39**）。左側には、目次である標準のグループが表示されます。このグループの中央のウィンドウのエタロン。

各エタロンの反対側には、調査対象の臓器のスペクトルとエタロンの類似性に対応する図があります。図が小さいほど、曲線は近くなります。図が**0.425**未満の場合、類似性は十分に大きく、これらのエタロンは赤色でマークされます。図が**0.425～0.750**の間隔にある場合、エタロンとの類似性は必須ではありません。数値が**0.750**を超える場合、エタロンとの類似性は識別されません。

この数字はまた、この時間と次回の間で発生する病気の時間を意味します（値が大きいほど、その可能性は低くなります）一般的に言えば、**0.425**は病気が発生する基本的なパラメータです。病気が発生していることを示す**0.425**未満。

たとえば、**5～7**年生のエントロピー分析によると、その数は**0.425**未満であり、この病気が現在発生しています。

# NLS diagnostic and therapy

このページに表示されます（エタロンリスト）

Clear Topic

- A # Nutraceuticals and parapharmaceuticals
- B # Organic preparations
- C # Biochemical homeostasis
- D # Pathomorphology and nosological
- E # Microorganisms and helminths
- F # Allopathy
- G # Homeopathy
- H # Phytotherapy
- I # Lithotherapy
- J # Food

Spectrum  
Object  
Etalon  
Model  
Invert  
Optimum

EXIT  
Reprinter  
Vegeto-test

Auto scan  
Etalon description  
Etalon-Object  
Entropy analysis  
NLS-Analysis  
To print  
View report  
Adjustment  
Adjust all  
Auto model  
Absolute model

Etalon list according to decreasing spectral similarity

Fix	Sort	Select	Show all	Smart filter
0	0.000			
0	3.527			
X 0				

Search  
Cross section of abdomen at the level of 1st lumbar vertebra

Fig.39.

# NLS diagnostic and therapy

次の制御要素があります:

**クリア:** エタロンのリストの上にあるものは、エタロンのすべてのグループに対して同時に分散分析の機会を遮断します。

**トピック:** ショーまたはエタロンの非表示グループを設定します。

**修正:** リストの上部にある次の3行を修正できます。

生物学的オブジェクト名。

最適な分布。

仮想モデル。

**並べ替え:** すべてのエタロンをアルファベット順に自動的に並べ替えます。

**選択:** エタロンのさまざまなメーカーの名前の類似性によってすべてのエタロンを自動的に並べ替えます。エタロンのリストの下の左下隅にある検索行では、名前に最初の文字をいくつか挿入することで、必要なエタロンをすばやく見つけることができます。

このウィンドウの他のボタンを表示するために、例として漢方薬（植物療法）を取り上げましょう。

**スマートフィルター:** 名前の最後の単語で互いに類似したエタロンのグループを選択できます。

## NLS diagnostic and therapy

**スペクトル:** このボタンを押すと、拡大されたグラフが表示されます。

**オブジェクト:** ライラックとオレンジ色のグラフ線。調査の過程でプロットされた、検査された生物学的オブジェクト、臓器、または組織のグラフを表示します。

**エタロン:** 赤と青の細いグラフ線は、選択した参照プロセスのグラフを表します。

**モデル:** 赤と青の太いグラフ線。仮想モデルのグラフを表示します。

**反転:** グラフの極性を反転できるようにします。

**最適:** 黄色のグラフは、標準周波数での信号の正規（ガウス）分布を示しています。

# NLS diagnostic and therapy

**自動スキャン:** エントロピー分析と生化学的分析を自動的に実行できます。このキーをもう一度クリックすると、分析が停止します。（通常、このボタンの使用はお勧めしません）

**エタロン-オブジェクト:** どのエタロンがあなたが興味を持っているエタロンと関連しているかを推定すること。

**エントロピー分析:** 2つの要因を示します。これは、健康な組織内で発生する病理学的プロセスの数学的モデルを示しています。（後で紹介します。）

**NLS分析:** 病理学的プロセス（システムの生化学的恒常性）の多因子エントロピー分析を実行します。（後で紹介します。）

**印刷するには:** 調査中のオブジェクトとスペクトルの類似性が高いエタロンを印刷して示します。これにより、強調表示されたアイテムが印刷ページのメモリに送信されます。

**レポートの表示:** 印刷する前にレポートページを表示します。

**調整:** たとえ寛解していても、病理学的プロセスの仮想的な活性化は私たちにとって興味深いかもしれません。このボタンを押すと、選択した参照プロセスが調査中のオブジェクトのスペクトル特性に合わせて調整され、4行目にアクティブ化フェーズのプロセスが表示されます。

**すべて調整:** クリックすると、調整で参照されている標準ディレクトリに保存されているすべての参照プロセスが調整されます。これは、現在の病状の表示と解釈（エントロピー分析）の前に行う必要のあるボタンです。

**絶対モデル:** 関心のある領域を特定する簡単な方法

# NLS diagnostic and therapy

## エタロンテスト

The software interface is divided into several sections:

- Topic Selection:** A list of topics with checkboxes, including Nutraceuticals and parapharmaceuticals, Organic preparations, Biochemical homeostasis, Pathomorphology and nosological, Microorganisms and helminths, Allopathy, Homeopathy, Phytotherapy, Lithotherapy, and Food.
- Spectral Graph:** A line graph with a grid. The x-axis is labeled with values: 1.8, 2.6, 3.4, 4.2, 4.9, 5.8, 6.6, 7.4, 8.2. The y-axis is labeled with values: 1, 2, 3, 4, 5, 6. Two lines are plotted: a purple line and an orange line.
- Table:** A table with columns for 'Fix', 'Sort', 'Select', 'Show all', and 'Smart filter'. The table contains three rows of data:

Fix	Sort	Select	Show all	Smart filter
0	0.000			<b>Cross section of abdomen at the level of 1st lumbar vertebra</b>
0	3.527			Optimum distribution
x  0				Virtual model
- Search:** A search bar containing the text "Cross section of abdomen at the level of 1st lumbar vertebra".
- Control Buttons:** A vertical column of buttons on the right side, including EXIT, Reprinter, Vegeto-test, Auto scan, Etalon description, Etalon-Object, Entropy analysis, NLS-Analysis, To print, View report, Adjustment, Adjust all, Auto model, and Absolute model.

Fig.40.

# NLS diagnostic and therapy

すべての器官とすべての細胞には、独自の独特の振動があります。振動はコンピュータのメモリに保存され、臓器や組織と環境との間の情報交換の状態を表すグラフとして画面に表示できます。すべての病理学には、独自の特徴的なグラフがあります。コンピュータのメモリには、証拠の割合、年齢、性別、その他の変動を考慮した非常に多くの病理学的プロセスも保存されています。周波数特性が組織から読み取られた後、装置はスペクトルの類似性を保存されたプロセス（健康な組織、病理組織、感染因子）と比較し、次にその外観に最も近い病理プロセスまたは傾向を選択します。

この分析方法により、画面にグラフで表示される赤（S）入力信号の状態と青（N）出力信号の状態を追跡することができます。グラフの形状から、どの参照（エタロン）プロセスに最も近いと思われるかを判断し、患者に対してプロットされたグラフのスペクトルの類似性を確認することができます。

## 病理学の曲線

エントロピーの分析では、構造（青い曲線）と機能（赤い曲線）の両方について、さまざまな周波数（1、6から8、2 Hz）でのエントロピーの程度（1から7）を示す曲線があります。正常な状態では、2つの曲線は完全に互いに密接に追従します。2つの曲線の間の大きな不一致は、身体の通信システム内の病理学的プロセスを示しています。

## NLS diagnostic and therapy

以下の標準周波数帯域内の組織の固有振動数 (Fig.39.8):

- 1.8骨格系;
- 2.6粗い結合組織、関節、および心臓弁;
- 2.6-3.4疎性結合組織、横紋筋、および心筋;
- 3.4横紋筋組織。
- 4.2消化管のテッセレーションされた上皮;
- 4.9重層扁平上皮および円柱上皮。実質性肝臓組織および胆道の組織;
- 4.9-5.8腎臓組織の上皮および生殖器官;
- 5.8咽頭のリンパ系リング、呼吸管の上部、リンパ系、脾臓、卵巣、および前立腺;
- 6.6末梢神経系、気管支上皮、副腎、および甲状腺;
- 7.4、視神経を除く感覚分析器の中央部分、および脳の皮質下構造、小脳テント;小脳、大脳辺縁系および肺実質;
- 8.2網膜、視神経、大脳皮質。

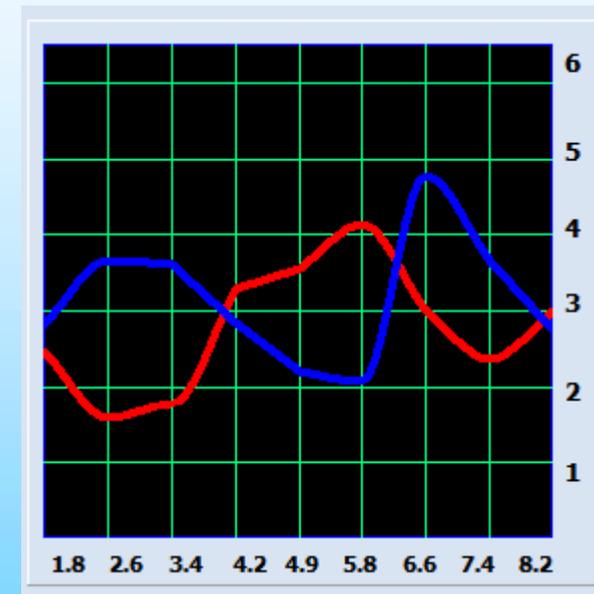


Fig.41.

## NLS diagnostic and therapy

「ISHA 8DVA」装置の作業の基礎は、システム内のノイズ率の測定です。私たちは、あらゆるシステム（臓器、組織、細胞など）をサイバネティックシステム（「ホワイトボックス」）と見なします。入力信号（赤、S）と出力信号（青、N）を比較することで、システムの状態とエントロピー増加のダイナミクス（エントロピーポテンシャル）を評価できます。

理想的なシステムでは、入力信号と出力信号は似ています。つまり、システムにノイズがないことを意味します。逆に、システムが制御信号に応答しない場合は、システムが機能していないと言えます。

実際には、中間値を使用して、プロセス開発の鋭さ、優先度、およびダイナミクスについて評価できます。より便利にするために、0 dBが0ポイントを意味し、260dBが6.6ポイントを意味するグラフ振幅スケールを使用します。約8.5～64 dBの自然ノイズ率、つまり1～3ポイント。（図39.2）-6.5ポイント以内のグラフ振幅を考慮します。境界を超える数は、システムが機能していないことを意味します。自己共振周波数は、グラフ分析において非常に重要です。組織化された組織が高いほど、最大周波数が高くなります。たとえば、骨の最大振幅は1.8 Hz、大脳皮質の最大振幅は8.2Hzです。SグラフとNグラフを別々に検討しないことに注意してください。その場合、彼らには意味がありません。解離の多い周波数と高い位置にあるグラフに焦点を当てて、それらを一緒に検討します。等値線は、分析プロセスを簡素化できます。それらの位置とポイント率を分析することで、プロセスの鋭敏さとダイナミクスを明らかにすることができ、それはさらなる治療に大いに役立ちます。

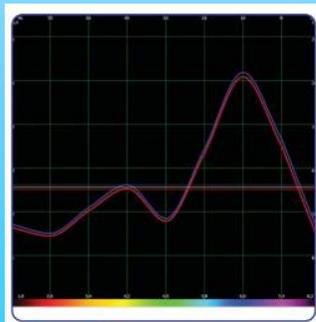


Fig.42.

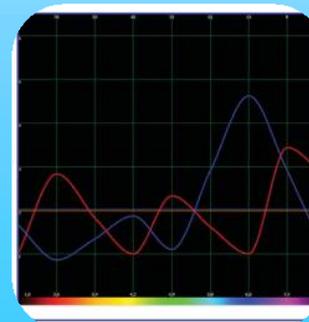


Fig.43.

## NLS diagnostic and therapy

「スペクトル」関数を使用すると、3つの等値線でプロセスのグラフを確認できます。黄色は両方のグラフの単純平均であり、青と赤は入力信号と出力信号の等値線です。

プロセスを分析するために、いくつかの要因を使用します。代償反応を推定するために、**N**と**S**の等値線間の間隔を分析します。間隔が**0.25**ポイント未満の場合、プロセスは補償されます。それ以外の場合、プロセスは補償解除されます。

最も生産的なのは補償されたプロセスです。それは調整可能であり、システムの自己予備力は支援なしで病理学的プロセスに抵抗することができ、同時に組織と生物の予備力は同期して機能します。非代償不全のプロセスには、同化作用と異化作用の**2**種類があります。

臨床経過の前向きな予後を特徴とし、エネルギーと情報の放出を伴う同化プロセス。その場合、青い等値線は赤い等値線よりも高くなります。非代償性同化プロセスは、生物の適応機能の低下と高過敏性組織反応を伴う迅速な急性プロセス（蜂窩織炎、膿瘍、および肺炎、多くの場合自己免疫アレルギー成分を伴う）を特徴づけます。病気の抑制は組織レベルで行われます。

単一組織の補償の準備金はすぐになくなり、プロセスコースは危機的なものになります。十分な予備力がある場合、プロセスは補償された段階になります。それ以外の場合は、異化プロセスになります。これは、臓器または組織による制御の喪失を意味します。

異化プロセスでは、赤い線が青い線よりも高く配置されました。このプロセスのコースは、情報とエネルギーの吸収を特徴としています。異化プロセスの初期段階では、それは発音されない可能性があり、慢性疾患を特徴付けると同時に、中間の等値線は**3.5**ポイント以上です。異化プロセスのさらなる開発に伴い、中間の等値線は**5.5**ポイントまで上昇し、グラフの電圧は低下しています（電圧はグラフのピークとその等値線の間隔を意味します）。

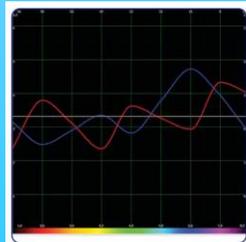


Fig.44.

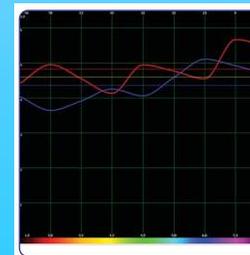


Fig.45.

## NLS diagnostic and therapy

組織は入力信号に反応できません-赤と青のアイソリン間の間隔が増加し、生物は組織の蓄えをサポートするために多くのエネルギーを費やし、同時に組織の反応が減少します。この種の発達は腫瘍に典型的です。非癌性腫瘍は等値線間隔が小さいことを特徴とし（1~1.5ポイント）、癌性腫瘍は間隔3.5~4ポイントの特徴とします。初期の腫瘍グラフでは、自己周波数にわずかな電圧があり、転移では、グラフは平坦です。プロセスの鋭さを定義するには、グラフの解離と平均等値線の位置を分析する必要があります。初期の急性過程では、有意な解離を1つの頻度で追跡でき、平均等値線は2.5ポイントを超えることはできません。二次急性プロセス平均等値線は3.5~4ポイント以上になり、複数の周波数でグラフが分離します。

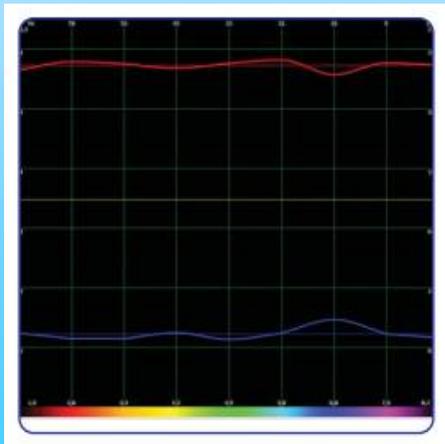


Fig.46.

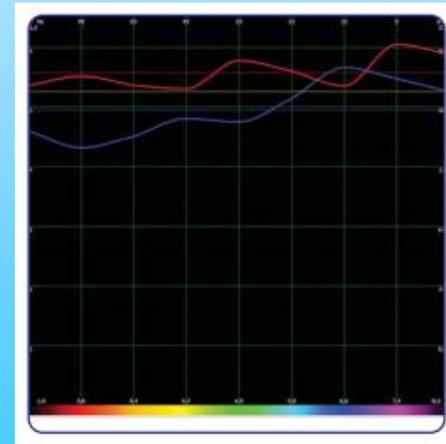


Fig.47.

# NLS diagnostic and therapy

「グループリスト」には、一般的なエタロングループのリストが含まれています。

## 栄養補助食品およびパラ医薬品

このグループでは、栄養補助食品を製造および供給する主要なロシアおよび外国の企業によって製造された生物活性サプリメント（**BAS**）の波動特性が記録されています。

## 有機製剤

健康な体組織のスペクトル特性のエタロン（標準）が含まれています。

エタロンリストは、調査中のオブジェクトとのスペクトル類似性の降順で並べられています。健康な組織には、同様の入力信号と出力信号があります（それぞれ赤と青のグラフ）。

臓器標本と調査対象物との類似性が高いほど、組織はより無傷になります。逆に、差が大きいほど、調査中の組織への損傷は大きくなります。

# NLS diagnostic and therapy

## 生化学的恒常性

このプログラムは、体組織の波動関数を評価することにより、主要な生化学的要因の定性的評価を実行します。この評価は、**NLS**分析モードを使用して実行されます。

正常範囲内の酵素（ホルモン）濃度の最低値は、グラフの**2**に対応することに注意してください。

一方、法線範囲内の最高値は**6**に対応します。**3**、**4**、または**5**に等しい因子の値は因子の「最頻値」に対応し、極値**1**および**7**は生理学的基準を超える生化学的因子を特徴づけます。それぞれ低いと高い。

コンピュータの結果を分析するときは、従来の臨床方法を使用して生化学的分析を行うための標準的な規則を使用する必要があります。

## 病理病理学および疾患

これは、破壊的なプロセスのエタロンのリストを示しています。

このセクションでは、生物の単一組織に特有の基本的な病理形態学的条件について説明します。すべての破壊プロセスには、特徴的なグラフがあります。

# NLS diagnostic and therapy

## 微生物と蠕虫

このセクションでは、細菌、ウイルス、マイコプラズマ、リケッチア、真菌、蠕虫などの感染因子の主な特徴が記録されています。これは、組織の固有振動数を表す周波数範囲内の解離の高いピークの形で変化を示します。

たとえば、猫肝吸虫は周波数が高く解離します-4.9Hz-実質性肝臓組織と胆汁排泄組織。これらの組織は、吸虫後部反転ネコ。の影響を大きく受けることが知られています。。

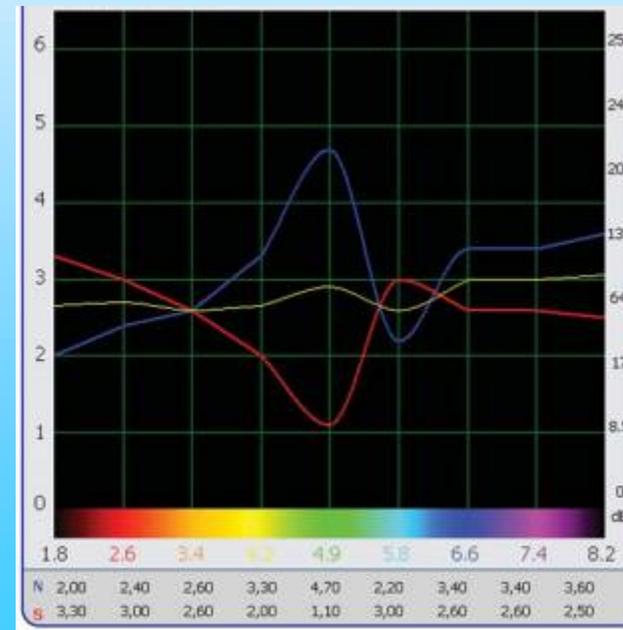


Fig.48.

# NLS diagnostic and therapy

## アロパシー

このグループでは、従来の医療で使用される主要な化学（合成）医薬品の波動特性。

## ホメオパシー

このグループでは、ホメオパシー製剤の波動特性が記録されます。

## フィトセラピー

このグループでは、中西部で育つ薬用植物の波の特徴  
ロシアが記録されています

# NLS diagnostic and therapy

メニュー「フィットセラピー」の左側にチェックを入れた場合。中央のウィンドウに、フィットセラピー用のエタロンが表示されます。

レッドゾーンに3つのエタロンが出現しました（それらのインデックス番号は0.425未満です）。

これは、臓器の波動関数と組み合わされたこのエタロンの波動関数が可能な限りこのエタロンに接近し、それが健康であることを意味します（Fig.49）

## ベジットテスト（内部）

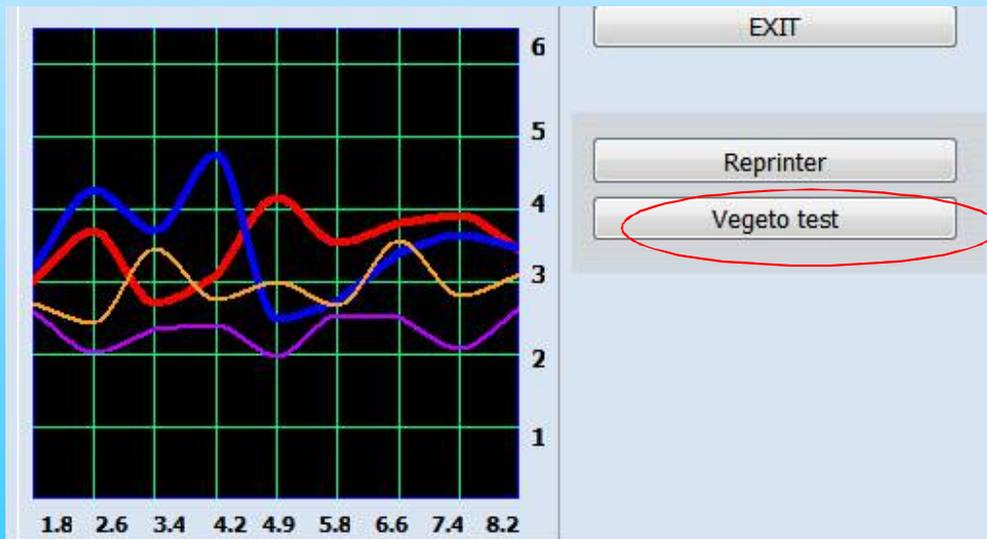


Fig.50.

0.349	PETROSELINUM SATIVUM HOFFM*
0.410	CALTHA PALUSTRIS*
0.411	ADONIS VERNALIS*

Fig.49.

このプログラムでは、選択したエタロンが臓器に与える影響のプロセスをシミュレートできます。この目的のために、エタロンを選択し、「ベジットテスト」を実行します（ヘッドフォンはクライアントの頭にある必要があります）。エタロンを選択し、右側にあるボタンベジットテスト（Fig.50）をクリックします。ベジット-テストは自動的に開始されます。

# NLS diagnostic and therapy

## 食物

このグループでは、グループ（肉、魚、乳製品、野菜、果物、油、飲み物、香辛料など）に分けられた食品の波動特性が記録されます。食事療法用食品は、使用が推奨されている治療作用により、赤色で強調表示されています。黒、ニュートラル、ピンクで強調表示された推奨されない食品。

## アレルギー

このグループでは、あらゆる種類の食品、家庭用、動物用、野菜用、および工業用アレルギーの波動特性が記録されます。

## LITHOTHERAPY

プログラムでは、宝石と鉱物のスペクトル特性が治療作用の説明とともに表されます。「写真」ボタンを押すと、鉱物の写真を見ることができます。プログラムは、永久的な所持または特定の病気の治療のためのスペクトル特性に応じて適切な、患者のためのミネラルを選択することができます。装置によって変調および放射される鉱物の特定のスペクトル特性を使用して、急性および慢性疾患を治療することができます。

# NLS diagnostic and therapy

## バツハ花

**S7 SAHASRARA**に対応する子午線: **VC +**  
**VG**対応する対応する子午線子午線: **VC + VG: V**

**S6 AJNA**に対応する子午線: **MC +**  
**TR**対応する対応する子午線子午線: **MC + TR: MC +**

**S5 VISUDDHA**に対応する子午線: **P + GI + Sk +**  
**sd**対応する対応する子午線子午線: **P**

**S4 ANAHATA**対応する経線: **C +**  
**IG**対応する対応する子午線子午線: **C + IG: C +**

**S3 MANIPURA**対応する経線: **F + VB + Fd +**  
対応する対応する子午線子午線: **F**

**S2 SVADHISTHANA**対応する子午線: **R + V + ALL + Ly**対応する対応  
する子午線子午線

**S1 MULADHARA**対応する子午線: **RP +**対応する対応する子午線  
子午線: **RP + E: RP**

# NLS diagnostic and therapy

## エントロピー分析。

「D # PATHOMORPHOLOGY AND NOSOLOGICAL」と「Entropy Analysis」をクリックします

The screenshot shows the NLS diagnostic and therapy software interface. The left panel displays a list of topics, with 'D # Pathomorphology and nosological' selected and circled in red. The center panel shows a spectral graph with a grid and a red line representing the spectrum. The right panel contains several buttons, with 'Entropy analysis' circled in red. Below the graph is a table of conditions.

Fix	Sort	Select	Show all	Smart filter
0	0.000			
0	4.924			
X	0			
0	0.075			
0	0.144			
0	0.239			
0	0.642			
0	0.892			
0	0.892			
0	1.006			
0	1.365			
0	1.378			
0	1.437			
0	1.522			
0	1.731			
0	1.744			
0	1.751			

Fig.51.

# NLS diagnostic and therapy

このページが表示されます。

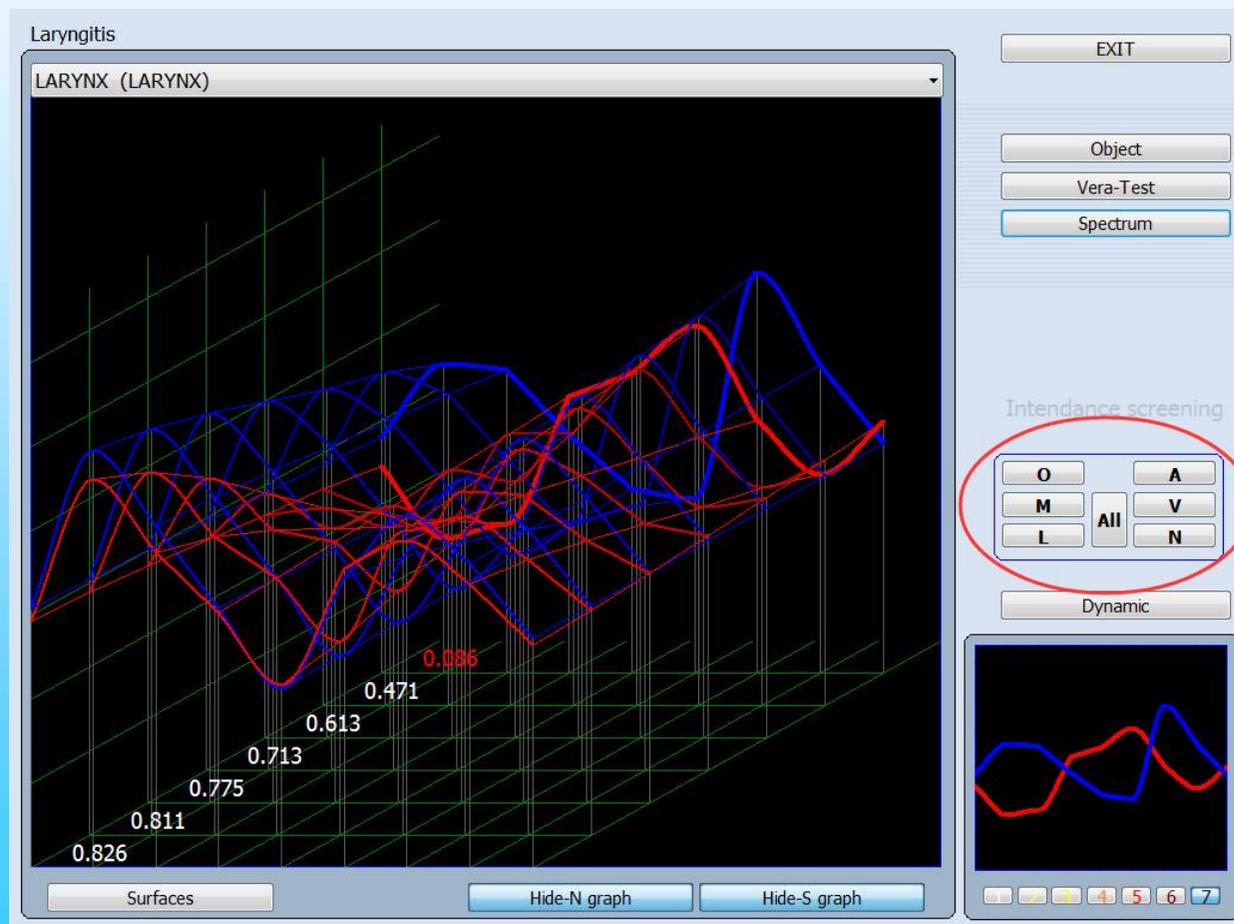


Fig.52.

## NLS diagnostic and therapy

エントロピー（2因子）分析により、健康な組織（有機準備）を初期（ゼロ）フェーズとして、臨床的に顕著な形態の病理学的プロセスを最終段階として、グラフの数学的計算を行う病理学的プロセスの数学的モードを構築できます。分析の過程で、中間状態または極端な状態のいずれかとの最高のスペクトル類似性が決定され、したがって、このプロセスの成熟度および前臨床病理の兆候が定義されます。

急性過程に対応するエントロピー因子の全範囲にわたるスペクトル類似性（分散）のわずかな違い。スペクトルに関して最も類似したグラフはグラフの太い線でマークされ、デジタル値の赤は赤でマークされます。この場合は**0.536**です。「**N (S)** グラフを隠す」ボタンが2つあり、対応するグラフを非表示にします（Fig.52）。

「**表面**」ボタンを押して「表面」モードでグラフを表示することもできます。「**線**」モードに戻るには、このボタンを離す必要があります。

## NLS diagnostic and therapy

人間の脳、意識、生理学的現象の物理的分析、つまり6つのシステムの体内の病気によるさまざまな程度の損傷の関係の「エントロピー分析」:

筋肉 (筋肉系)	<input type="checkbox"/> O	<input type="checkbox"/> A	動脈 (動脈系)
リンパ (リンパ系)	<input type="checkbox"/> M	<input type="checkbox"/> V	静脈 (静脈系)
	<input type="checkbox"/> L	<input type="checkbox"/> N	神経 (神経系)
	<input type="checkbox"/> All		

0 上記のリストに含まれていない残りのグループの組織。

「オブジェクト」ボタンは、このプロセスの最適値を表示します。

「Vera-Test」ボタンは、スペクトルの類似性が最も近いグラフを表します。

人間の脳の病気を一つずつ分析して計算するために、左のマーク、平均値など6つのシステム内の症状の統合された値の包括的な分析を得ることができます。値が高いほど、生理的病気の現象が脳の意識に保持され、生理的反応が大きくなり、人間の感情がより明白になります。

# NLS diagnostic and therapy

[すべて]をクリックしてから[終了]をクリックすると、この番号が表示されます。

Clear Topic

- A # Nutraceuticals and parapharmaceuticals
- B # Organic preparations
- C # Biochemical homeostasis
- D # Pathomorphology and nosological
- E # Microorganisms and helminths
- F # Allopathy
- G # Homeopathy
- H # Phytotherapy
- I # Lithotherapy
- J # Food

Spectrum  
Object  
Etalon  
Model  
Invert  
Optimum

EXIT  
Reprinter  
Vegeto-test

Etaon list according to decreasing spectral similarity

Fix	Sort	Select	Show all	Smart filter	
0	0.000				Longitudinal cross-section of head:left view
0	4.924				Optimum distribution
0	0.075	7%			Laryngitis
0	0.144				Adenoids
0	0.239				Respiratory infection
0	0.642				Genyantritis
0	0.692				Neuralgia
0	0.892				Neurastenia
0	1.006				Allergy
0	1.365				Tonsillitis # I
0	1.378				Hypothalamic syndrome
0	1.437				Neurangiosis
0	1.522				Lyme disease
0	1.731				Optic nerve neuritis
0	1.744				Vasculomotor rhinopathy
0	1.751				Micraines

Search

Longitudinal cross-section of head:left view

Auto scan  
Etalon description  
Etalon-Object  
Entropy analysis  
NLS-Analysis  
To print  
View report  
Adjustment  
Adjust all  
Auto model  
Absolute model

Fig.53.

# NLS diagnostic and therapy

## エントロピー分析

エタロンのウィンドウには、エントロピー分析のボタンがあり（ボタンは病理形態学のエタロンに対してのみアクティブです）、指定されたウィンドウを開きます（Fig.54）。

エントロピー分析では、エタロンの2因子分析を行うことができます。したがって、プログラムは病理学的プロセスの数学的モデルを構築し、初期段階として健康な組織を取り、与えられた病理学の最終的な臨床的に表現された形態を取ります。

このウィンドウでは、まず、プロセスの成熟度（1から7）によってガイドされます。これは、小さなグラフの下部に示されています。したがって、エントロピー成熟度指標は次のようになります。

0	1	0.000	Longitudinal cross-section of head:left view
0		4.924	Optimum distribution
×	0		Virtual model
0	7	0.075	Laryngitis
0	7	0.144	Adenoids
0	7	0.239	Respiratory infection
0	7	0.642	Genyantritis
0	1	0.892	Neurasthenia
0	7	0.892	Neuralgia
0	4	1.006	Allergy
0	1	1.365	Tonsillitis # I
0	1	1.378	Hypothalamic syndrome
0	5	1.437	Neurangiosis

Fig.54.

## NLS diagnostic and therapy

### E値（3列目）：

- 1--2** - 調査中の開発プロセスに傾向がないことを示します（体の外部反応の病気が明らかでないことを意味します）。
- 3--4** - 開発プロセスに前臨床段階があることを示します（体の外部反応の病気を時折意味します、またはそれは外部の原因によって反映されます）。
- 5--7** - 成熟過程にあることを示します（病気の反応がより明白であるか、体外でしばしば起こることを意味します）。

したがって、数値が高いほど、プロセスは成熟しており、診断は特に明確です。

次に、前のページに戻ると、エタロンのリストの診断の横に同じ図が強調表示されます。

# NLS diagnostic and therapy

次に、[調整]と[すべて調整]をクリックします。

The screenshot shows the NLS diagnostic and therapy software interface. It features a topic selection list on the left, a spectral graph in the center, and a list of conditions on the right. The 'Adjustment' and 'Adjust all' buttons are circled in red.

**Topic Selection List:**

- A # Nutraceuticals and parapharmaceuticals
- B # Organic preparations
- C # Biochemical homeostasis
- D # Pathomorphology and nosological
- E # Microorganisms and helminths
- F # Allopathy
- G # Homeopathy
- H # Phytotherapy
- I # Lithotherapy
- J # Food

**Spectral Graph:** A line graph showing multiple colored lines (red, blue, yellow, green) plotted against a grid. The x-axis is labeled with values: 1.8, 2.6, 3.4, 4.2, 4.9, 5.8, 6.6, 7.4, 8.2. The y-axis is labeled with values: 1, 2, 3, 4, 5, 6.

**Condition List (Etalon list according to decreasing spectral similarity):**

Fix	Sort	Select	Show all	Smart filter	
0	0.000				Longitudinal cross-section of head:left view
0	4.924				Optimum distribution
0					Virtual model
0	7 0.060				Laryngitis
0	0.124				Adenoids
0	0.204				Respiratory infection
0	0.588				Genyantritis
0	0.633				Neurasthenia
0	0.765				Neuralgia
0	0.917				Anaemia # D
0	0.969				Allergy
0	1.098				Tonsillitis # I
0	1.201				Hypothalamic syndrome
0	1.261				Neurangiosis
0	1.522				Lyme disease
0	1.738				Migraines
0	1.576				Adenoma of the larynx

**Buttons:** EXIT, Reprinter, Vegeto-test, Auto scan, Etalon description, Etalon-Object, Entropy analysis, NLS-Analysis, To print, View report, Adjustment, Adjust all, Auto model, Absolute model.

Fig.55.

# NLS diagnostic and therapy

調整とすべてを調整します。

すでに述べたように、エタロンと臓器のスペクトルの類似性が重要でない0.425から0.75までのゾーンがあります。補償に推奨されるエタロンは、このゾーンにあります:

- (悪化から) 寛解状態にある慢性疾患、
- 臓器が素因となる病気。

より正確に定義するために、臓器の「すべてを調整」(仮想的な挑発であるかのよう)を使用します。コンピューターは、ストレスが発生した場合の生物の反応をシミュレートします。シミュレーション後、エタロン係数が0.425未満になった(レッドゾーンを通過した)場合は、機能障害があることを意味し、適切な対策を講じる必要があります。

他の悪影響と同様に、このプロセスは素因または寛解から急性期に移行する可能性があります。因子があまり変化していない場合、臓器には十分な予備力があり、与えられたエタロンは適切ではありません。

ここで重要なのは、特定の期間の生物が一度にすべての問題に対処できるわけではないため、現在生物に役立つエタロンは通常、赤いゾーンで強調表示されます(挑発なし)。

## NLS diagnostic and therapy

[すべて調整]ボタンをクリックすると、コンピューターはストレス状態にある臓器の状態の変化をシミュレートし、補償基準自体を取得します（Fig.56）。

0	0.374	PETROSELINUM SATIVUM HOFFM*
0	0.380	ADONIS VERNALIS*
0	0.418	LINUM*
0	0.429	HUMULUS*

Fig.56.

この例では、「LINUM」が赤いゾーンに表示されています（Fig. 44とFig.46を比較してください）。指数は大幅に低下し、レッドゾーンにさえなっているため、推奨されるエタロンの1つとして選択すると便利です。

悪化ゾーン外の予防保守および治療プロセスのための特定のエタロンに興味がある場合は、カーソルでこのエタロンをポイントし、[調整]ボタンをクリックします。プログラムはこのエタロンの効率を具体的に推定します。

# NLS diagnostic and therapy

## D値（4列目）

If **>2.0**, 一致するサンプルがないことを意味し、罹患率は非常に小さいです。

If **2.0~0.425**, 現在は症状がないかもしれませんが、注意が必要です。何も変更しないと、この問題はすぐに発生する可能性があります（慢性的）。

If **<0.425**, レッドインデックス、罹患率は約85%~95%高くなっています。

0	0.000	Longitudinal cross-section of head:left view
0	4.924	Optimum distribution
×	0	Virtual model
0	7 0.060	Laryngitis
0	0.124	Adenoids
0	0.204	Respiratory infection
0	0.588	Genyantritis
0	0.633	Neurastenia
0	0.765	Neuralgia
0	0.917	Anaemia # D
0	0.969	Allergy
0	1.038	Tonsillitis # I

Fig.57

# NLS diagnostic and therapy

「オートモデル」と「アブソリュートモデル」

Clear Topic

- A # Nutraceuticals and parapharmaceuticals
- B # Organic preparations
- C # Biochemical homeostasis
- D # Pathomorphology and nosological
- E # Microorganisms and helminths
- F # Allopathy
- G # Homeopathy
- H # Phytotherapy
- I # Lithotherapy
- J # Food

Spectrum  
Object  
Etalon  
Model  
Invert  
Optimum

EXIT  
Reprinter  
Vegeto-test

Etaon list according to decreasing spectral similarity

Fix	Sort	Select	Show all	Smart filter
0	0.000	Longitudinal cross-section of head:left view		
0	4.924	Optimum distribution		
0	0.060	Virtual model		
9	0.060	Laryngitis		
0	0.124	Adenoids		
0	0.204	Respiratory infection		
0	0.588	Genyantritis		
0	0.633	Neurastenia		
0	0.765	Neuralgia		
0	0.917	Anaemia # D		
0	0.969	Allergy		
0	1.098	Tonsillitis # I		
0	1.201	Hypothalamic syndrome		
0	1.261	Neurangiosis		
0	1.522	Lyme disease		
0	1.538	Migraines		
0	1.576	Adenoma of the larynx		

Auto scan  
Etalon description  
Etalon-Object  
Entropy analysis  
NLS-Analysis  
To print  
View report  
Adjustment  
Adjust all  
Auto model  
Absolute model

Search  
Longitudinal cross-section of head:left view

Fig.58.

# NLS diagnostic and therapy

## 絶対モデルと自動モデル

エタロンの理想的な組み合わせを選択するために、絶対モデルと命令モデルが使用されます (Fig.44)

「**アブソリュートモデル**」では、エタロンと臓器のコードの合計がエタロン臓器に対応するような、エタロンの定量的および定性的な組み合わせを自動モードで取得できます。エタロンの左側に表示される数字は、補正曲線への寄与を定義します。

次に、もう1つのベジットテストを行い、与えられた定性的および定量的なエタロンの選択が代償性の体の反応に及ぼす影響を確認することができます。

組み合わせを個別に取得したい場合は、エタロンの左側にあるマウスの左ボタンをクリックする必要があります。赤い点と数字がそこにあります。数字は、与えられたエタロンの貢献のシェアを定義します。一般リストからエタロンを削除するには、マウスの右ボタンを押します。リストを完全にクリアするには、**X**を押します。

特定のエタロンをクライアントに強く推奨したい場合は、それを選択して[自動モデル]ボタンをクリックします。プログラムは他の基準を採用し、臓器の曲線、このエタロン、および他のエタロンが可能な限りエタロン器官に近づくようにします。これは、プログラムが推奨するエタロンの場合、または特定のエタロンが予防保守に使用される場合にのみ行うことをお勧めします (以下を参照)。

# NLS diagnostic and therapy

ETAON LIST ACCORDING TO DECREASING SPECTRAL SIMILARITY

	Fix	Sort	Select	Smart filter
• 3	0.349	PETROSELINUM SATIVUM HOFFM*		
0	0.410	CALTHA PALUSTRIS*		
0	0.411	ADONIS VERNALIS*		
• 3	0.461	FOENICULUM*		
0	0.470	RUMEX CONFERTUS*		
0	0.476	ARCHANGELICA OFFICINALIS*		
0	0.478	HUMULUS*		

Fig.59.

## 赤い点の意味:(オレンジ色の矢印)

1.最初の列のドット。これは、病気が人生のこの状態で発生したことを表しており、潜在的な警告もあります。上部または上部の赤い点が、この状態で病気が進行していることを示している場合。

たとえば、フォームに表示されたPETROSELINUM SATIVUM HOFFM。フォームの下に赤い点（青い円など）が多数表示されている場合は、以前に病気が発生したことを意味します。

## 2. 列目2の数字:

合計は（0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、∞）に分けられます。これは病気が起こった時間を示します。

第1レベル（0～3）：時間が短い、最近発生しました。

第2レベル（4～6）：時間は過去6か月間、または発生時間が長すぎます。

第3レベル（7～9）：時間は1年または1年以上です。

第4レベル（∞）：長期間または長期間発生しました。

# NLS diagnostic and therapy

## NLS-分析

「C# BIOCHEMICALHOMEOSTASIS」と「NLS-分析」をクリックします

Clear Topic

- A # Nutraceuticals and parapharmaceuticals
- B # Organic preparations
- C # Biochemical homeostasis
- D # Pathomorphology and nosological
- E # Microorganisms and helminths
- F # Allopathy
- G # Homeopathy
- H # Phytotherapy
- I # Lithotherapy
- J # Food

Spectrum  
Object  
Etalon  
Model  
Invert  
Optimum

EXIT  
Reprinter  
Vegeto-test

Eaton list according to decreasing spectral similarity

Fix	Sort	Select	Show all	Smart filter
0	0.000			Longitudinal cross-section of head:left view
0	4.924			Optimum distribution
X	0			Virtual model
0	0.733			Vitamin B1 (thiamine)
0	0.759			Follicle-stimulating hormone
0	0.893			Thymol test
0	1.047			Vitamin E (Tocopherol)
0	1.161			Parathormone
0	1.327			Segmented neutrophils
0	1.331			Angiotensin I
0	1.384			Serum alphaamylase
0	1.399			Basophils
0	1.522			Free plasma cholesterolin
0	1.560			Eosinophiles
0	1.579			Blood histamine
0	1.589			Serum complement
0	1.593			Common plasma cholesterolin

Search  
Longitudinal cross-section of head:left view

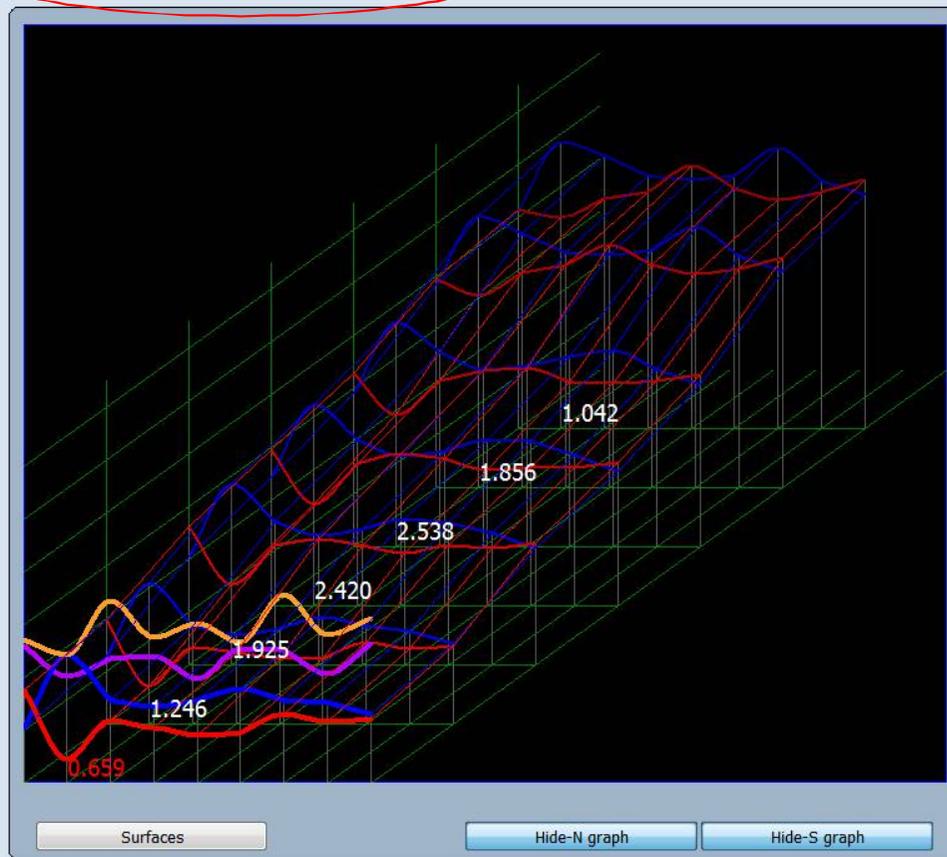
Auto scan  
Etalon description  
Etalon-Object  
Entropy analysis  
NLS-Analysis  
To print  
View report  
Adjustment  
Adjust all  
Auto model  
Absolute model

Fig.60.

# NLS diagnostic and therapy

## NLS-Analysis

BLOOD ERYTHROCYTES more than 5.6 mln in 1 ml  
BLOOD ERYTHROCYTES less than 3.3 mln in 1 ml



EXIT

Object

Vera-Test

Spectrum

Dynamic

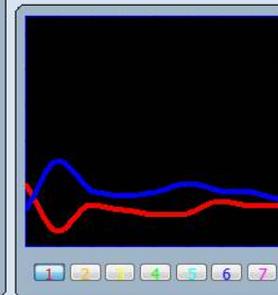


Fig.61.

## NLS diagnostic and therapy

多次元**NLS**分析は、エントロピー分析と同じですが、**NLS**分析では、すべての中間段階が、調査中の開発プロセスのさまざまな段階で患者の体からのエタロンとして記録されるため、病理発生のより正確なモデルを構築できます。これは非常に複雑で骨の折れるタイプのプロセス記録であるため、**NLS**分析は悪性プロセスと生化学的要因を評価するためにのみ使用されます。

**NLS**分析グラフによるオンコプロセスの分析は、病理学の発達における不可逆的な状態の可能性を追跡することを可能にします。出力信号の振幅の増加（グラフの青い線）は、補償メカニズムの強化を示しています。最大値に達すると、入力信号のグラフが急激に低下し、入力信号の振幅値が高くなることがあります（赤い線）。これは、不応答メカニズムの失敗と不可逆状態の発生を示しています。

# NLS diagnostic and therapy

この結果が表示されます。

The software interface displays a list of topics on the left, a spectral graph in the center, and a list of parameters on the right. The 'Biochemical homeostasis' topic is selected and circled in red. The spectral graph shows a complex waveform with multiple peaks and troughs. The list of parameters includes various biological and chemical entities, with 'Vitamin B1 (thiamine)' highlighted in green and circled in red. The 'NLS-Analysis' button is also circled in red.

Clear Topic

- A # Nutraceuticals and parapharmaceuticals
- B # Organic preparations
- C # Biochemical homeostasis
- D # Pathomorphology and nosological
- E # Microorganisms and helminths
- F # Allopathy
- G # Homeopathy
- H # Phytotherapy
- I # Lithotherapy
- J # Food

Spectrum Object Etalon Model Invert Optimum

EXIT Reprinter Vegeto-test

Auto scan Etalon description Etalon-Object Entropy analysis **NLS-Analysis** To print View report Adjustment Adjust all Auto model Absolute model

Etaon list according to decreasing spectral similarity

Fix	Sort	Select	Show all	Smart filter
0	0.000			<b>Longitudinal cross-section of head:left view</b>
0	4.924			Optimum distribution
X	0			Virtual model
0	0.733			Vitamin B1 (thiamine)
0	0.759			Follicle-stimulating hormone
0	0.893			Thymol test
0	1.047			Vitamin E (Tocopherol)
0	1.161			Parathormone
0	1.327			Segmented neutrophils
0	1.331			Angiotensin I
0	1.384			Serum alphaamylase
0	1.399			Basophils
0	1.522			Free plasma cholesterin
0	1.560			Eosinophiles
0	1.579			Blood histamine
0	1.589			Serum complement
n	1.593			Common plasma cholesterin

Search

Longitudinal cross-section of head:left view

Fig.62.

# NLS diagnostic and therapy

ボタンNLS-分析は、生化学的恒常性に対してのみ機能します

## NLS-Analysis E値の意味:

- 1、は生化学的指標が基準値の範囲よりも低いことを示します。
- 2-6、は安全な範囲の生化学的指標を示します。
- 7、は生化学的指標が基準値の範囲よりも高いことを示します。

NLS分析値が1または7の場合は、病院に行ってさらに検査することをお勧めします。

## NLS diagnostic and therapy

これで、エタロンのリストを操作する原則が明確になりました:

アレルギーを扱う場合、アレルギーを引き起こす特定の患者にとって最も危険な物質が赤いゾーンに表示されます。

アロパシーが効いている場合、与えられた病状を矯正するのに最も適した薬はレッドゾーンにあります。

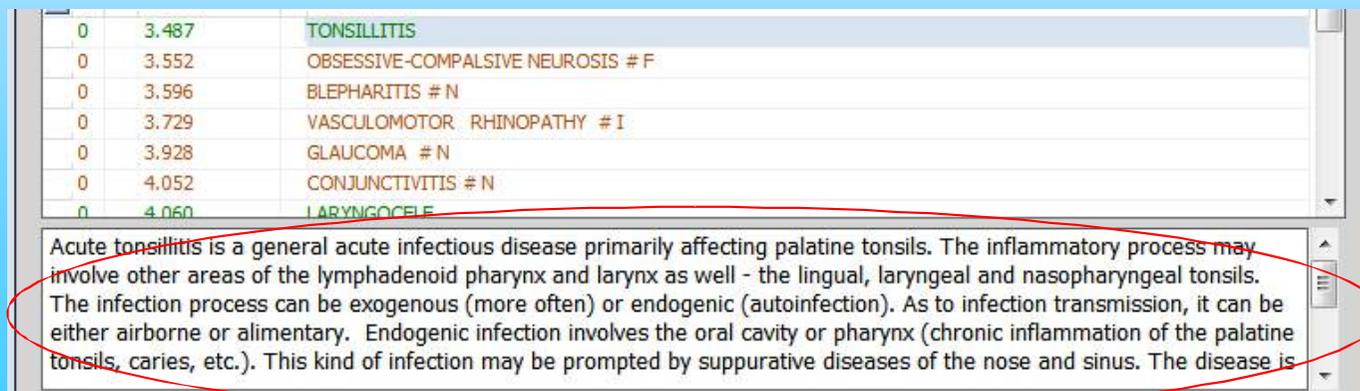
有機療法には、健康な臓器や組織のためのエタロンが含まれています。調査対象の臓器の指標が健康な臓器のエタロンに近いほど、特定の臓器の器質的狀態と生理学的狀態の両方が安全である可能性が高くなります。理想的な器官がないことに注意する必要があるため、エタロンからのわずかな逸脱は正常であり、さらに詳細に調査する必要があります。

エタロン病理学を選択すると、さまざまな病理形態学的条件またはプロセスに対応するエタロンが開きます。

## NLS diagnostic and therapy

カーソルでヘックしたい標準を割り当て、マウスの左キーをクリックして「**Etalon-Object**」を押すと、0,000に等しいエタロンインデックスがエタロンに与えられ、その後続くエタロンが与えられます（最初の2つは特に重要）は、重要度に応じてリストされています。言い換えれば、選択したエタロンを同じ特性のエタロンの組み合わせに置き換えることができます。それが病理形態学のエタロンである場合、エタロンは病気の過程における重要度に応じてリストされています。

キーのエタロンの説明をクリックすると、エタロンの詳細な説明が開きます（ベースに含まれている場合）（**Fig.63**）。



0	3.487	TONSILLITIS
0	3.552	OBSESSIVE-COMPALSIVE NEUROSIS # F
0	3.596	BLEPHARITIS # N
0	3.729	VASCULOMOTOR RHINOPATHY # I
0	3.928	GLAUCOMA # N
0	4.052	CONJUNCTIVITIS # N
0	4.060	LARYNGOCYCLE

Acute tonsillitis is a general acute infectious disease primarily affecting palatine tonsils. The inflammatory process may involve other areas of the lymphadenoid pharynx and larynx as well - the lingual, laryngeal and nasopharyngeal tonsils. The infection process can be exogenous (more often) or endogenic (autoinfection). As to infection transmission, it can be either airborne or alimentary. Endogenic infection involves the oral cavity or pharynx (chronic inflammation of the palatine tonsils, caries, etc.). This kind of infection may be prompted by suppurative diseases of the nose and sinus. The disease is

Fig.63.

## NLS diagnostic and therapy

**印刷するには:** 選択したエタロンプロセスを印刷できます。印刷の結果は、患者に（排他的に）与えられたオペレーターの推奨です。したがって、リストから新しいエタロンをそれぞれ印刷に追加するには、このエタロンを手動で選択する必要があります。

**レポートの表示:** 印刷用に準備されたエタロンの選択されたリストを確認し、[レポート]ボタンをクリックすると、レポートを印刷できます。

```
BASIC CATALOGUE
Longitudinal cross-section of head:left view
Biochemical Analysis:
  C # Biochemical homeostasis
    Vitamin B1 (thiamine)   D=0.733   E=4
    Follicle-stimulating hormone  D=0.759
```

Fig.64.

このレポートでは、これらの値の意味は、前に紹介したように読み取ることができます。

**E**値の意味は、エントロピー分析と**NLS**分析で異なります。

# NLS diagnostic and therapy

レポートには2つのモデルがあり、次のように表示されます:

Date	Research	Standards	Variance	Entropy
2015/11/10	Longitudinal cross-section of F	Follicle-stimulating hormone	0.759	-1
2015/11/10	Longitudinal cross-section of H	Vitamin B1 (thiamine)	0.733	4

Print group etalon   
  Print image group   
  Print image name   
  Print description

BASIC CATALOGUE  
 Longitudinal cross-section of head:left view  
 Biochemical Analysis:  
 C # Biochemical homeostasis  
 Vitamin B1 (thiamine) D=0.733 E=4  
 Follicle-stimulating hormone D=0.759

Fig.65

### Results of Non-Linear Analysis System

<b>Name</b>	wer es we			
<b>Birthday</b>	1975/1/1	<b>Age</b>	40	<b>Phone</b>
<b>Address</b>				
<b>Comment</b>				

	Description
<b>BASIC CATALOGUE</b>	
<b>Longitudinal cross-section of head:left view</b>	
<b>C # Biochemical homeostasis</b>	
Vitamin B1 (thiamine)	D=0.733 E=4
Follicle-stimulating hormone	D=0.759 E=-1

Fig.66.

# NLS diagnostic and therapy

## リプリンター

「リプリンター」は、さまざまなキャリア（水、アルコール、砂糖、パラフィン）のエタロンに関する情報を書き留めることができます-（Fig 67）。

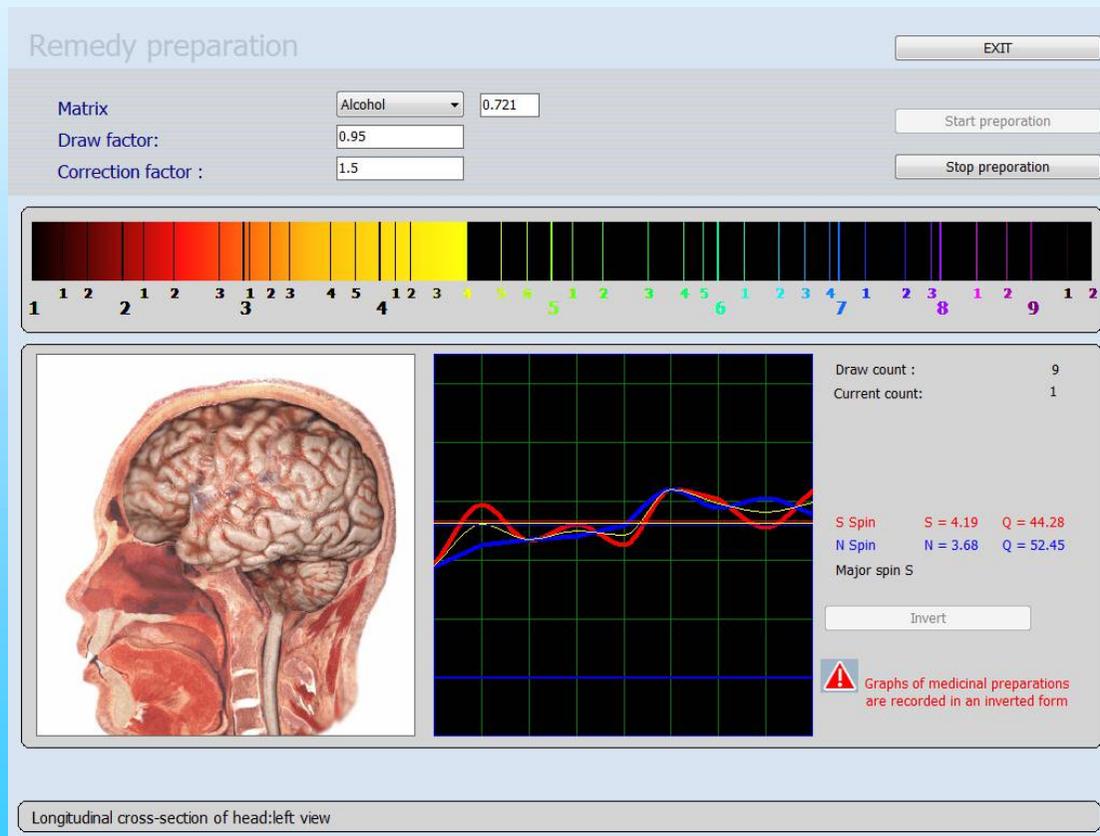


Fig.67.

## NLS diagnostic and therapy

機能「再版」は、生体共鳴の原理にも沿って機能します。「再版」とは、データベースで自由に使用できる頻度、つまり治療される臓器に固有の頻度で構成される「コピー」です。この周波数の復刻で液体を充電することが可能です。クライアントは、数週間間にこれらの周波数を吸収する必要があります。液体が帯電すると、周波数が反転するため、「誤った」測定とは逆になります。したがって、臓器の機能を構造周波数に近づく周波数に向けることが可能です（曲線を近づける）。

これを行うには、ガラスを共鳴チャンバーに入れる必要があります。プログラムには反転周波数が含まれているため、[反転]をクリックします。次に、担体媒体のタイプ（水、アルコール、砂糖、パラフィン）を選択し、[準備の開始]をクリックします。情報を含むのに適した液体は、水、アルコール、パラフィンです。これらは、周波数を長期間保持および維持できるためです。

## NLS diagnostic and therapy

機能「再印刷」の他のバリエーションは、液体へのさまざまな投薬頻度の放出です。与えられたデータベースには、さまざまな栄養添加物、ホメオパシー処方、植物療法および対症療法の治療法の頻度が含まれており、すべて逆の形で配置されています。臓器と同じように液体に送る（転載）ことが可能です。したがって、この人だけの個別の「液体溶液」に到達することが可能です。

同じボトルに最大**5**つの異なる周波数を充電することが可能です。薬は、その共鳴に適した臓器を見つけます。これは、**5**つ以上の薬が使用されている場合に妨害される可能性があります。理想は、臓器ごとに**1**つの周波数で充電される容器を使用することです。したがって、心臓、肝臓、腎臓を治療する場合、患者は**3**つの異なる容器を使用して、オルガンは、中国のエネルギーッシュな時間時計によると最も活発です。ただし、このような薬の服用方法は、適切なタイミングで常に実用的であるとは限りません。その場合、すべての周波数を**1**つのボトルに充電する方が簡単で多価です。

## NLS diagnostic and therapy

特定の患者に効果的な必要な薬を選択し（インデックスD <0,425 =赤いゾーンの薬）、**[リプリンター]**ボタンをクリックします。すべての医薬品はデータベースに反転して記録されることを覚えておくことが重要です。したがって、記録を開始する前に、「**反転**」ボタンをクリックする必要があります。次に、「**準備を開始**」をクリックします。製造工程を緊急に中断する場合は、「**準備停止**」ボタンをクリックしてください。キャリアへのデータ記録が終了すると、プログラムは自動的に停止します。リプリンターでの作業を終了するには、「**終了**」ボタンをクリックします。

与えられた薬の効率は、マトリックスによって異なります。

**水:**この目的のために、急性プロセスを治療するために使用することをお勧めします。水の準備は2~3週間有効です。

**アルコール:**それを基に作られた薬は2~3ヶ月まで有効です。

**砂糖:**乳製品をベースにした薬は6~9か月間有効で、慢性疾患の治療に使用されます。急性期の薬の1回の投与は通常1日3回4-8滴または穀物を作ります。14歳未満の子供のために2-3滴を使用してください。

**パラフィン:**それを基に作られた薬は、皮膚や神経疾患（湿疹、神経根炎、神経痛など）の治療に使用されます。

## NLS diagnostic and therapy

慢性的なプロセスの治療のために、1つのキャリアで複数の薬（2-4）の同時記録が可能です。慢性的なプロセスの治療のために、薬の量は6-8に増やすことができます。

注意！ すべての材料（砂糖、薬、パラフィンなど）は、紙を貼ったリプリンターに入れるか、ガラスフラスコに注ぐ必要があります。そうしないと、これらの物質の分子がリプリンターに沈着し、将来の結果に影響を及ぼし、薬の効果を悪化させる可能性があります。「リプリンター」は乾いた布だけで拭き、水が入らないようにしてください。

# Print report

レポートを印刷する必要がある場合は、[調査の印刷]をクリックできます。

The screenshot shows a medical software interface with the following elements:

- Patient Information Form:** Last name: Black, Name: Tom, Middle name: Y, Age: 40, Sex: Male, Blood group: 0, Address: America, Phone: (empty).
- Search and Action Buttons:** Search (input field), EXIT, Delete by date, Delete research, Delete file card.
- Reception Information:** Reception by Doctor, Time 15:33/0:00.
- Navigation Buttons:** New card, Select card.
- Research List:** A table with columns 'Date' and 'Name of research'.

Date	Name of research
23.11.2015	Longitudinal cross-section of head:left view
23.11.2015	Longitudinal cross-section of head:left view (META-therapy)
24.11.2015	Horizontal thoracotomy at the level of the 6th thoracic vertebra
24.11.2015	Cross section of abdomen at the level of 1st lumbar vertebra
24.11.2015	Horizontal cross-section of trunk at the level of umbilicus
- Buttons:** Print epicrisis, Save to disk, Print researches (circled in red).
- Graphic:** An anatomical illustration of a human head in profile, showing the brain and facial structures.
- Additional Buttons:** Graphic, RESEARCH, View result, Comparative analysis.

Fig.68.

# Print report

印刷メニュー,プログラムは、研究中に医師が選択した最も効果的なエタロン（Fig.69）を印刷することを可能にします。

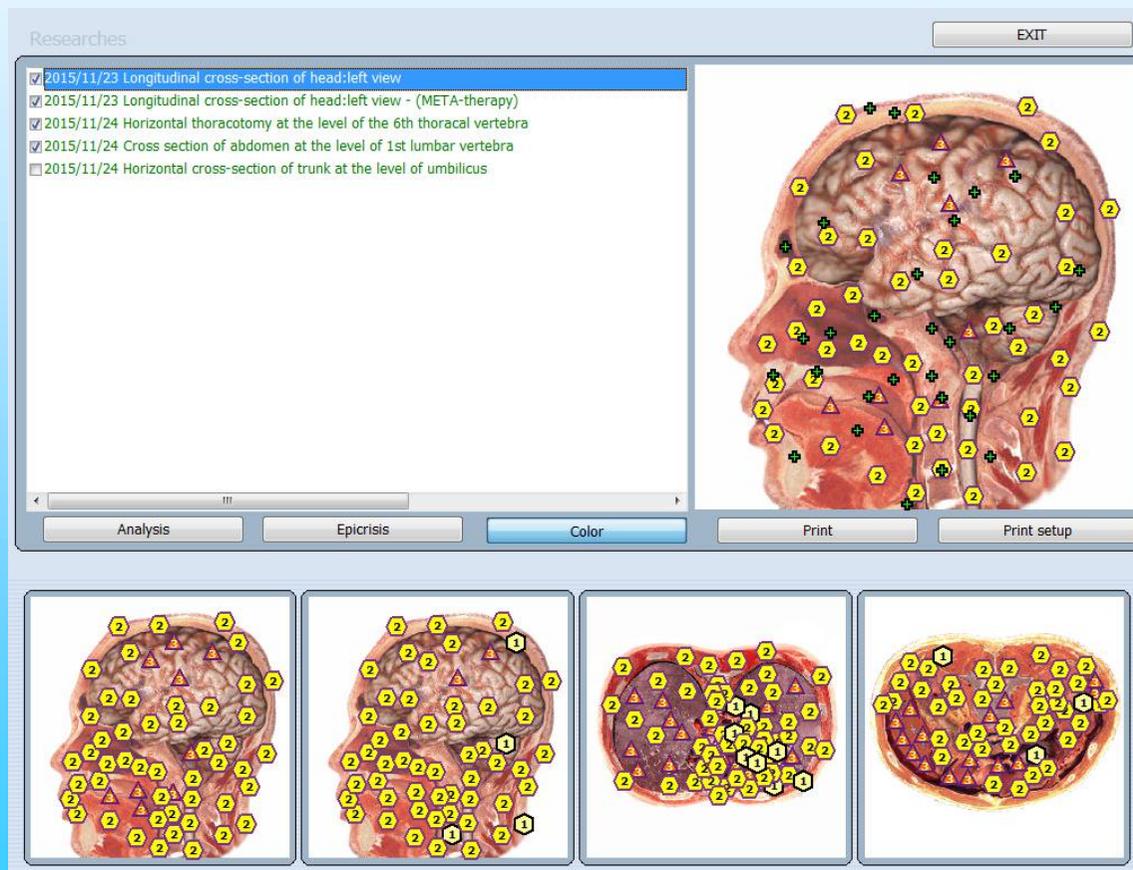


Fig.69.

# Print report

**終了:** メインメニューに戻ります。

**分析:** 研究結果の表示を可能にします。

**Epicrisis:** 患者への追加の説明を書き留め、保存されたエタロンを調べます。結果を印刷するには、「**Epicrisis**の印刷」ボタンをクリックします。

リストから選択するだけで、最大**4**つの臓器の仮想モデルを含む写真を印刷に追加できます。

**カラー:** カラー画像を印刷するには、ボタンをクリックします。それ以外の場合、画像は白黒で印刷されます。

**印刷:** 印刷を開始するには、ボタンをクリックします。

**印刷設定:** 印刷フォーマットを設定します

# Backup

データを保存します。

カードファイルの[ディスクに保存]ボタンをクリックすると、特別なメニュー（Fig.70）に入り、患者のデータをディスクにコピーしたり、ディスクからプログラムにデータをロードしたりできます。

まず、ウィンドウの上部にあるオプションの1つを選択する必要があります。データをロードする（プログラムに）か、データを保持する（プログラムから）です。メニューを使用すると、Uディスク、CD、ハードディスクなどの任意のキャリアにデータを保存できます。次に、実行した操作に応じて[ディスクにコピー]（ディスクからコピー）ボタンをクリックすると、コンピュータは次のフォルダを選択するように提案します。記録。

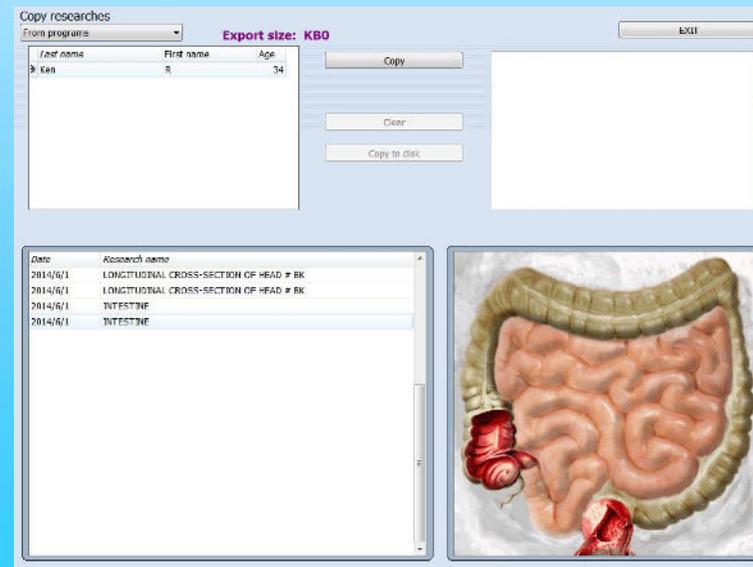


Fig.70.

# Backup

患者データベースをバックアップし、「コピー」ボタンをクリックします（Fig.71）。

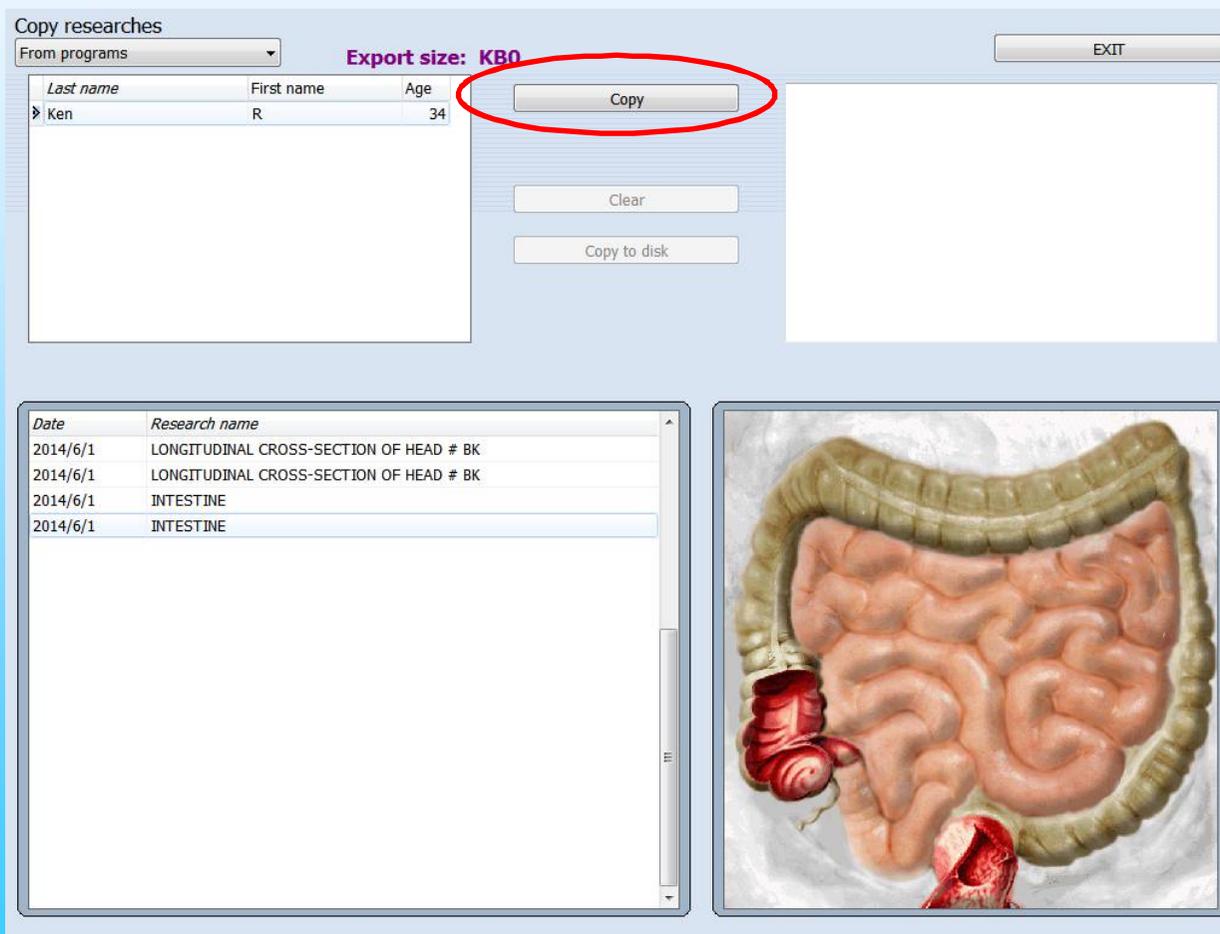


Fig.71.

# Backup

「ディスクにコピー」ボタンをクリックします（Fig.72）。

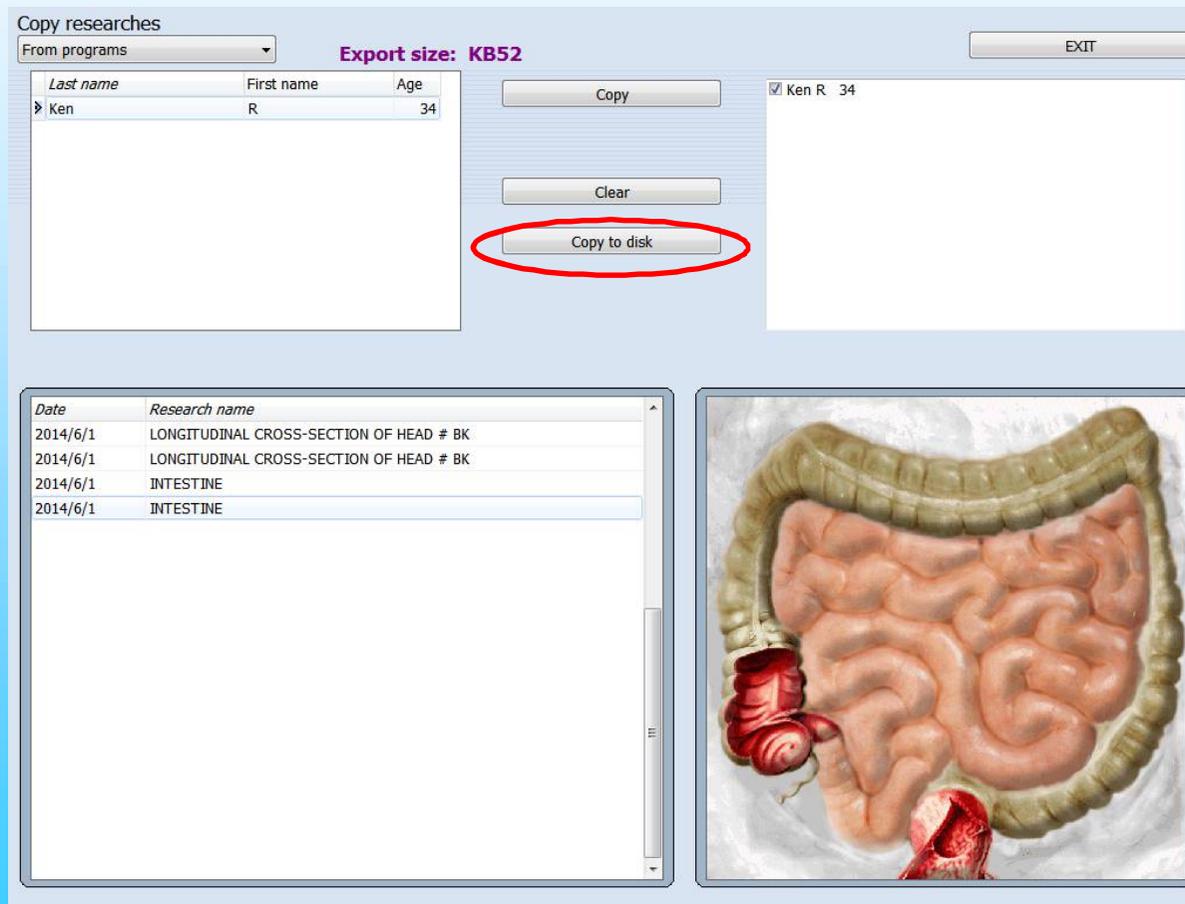


Fig.72.

# Backup

保存ディレクトリを選択し、「OK」ボタンをクリックします。(Fig.73)

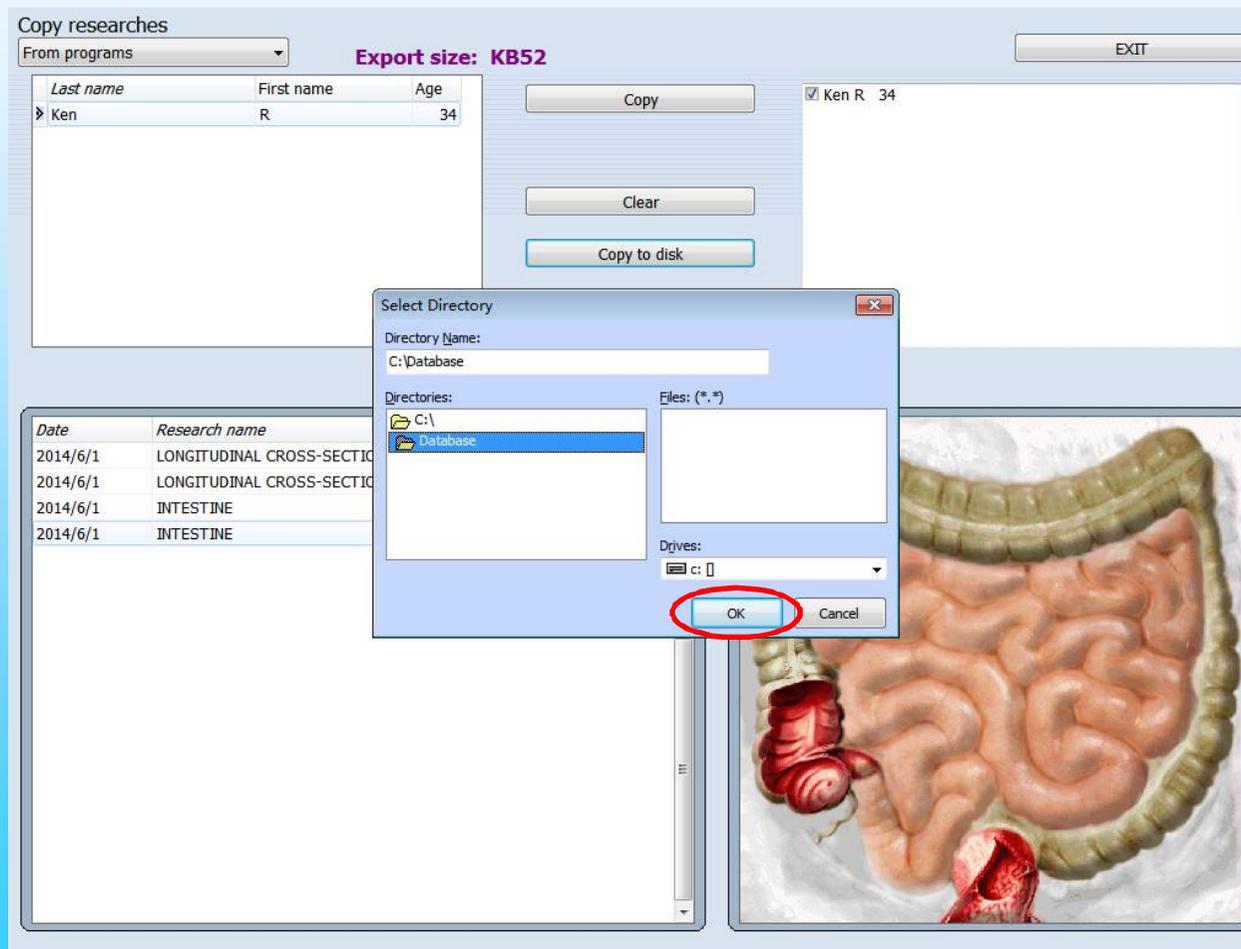


Fig.73.

# Backup

患者データベースを復元します。まず、[プログラムに]を選択し、[データベースファイルの復元]を選択して、[OK]ボタンをクリックし、[コピー]ボタンをクリックします（Fig.74）。

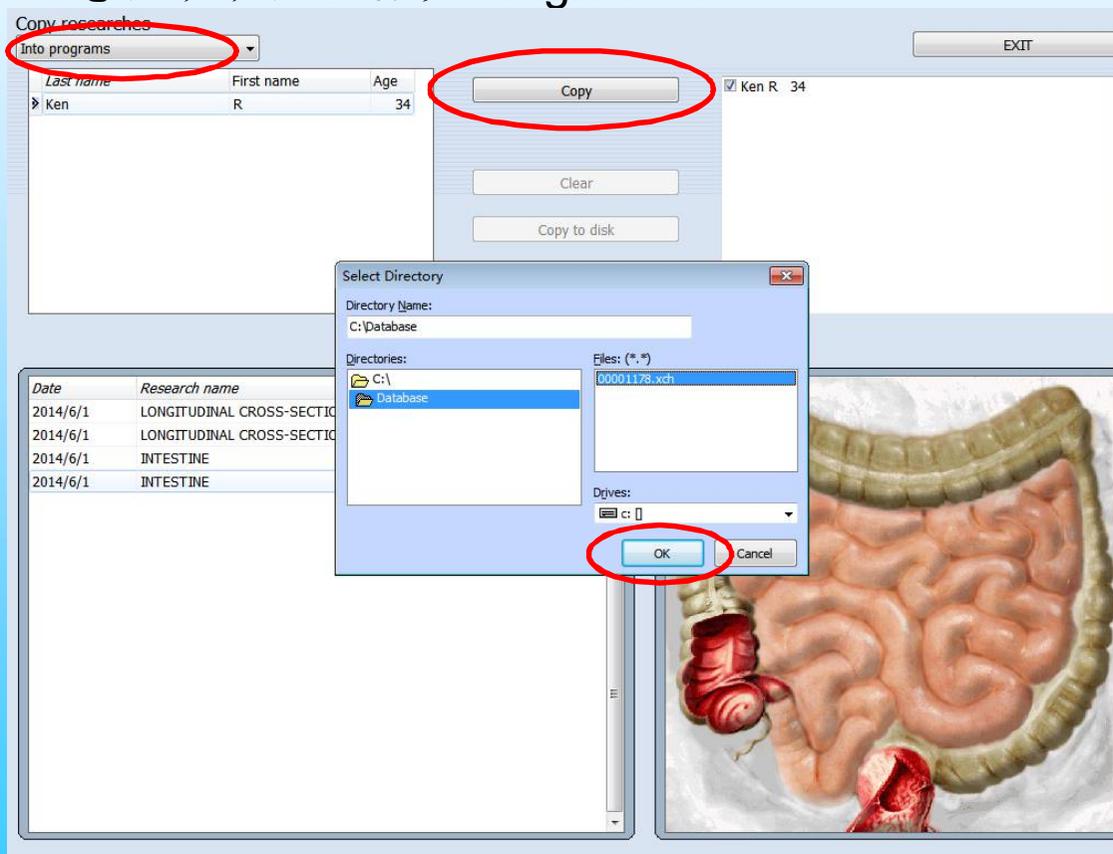


Fig.74.

すべてのテストを終了し、[終了]をクリックします

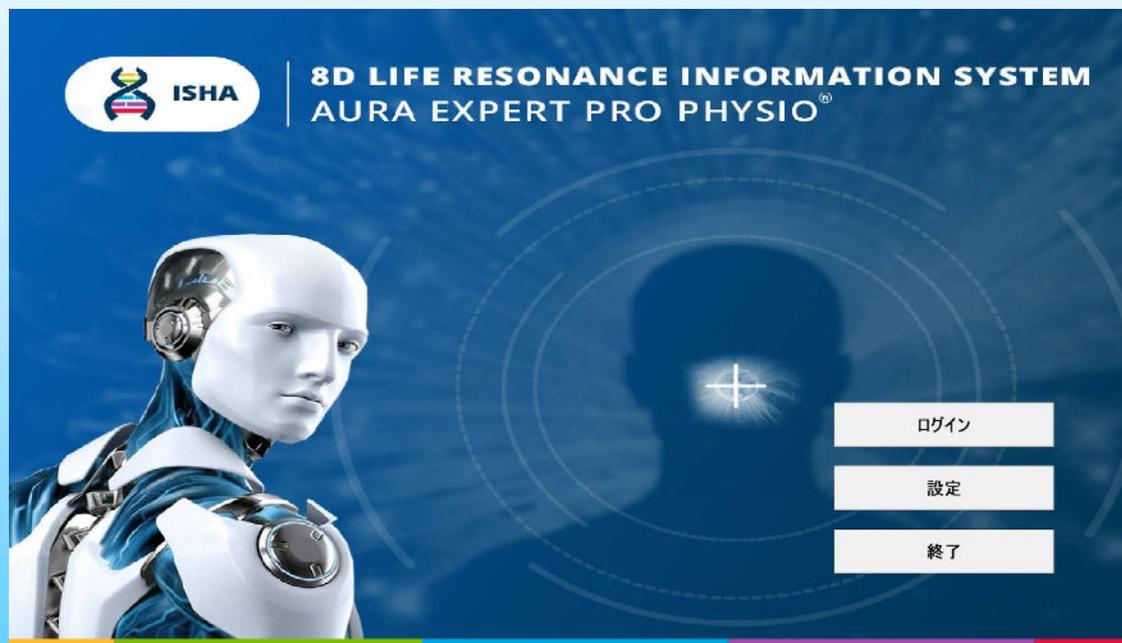


Fig.75.

## Notice

- A.参加者はすべての金属物体を取り除く必要があります。事前に臓器の切除があります。
- B.検出プロセス、参加者の手と足は交差しません。
- C.同じ臓器の人は1日に2回検査しません。
- D.長時間使用する人がいない場合は、必ず機械を閉じてください。
- E.1分後にホストマシンの電源を入れると、ソフトウェアを操作でき、ソフトウェアデータベースをより適切に保護できます。
- F.バイオインダクタを正しい方法で着用してください。
- G.強い光の下でデバイスを使用することは避けてください。バイオインダクタの動作に影響します。
- H.マシンの電源を順番にオン/オフします。



バイオセンサーの代わりに、DNA サンプルを採取し、ISHA Quantum Meta Black Box で世界中のスクリーンと治療を行うことができます。あなたが人間、犬、猫、馬が自由に歩き回れるように.... 髪、唾液、血液、爪の部分、さらにはHQの小さな全身写真を使用して、これらをISHA QMBBに入れます。そして、世界中のスクリーンを行うことができますそして治療.....大きな市場! 非常に多くのクライアントが来ます!

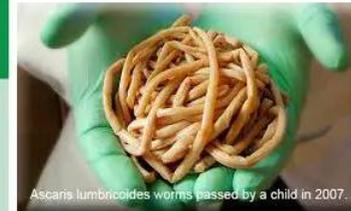
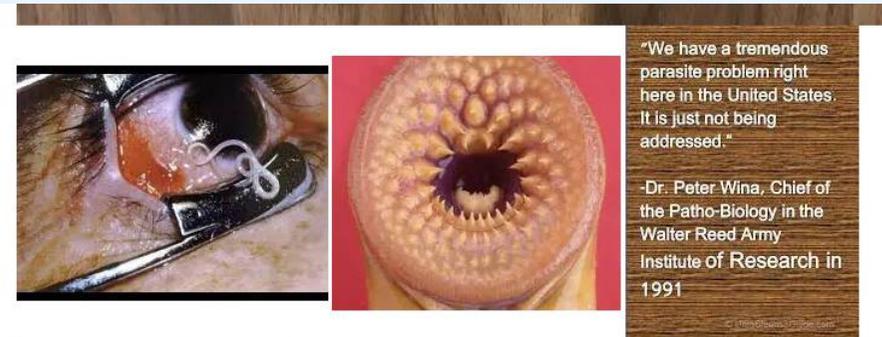
Baiosensā no kawari ni, dīenuē sanpuru o saishu shi, ISHA kantamu mēta Black Box de sekaijū no sukyan to chiryō o okonau koto ga dekimasu. Anata ga ningen, inu, neko,-ba ga jiyū ni arukimawareru yō ni. ... Kami, daeki, ketsueki, tsume no bubun, sarani wa HQ no chīsana zenshin shashin o shiyō shite, korera o ISHA QMBB ni iremasu. Soshite, sekaijū no sukyan o okonau koto ga dekimasu soshite chiryō..... Ōkina ichiba! Hijō ni ōku no kuraianto ga kimasu!

[ISHA QMBB link](#)

また、ISHA ポータブル ザッパーを殺すことをお勧めします。  
Mata, ISHA pōtaburu zappā o korosu koto o o susume shimasu.

寄生虫、虫、菌類、蠕虫を駆除し、犬、馬、猫、牛などの生物活性を低下させます。

Kiseichū,-chū, kinrui, zenchū o kujo shi, inu,-ba, neko, ushi nado no seibutsu kassei o teika sa semasu.



ISHA RIFE Adjustable POWER BUGS Zapper, powerfull killer of parasites and worms.

<https://nonlinearsystem.eu/shop/zappers-rifebob-beck-don-croft-isha/pre-order-within-1-july-accepted-isha-31-volts-adjustable-power-zapper-powerfull-deep-killer-parasites-worms-including-worldwide-free-shipping-finally-get-working-rife/>

終わりはあなたの始まりで  
す！

Owari wa anata no  
hajimaridesu!



For more information, visit the international forum [www.ishaforum.com](http://www.ishaforum.com)

詳細については、国際フォーラムをご覧ください。そして、マニュアルを読むことから始めましょう。  
フォーラムや YouTube で無料の動画もご覧ください。

Shōsai ni tsuite wa, kokusai fōramu o goran kudasai. Soshite, manyuaru o yomu koto kara hajimemashou.  
Fōramu ya yūchūbu de muryō no dōga mo goran kudasai.

[ISHA WEB SHOP](#)